

令和元年度（2019年度）

事業報告書

社会福祉法人 日野市社会福祉協議会

目次

地域福祉活動推進事業拠点区分

地域福祉事業	障害者就労支援事業	・・・	1	
	地域ネットワーク事業	・・・	2	
	生活支援体制整備事業	・・・	9	
	介護予防による地域づくり推進員業務	・・・	12	
	地域介護予防活動支援事業	・・・	13	
	障害者団体及び高齢者団体バス借上げ補助事業	・・・	18	
	みんなとっしょの運動会（障害者運動会）	・・・	19	
	夏の親子レクリエーション	・・・	20	
	日野市居住支援事業に係る住宅相談等業務	・・・	20	
	日野市子どもの学習・生活支援事業（ほっとも南平）	・・・	22	
	視覚障害者への朗読広報作成（情報提供）業務	・・・	24	
	在宅福祉事業	在宅高齢者ケアサービス事業	・・・	26
		第1号訪問事業生活援助型	・・・	30
移送サービス（日野ハンディキャブ）事業		・・・	31	
高齢者食事宅配サービス事業		・・・	33	
車椅子貸出事業		・・・	34	
コミュニケーション支援事業		・・・	35	
ボランティア活動推進事業	日野市ボランティア・センター	・・・	37	
	防災・減災をテーマにした地域づくり	・・・	47	
	日野市介護サポーター制度	・・・	54	
	日野市生涯学習支援システムポータルサイト「Hi Know!」	・・・	55	
助成事業	歳末たすけあい地域福祉活動助成	・・・	57	
	地域支え合い福祉活動助成	・・・	58	
	ヒカリ興行奨学基金	・・・	60	

生活福祉資金貸付事業	生活福祉資金貸付事業	・・・	61
	ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	・・・	63
	台風15号・19号の影響による緊急小口資金特例貸付事業	・・・	64
	コロナウィルス感染症の影響による緊急特例貸付事業	・・・	65
福祉サービス利用援助事業	地域福祉権利擁護事業	・・・	67
	権利擁護センター日野	・・・	68
福祉人材育成事業	手話通訳者研修事業	・・・	72
	手話講習会事業	・・・	72
	介護人材育成研修事業	・・・	75
	社会福祉士養成のための実習生の受入	・・・	77
法人運営事業	組織運営事業	・・・	79
公益事業拠点区分			
福祉センター管理事業	日野市立中央福祉センターの管理運営	・・・	89
高齢者就業創出支援事業	しごとサポートひの	・・・	90
収益事業拠点区分			
自動販売機設置管理事業		・・・	92
日野市役所内売店の運営		・・・	93
共同募金運動			
赤い羽根共同募金運動	日野地区協力会	・・・	94
	日野地区配分推せん委員会	・・・	95
歳末たすけあい運動		・・・	97
日野市社会福祉協議会	組織体制	・・・	98

地域福祉活動推進事業拠点区分

地域福祉事業

事業名	障害者就労支援事業		
事業形態	独自事業		
財源内訳	利用料、会費、寄附金		
担当係	在宅サービス係		
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる		
目的	当会の様々なネットワークを活かし、障害者の就労や社会参加活動等への参加促進に寄与すること。また、障害者就業に関係する団体同士のネットワーク化を図り、連携を図る。		
事業内容	1. 日野市障害者就業支援連絡会		
実績報告	1) 連絡会への出席 6回 (4/9, 6/11, 8/20, 10/8, 11/19, 2/18) 各団体から障害者就労支援に関する情報交換および年度下半期に開催する障害者就業支援フェスタに向けての検討を行った。		
	2) 障害者就業支援フェスタ in 多摩平の森 2019 (第13回日野市障害者就業支援セミナー)		
	開催日	場所	内容
12/7	休ホール	<ul style="list-style-type: none"> 直近の障害者雇用の状況 障害者雇用の現場から 当事者のみなさまとの意見交換 団体紹介(ブース形式) 	参加者 130人
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 連絡会に参加している各団体の取り組みについて情報共有するため、毎月2団体ずつ取り組み発表を行った。 連絡会に障害者就労移行支援事業所が新たに1箇所参加することになった。 障害者就業支援フェスタは、翌日開催の日野市障害者週間イベント「いっしょに」と連携して開催した。当会は市内の企業で働いている当事者との意見交換のファシリテーションとブースでの団体紹介を担当し、当事者との意見交換は今回も好評だった。 		
事業内容	2. 日野わーく・わーく		
実績報告	日野わーく・わーくは、市内の障害福祉サービス事業所が参加するネットワーク。社協は、連絡会や豊田駅北口ショップ、共同販売会等を側面支援。		
	1) 連絡会 毎月開催 2) 広報協力 日野市ボランティア・センター広報紙「ボランティア①インフォメーション」(毎月発行)において、豊田駅北口ショップのイベント告知を掲載した。		
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 就労移行支援事業所が新たに1箇所参加することになった。 当会がコーディネートした新たな取り組みとして、GEヘルスケアジャパン(株)の社内イベントへの出店や、椿茶の製品化作業などがあった。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・3月に予定していた豊田駅北口ショップ11周年イベントは新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止となった。 								
事業内容	3. 日野市障害者週間イベント「いっしょに」								
実績報告	<p>1975年12月9日に「障害者の権利宣言」が国連総会で採択されたことをきっかけに設定された12月3日から12月9日の障害者週間において開催するイベント。令和元年(2019年)度より、従来からイベントを主催する障害者週間イベント実行委員会に加え、障害者関係団体による懇談会の二部構成で企画運営がなされた。</p> <p>1) 懇談会および実行委員会への出席 5回 (9/10, 9/25, 10/24, 11/25, 12/16)</p> <p>2) プレ週間の風船・チラシ配布の協力 1回 (12/2)</p> <p>3) 障害者週間イベント「いっしょに」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12/8</td> <td>休ホール</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生と考える「合理的配慮ってなあ〜に？」 ・みんな一緒に3B体操 ・スポーツ体験コーナー ・体験コーナー </td> <td>318人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	場所	内容	参加者	12/8	休ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生と考える「合理的配慮ってなあ〜に？」 ・みんな一緒に3B体操 ・スポーツ体験コーナー ・体験コーナー 	318人
開催日	場所	内容	参加者						
12/8	休ホール	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生と考える「合理的配慮ってなあ〜に？」 ・みんな一緒に3B体操 ・スポーツ体験コーナー ・体験コーナー 	318人						
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・参加した各団体が趣向を凝らして様々なコーナーが設けられたことで、開会から閉会まで参加者が切れることなく来場し、イベントは例年にない賑わいを見せていた。 ・当会は懇談会および実行委員会に在宅サービス係と総務係が出席し、イベント開催運営に協力した。イベント当日はボランティア12人を含む56人のスタッフが関わった。 								

事業名	地域ネットワーク事業
事業形態	独自事業
財源内訳	会費・歳末たすけあい配分金
担当係	地域支援係
地域福祉活動計画 における視点	とものつくる
目的	住民や様々な団体と連携・協働して多様なネットワークの構築を図り、課題発見の仕組みづくりや住民による主体的な地域福祉・交流活動を支援し、地域共生社会を目指す。そのために、市内の様々な組織や活動が有機的に関わり合い、効率的に進んでいけるよう総合的な視点で支援していく。
事業内容	1. 地域担当の配置
実績報告	<p>1) 職員の体制 日野市高齢者福祉総合計画において取り入れられた4つの日常生活圏域(ひの・とよだ・ひらやま・たかはた)ごと2人ずつ配置</p> <p>2) 「地域担当」の業務の見える化 役割や存在意義を明確にするため、集計可能な記録方法の導入と、その</p>

整理のためのアドバイザーを導入した。
 記録は文京区社会福祉協議会の様式を参考にし、首都大学東京名誉教授小林良二氏をアドバイザーとしてお願いした。(5/17,6/28)

3) 「みんなで作るぷらっと協議会」(地区社協)の立ち上げと運営支援
 現在活動中のぷらっと南平の運営支援及び、次の地区社協の設立を視野に入れた地域活動の支援を行った。(詳細は別途記載)

4) 地域懇談会及びアクションプラン実行委員会との連携・協働
 (詳細は別途記載)

5) サロン等の小地域福祉活動の支援(詳細は別途記載)

6) その他、様々な主体による地域活動との協働

I. 「地域力強化推進事業」の支援ネットワーク委員会(わがまる委員会)

とよだ圏域で始まった地域力強化推進事業の支援ネットワーク委員会に出席し、専門職のネットワークを形成した。

①わがまる委員会へ出席 7回
 (4/25,5/23,6/27,7/25,9/17,10/23,1/23)

②地域力強化推進事業のPR活動

とよだ圏域で開催されるイベントで「わがまる焼き」を販売しながら、地域課題を探るために住民へのアンケート調査を行った。

日程	イベント名	主催	会場
5/22	すてっぷカフェ	地域包括支援センター すてっぷ	かわせみハウス
10/26	多摩平の森フェス	多摩平の森自治会	多摩平の森 さくら集会所
	未来塾フェス	日野市生涯学習課	多摩平の森 ふれあい館
2/8	多摩平の森 ふれあい館まつり	市民活動センター日野	多摩平の森 ふれあい館

II. 「リビングラボ」への関わり

主に豊田駅北口周辺を対象として、地域課題を解決する様々な試みを、市民と共に考えていこうという「リビングラボ」に関わった。

①リビングラボの話し合いの場に参加(6/29)
 リビングラボ活動報告会(11/21)

②多摩平の森自治会「スナックもりのいずみ」を開催

イベント等に参加しにくい男性高齢者を対象にした、夕方からのお酒も飲める食事会を、多摩平の森さくら集会所で4半期ごとに開催。

日野市企画経営課、多摩平の森自治会、地域包括すてっぷ、関心のある市民等で検討し、団地内の様々な人的資源を活用して進める企画を検討・実施した。

検討会(7/1,9/13,1/10)

「スナックもりのいずみ・夏」の開催(7/26)

「スナックもりのいずみ・秋」の開催(11/22)

	<p>③スマホ教室の実施 市民主導で、高齢者向け初心者向けのスマホ教室を実施し、そこから参加者同士の交流を図る集まりにつなげる。 日野市企画経営課、地域住民、志学舎、社会福祉協議会で、特に男性を呼び込み、交流の場に繋げる企画を実施、定例の集まりに発展し、参加者同士の交流も活発に行われている。 企画検討会 (7/12, 9/2, 12/19) 立ち上げ (10/3)</p> <p>Ⅲ. その他 地域担当としての活動 (詳細は別途記載)</p> <p>①ハンディキャブ新規利用者等の訪問面接</p> <p>②カエルキャラバン等の防災イベントや福祉体験講座等にボランティア・センターと共に協力し地域との関わりを深めた。</p> <p>③介護予防の地域づくりの視点で、介護予防教室や「ひの健幸貯筋体操(ひの筋体操)」の普及を継続した。</p> <p>④みんなでつくる日野の防災・減災シンポジウムの実行委員会に出席</p> <p>⑤在宅サービス系の事業と担当地域ごとに連携し、特に今年度からは2層の協議体の支援で協働している。</p> <p>⑥その他、地域住民による様々なイベントへの参加・協力</p>
<p>事業効果・評価 方向性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域力強化推進事業」(福祉政策課)、「第2層協議体」(高齢福祉課)、「地域懇談会」(地域協働課)、「リビングラボ」(企画経営課)等、市の様々な部署の動きがあり、住民が無理なく活動できるようある程度整理される必要がある。 ・地域との関わりを深める中で、少しずつ個別支援の相談も入るようになってきている。特にサロンとの関係の中で、よりスムーズな支援体制が構築できた例もある。同時に、個別支援の能力を高めることも求められている。 ・記録をまとめることで、地域担当としての役割や存在意義を明確化したと考え、そのきっかけはできたが、十分に活用するに至らなかった。
<p>事業内容</p>	<p>2. “みんなでつくる” ぷらっと協議会 (地区社協) の運営支援</p>
<p>実績報告</p>	<p>4年目を迎え、引き続き会の安定的な運営と維持に努め、合わせて多くの市民の方に知って頂くために、①伝える(広報・啓発活動)、②つなぐ(ネットワーク化)、③続ける(継続していく)の3つを柱として推進し、地区の活性化と住みやすいまちづくりを目指していく。現在は、会議等拠点としてほとんど南平が使用していないときにその場所を使用している。</p> <p>1) 役員会 12回(4/3, 5/8, 6/5, 7/3, 8/7, 9/4, 10/2, 11/6, 12/4, 1/8, 2/5, 3/4)</p> <p>2) 運営委員会 11回 (4/24, 5/22, 6/19, 7/24, 8/21, 9/18, 10/16, 11/20, 12/17, 1/21, 2/19)</p> <p>3) 会報誌「ぷらっと南平だより」の発行 9/15 ぷらっと南平だより5号(4,000部)</p> <p>4) ぷらっとの拠点開設 毎週水曜日 13:00~16:00 来所件数2件(南平台自治会、京王平山まちづくり協議会)</p>

①南平自治会長から熊野神社付近の側溝がゴミで詰まり雨水が漏れ出るとい話があり、ぷらっと南平が道路課の指示を仰ぎながら清掃活動した。

②京王平山まちづくり協議会が平山で地区社協を立ち上げることを検討しているので情報交換のため来所。

※京王平山まちづくり協議会はH31年1月に設立。京王平山地域全体に共通する課題を点検し、その解決に向けた協議の場。職員が総会(2/16)に出席、継続的に支援中。

5) 地域みなみだいら交流会「希望のとびら」

大学生のボランティアの協力のもとに地域の子供たちの居場所づくり。地域の自治会・住民等が協力・支援している。

登録者 7名

日時 毎月第2・4木曜日 16:00~19:00

場所 新川辺地区センター

6) 他団体が開催している会議、イベント等へ参加協力

開催日	内容	場所
4/7	ひのミュージックフェス	日野中央公園
5/14	七生中アクションプラン実行委員会	七生中学校
5/22	すずらん地域ケア会議	南平西部地区センター
6/21	七生中アクションプラン実行委員会	七生中学校
6/1~	コスモスアベニュー種まき	浅川スポーツ公園
7/18	七生中アクションプラン実行委員会	七生中学校
8/3	ひの市民活動支援センター夏祭り	ひの市民活動支援センター
8/22	七生中アクションプラン実行委員会	七生中学校
9/5	七生中アクションプラン実行委員会	七生中学校
9/14	ななおBONまつり	南平体育館
10/3	南平小学校避難所運営マニュアル作成準備委員会	南平小学校
10/9	七生中アクションプラン実行委員会	七生中学校
11/5	買い物お助けサービス連絡会	ぷらっと南平事務所
11/23	南平地区防災会議	南平小学校
1/18	南平小学校避難所運営マニュアル作成準備委員会	ぷらっと南平事務所
2/12	南平小学校避難所運営マニュアル作成準備委員会	南平小学校

7) 他団体への協力

①社会福祉法人友遊の家

同法人が地域貢献活動の一環で行っている買い物支援事業「買い物お助けサービス」に協力。送迎車の停留所、買い物先で利用者の乗降見守り・店内でのお手伝い等をしている。

登録者 3名

日時 毎月第2・4土曜日 13:10~15:00

	<p>場 所 南平5丁目の定点(3カ所)～ヤオコー南平店</p> <p>②社会福祉法人すずかけの会 すずかけの家(施設)の庭の草刈りを協力して行った。(8/28,10/30)</p> <p>③南平台自治会 熊野神社付近の側溝清掃を実施した。(10/20)</p>																																	
<p>事業効果・評価 方向性等</p>	<p>・南平地区社協は、順調に活動を広げているが、二カ所目の「地区社協」の立ち上げについては、なかなか進んでいない。ただし、継続して地域と関わる中で、それらしい活動もあちこちで見られるようになってきている。・拠点開設により件数は多くはないが相談に来所され、困りごとを支援することができた。</p> <p>・相談者はぶらっとだよりを読んでいたり、買い物お助けサービスを通じてぶらっと南平を知っていたりと認知度が高くなっている実感を持った。</p> <p>さらに、南平のように平山でも地区社協を作って活動したいという声もあり、地区社協についての理解も部分的にはあるが広がっていると感じる。</p> <p>・地域住民が主体となって始められた活動だが、もともと役員になっている保育園や地域包括支援センターに加え、小規模多機能みなみだいらが関わったり、すずかけの家が加わったり、南平山の上クリニックからもアプローチがあったりと、地域の福祉・医療の専門職へと広がりを見せている。</p>																																	
<p>事業内容</p>	<p>3. 地域懇談会アクションプラン実行委員会との連携・協働</p>																																	
<p>実績報告</p>	<p>1) 日野市地域協働課主催の地域懇談会への出席 地域の関係者の把握とネットワークづくりを図った。</p> <table border="1" data-bbox="477 1081 1110 1489"> <thead> <tr> <th></th> <th>1回目</th> <th>2回目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一中地区</td> <td>6/2</td> <td>12/21</td> </tr> <tr> <td>二中地区</td> <td>6/15</td> <td>12/14</td> </tr> <tr> <td>三中地区</td> <td>6/15</td> <td>12/7</td> </tr> <tr> <td>四中地区</td> <td>6/30</td> <td>11/30</td> </tr> <tr> <td>三沢中地区</td> <td>6/22</td> <td>12/7</td> </tr> <tr> <td>七生中地区</td> <td>7/6</td> <td>11/30</td> </tr> <tr> <td>平山中地区</td> <td>7/6</td> <td>12/14</td> </tr> <tr> <td>大坂上中地区</td> <td>6/30</td> <td>12/21</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 各地域アクションプラン実行委員会 地域を活性化するために実行するアクションプランの実行委員会に継続的に出席した。</p> <table border="1" data-bbox="462 1637 1423 2054"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>内容・実行委員会 開催日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日野第一中学校</td> <td> 「たて糸よこ糸プロジェクト」 ①蚕班 蚕の飼育(4～6月)、繭人形作り(10/8) ゆるカフェ糸取り体験会(1/21) ②昔遊びin万願寺(12/21) ③スポーツ班 自治会対抗運動会(2/11) 4/24, 5/13, 7/17, 8/7, 9/11, 9/25, 10/30, 11/11, 1/21 </td> </tr> <tr> <td>日野第二中学校</td> <td> 「二中Burunning」(7/27, 11/23) 「多摩五スペースで中学生勉強会」(11/6) 4/26, 5/24, 6/7 </td> </tr> </tbody> </table>		1回目	2回目	一中地区	6/2	12/21	二中地区	6/15	12/14	三中地区	6/15	12/7	四中地区	6/30	11/30	三沢中地区	6/22	12/7	七生中地区	7/6	11/30	平山中地区	7/6	12/14	大坂上中地区	6/30	12/21	地区	内容・実行委員会 開催日	日野第一中学校	「たて糸よこ糸プロジェクト」 ①蚕班 蚕の飼育(4～6月)、繭人形作り(10/8) ゆるカフェ糸取り体験会(1/21) ②昔遊びin万願寺(12/21) ③スポーツ班 自治会対抗運動会(2/11) 4/24, 5/13, 7/17, 8/7, 9/11, 9/25, 10/30, 11/11, 1/21	日野第二中学校	「二中Burunning」(7/27, 11/23) 「多摩五スペースで中学生勉強会」(11/6) 4/26, 5/24, 6/7
	1回目	2回目																																
一中地区	6/2	12/21																																
二中地区	6/15	12/14																																
三中地区	6/15	12/7																																
四中地区	6/30	11/30																																
三沢中地区	6/22	12/7																																
七生中地区	7/6	11/30																																
平山中地区	7/6	12/14																																
大坂上中地区	6/30	12/21																																
地区	内容・実行委員会 開催日																																	
日野第一中学校	「たて糸よこ糸プロジェクト」 ①蚕班 蚕の飼育(4～6月)、繭人形作り(10/8) ゆるカフェ糸取り体験会(1/21) ②昔遊びin万願寺(12/21) ③スポーツ班 自治会対抗運動会(2/11) 4/24, 5/13, 7/17, 8/7, 9/11, 9/25, 10/30, 11/11, 1/21																																	
日野第二中学校	「二中Burunning」(7/27, 11/23) 「多摩五スペースで中学生勉強会」(11/6) 4/26, 5/24, 6/7																																	

	日野第三中学校	「簡単防災訓練」 4/22
	日野第四中学校	「ラジオ体操で地域がつながる」(8/24) 5/30, 6/14, 7/4, 7/17, 8/21, 9/6, 2/14 「スタディカフェin旭が丘地区センター」 (5/12, 6/22, 10/3, 4, 11/11, 2/24)
	三沢中学校	「ちょこっと声かけ隊」 4/24, 5/22
	七生中学校	「ななおBONまつり」(9/14) 5/14, 6/21, 7/18, 8/22, 9/5, 10/9
	平山中学校	「ひらやまえんにち」(8/4) 「平山わの会」 4/1, 5/9, 5/13, 6/3, 6/10, 6/26, 7/24, 9/26, 10/30, 11/28, 12/26, 1/17
	大坂上中学校	実行委員会活動なし
	<p>※3月に予定されていたイベント、アクションプラン実行委員会は新型コロナウイルスの影響によりすべて中止</p> <p>3) 地域懇談会からの居場所プロジェクト 今年度から新たに始まった、特に地区センターの活用を念頭に置いた「居場所プロジェクト」が、日野市を南北に分けて始まり、初めの検討会と、プロジェクトの一つである「居場所キッチンストロベリー」に協力した。</p> <p>居場所プロジェクト 北(4/16) 南(4/18) 「居場所キッチンストロベリー」 大和田自治会、実践女子大、まめのめ等が連携し、防災イベントを行う。</p> <p>○ 検討会(5/23, 7/18, 8/29, 10/1, 11/20) カエルキャラバンセミナー(8/31) 大和田防災フェスにてカエルキャラバンを実施(10/22)</p>	
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・アクションプランの検討・実施に関わることで、地域との関係が深まり、社会福祉協議会を認知してもらえた。 ・関わり方については状況に応じて効率化を図った。特に、住民主体の活動を継続していくには仕組みが必要なことを感じてもらいながら、地区社協の可能性を探った。 	

事業内容	4. 地域福祉活動団体への支援												
実績報告	<p>1) 各団体への支援</p> <p>①日野本町サロン「縁がわ」 日野本町で高齢者を中心とした多世代が集うサロンのスタッフ打合せ会に出席。(4/23, 5/14, 7/9, 9/10,)</p> <p>②あったかい手とて 都営多摩平四丁目アパートで、一人暮らしの居住者を意識した学習型サロン活動の継続を支援した。地域包括支援センターあいりんと役割分担をし、自治会長とも相談しながら進めた。(4/4, 11, 7/4, 8/1, 11/7, 12/5)</p> <p>③明星地区つながりの家「アムール」 スタッフ役員会議への出席 (4/23, 5/21, 6/18, 9/24) 明星大学の学生とお楽しみ会 (やきそば交流会) を企画・実施 ・打ち合わせ (5/28, 6/11, 6/18, 6/25) ・実施日 7/2 (20名)</p> <p>④ぬくもりテラス 継続してサロン活動の運営支援等に関わった。 打ち合わせ (4/17, 5/15, 7/17, 8/14, 2/19)</p> <p>⑤引きこもりに対する支援 引きこもり家族会 (4/7) 南多摩ブロック社協職員の会の引きこもり担当会議 (5/8, 7/18) 南多摩ブロック社協職員の会の引きこもり勉強会に参加 (10/18) 日野市の講演会 (9/28)</p> <p>2) 交流ひろばCafé 高齢者、障害者、子育て中の親子、外国人、若者等を対象に、市民の居場所や交流の場づくりの活動をしている団体の情報交換の場を開催。</p> <table border="1" data-bbox="443 1294 1426 1509"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>会場</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7/31</td> <td>①司法書士、都市計画課の取組み ②活動報告・情報交換</td> <td>多摩平の森 ふれあい館</td> <td>54人</td> </tr> <tr> <td>2/26</td> <td>①助成金説明会 ②情報交換会</td> <td>中央福祉 センター</td> <td>コロナの影響 により中止</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	会場	参加者	7/31	①司法書士、都市計画課の取組み ②活動報告・情報交換	多摩平の森 ふれあい館	54人	2/26	①助成金説明会 ②情報交換会	中央福祉 センター	コロナの影響 により中止
開催日	内容	会場	参加者										
7/31	①司法書士、都市計画課の取組み ②活動報告・情報交換	多摩平の森 ふれあい館	54人										
2/26	①助成金説明会 ②情報交換会	中央福祉 センター	コロナの影響 により中止										
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 市民のサロン等の居場所づくりへの関心は相変わらず高く、立ち上げたいという相談もある。空き家や、店舗を活用しての活動の相談があり、子ども食堂の視点も出てきている。 関係者が集まって話し合いを持ったものの活動に至らなかった相談もあった。サロンの中には、地域の福祉の拠点として様々な活動の広がりを見せているところもあり、継続的な支援が効果的などところも出てきている。 												

事業名	生活支援体制整備事業													
事業形態	受託事業（日野市）													
財源内訳	受託金													
担当係	地域支援係・在宅サービス係													
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる													
目的	地域包括ケアシステムの中で、日野市全体の生活支援のコーディネート機能を果たす第1層生活支援コーディネーターを受託し、第1層協議体の運営を行う。また、今年度から生活圈域ごとに設置する第2層協議体の運営管理を行い、日野市における生活支援の基盤整備を図る。													
事業内容	1. 第1層協議体 及び 生活支援コーディネーター業務													
実績報告	1) 第1層協議体													
	<p>①第1層協議体の開催 年2回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>内容</th> <th>会場</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回 (8/28)</td> <td>第1層の役割の確認 第2層協議体の状況報告</td> <td>中央福祉センター</td> <td>12人 事務局2人</td> </tr> <tr> <td>第2回 (3/25)</td> <td>第2層協議体状況報告 第1層でできることの検討</td> <td>日野市役所</td> <td>9人 事務局2人 高齢福祉課在宅サービス係2人</td> </tr> </tbody> </table> <p>②委員の構成 ひの市民活動団体ネットワーク、日野市シルバー人材センター ひのケアマネ協議会、ひのリハビリテーションネットワーク 日野市介護保険関連施設連絡協議会、日野市在宅介護事業者連絡会 日野市老人クラブ連合会、日野市民生委員・児童委員協議会 日野市地域包括支援センター 日野市健康福祉部高齢福祉課介護保険担当 主幹及び課長補佐 日野市第1層生活支援コーディネーター</p>				内容	会場	参加者	第1回 (8/28)	第1層の役割の確認 第2層協議体の状況報告	中央福祉センター	12人 事務局2人	第2回 (3/25)	第2層協議体状況報告 第1層でできることの検討	日野市役所
	内容	会場	参加者											
第1回 (8/28)	第1層の役割の確認 第2層協議体の状況報告	中央福祉センター	12人 事務局2人											
第2回 (3/25)	第2層協議体状況報告 第1層でできることの検討	日野市役所	9人 事務局2人 高齢福祉課在宅サービス係2人											
2) 第1層生活支援コーディネーター業務														
<p>①第2層生活支援コーディネーターの支援 地域包括支援センターの圏域連絡会に出席し、第2層の進め方について検討を行った（別途記載）</p> <p>②第2層協議体に出席（別途記載）</p> <p>③地域包括支援センターの相談協力員連絡会での説明 包括もぐさ（6/12） 包括あわか（1/15）</p> <p>④地域包括支援センターの地区連絡会での説明 包括いきいきタウン（9/19） 包括かわきた（9/24）</p> <p>⑤高齢福祉課の見守り支援ネットワーク部会の会議に参加（1/22）</p> <p>⑥日野市全体の地域包括ケアシステムの在り方を検討 ・日野市役所の地域包括ケアシステム自主勉強会に参加</p>														

	<ul style="list-style-type: none"> ・ロベリアの地域包括ケアシステムの学習会に参加 														
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より第2層が始まったため、より具体的な地域課題への関わりは第2層で担うことになり、第1層では第2層の報告を受け、第1層でできることを検討していく方向だが、現段階では、現状の確認で終わっている。 今後は、状況に応じて、市全体で検討すべきことに取り組んでいきたいが、年2回の会議では難しいため、実行委員会のような形で動く必要もある。差し当たって、市民の理解を求めるための啓発事業や広報活動等を、来年度の実施に向けて検討したい。 														
事業内容	2. 第2層協議体の事務局運営（新規）														
実績報告	<p>1) 第2層協議体 4生活圏域ごとに、年3回ずつ開催予定 今年度から各地域包括支援センター（以下包括）に配置された第2層生活支援コーディネーターと、社会福祉協議会に配置されている第1層生活支援コーディネーターを中心に社会福祉協議会が運営事務を担って進める。 （運営事務は地域支援係と在宅サービス係の地域担当で協働して進める。）</p> <p>①第2層協議体の開催 ひの圏域（包括せせらぎ・多摩川苑エリア）</p> <table border="1"> <tr> <td>第1回 (5/31)</td> <td> 会場 マザアス多摩川苑 地域交流スペース 内容 防災について考える (DIG) 参加者 41名 *包括多摩川苑の地域ケア会議と併せて実施 </td> </tr> <tr> <td>第2回 (10/29)</td> <td> 会場 中央福祉センター 集会室1・2 内容 地域の資源再発見 参加者 64名 *包括合同の地区連絡会と併せて実施 </td> </tr> <tr> <td>第3回 (12/11)</td> <td> 会場 マザアス多摩川苑 地域交流スペース 内容 マイタイムラインを避難に役立てる 参加者 42名 *包括多摩川苑の地域ケア会議と併せて実施 </td> </tr> <tr> <td>第4回 (3/25)</td> <td> 会場 中央福祉センター 集会室1 内容 水害について考える (DIG) *包括せせらぎの地域ケア会議と併せて実施 *新型コロナウイルスの影響により中止 </td> </tr> </table> <p>ひらやま圏域（包括すずらん・いきいきタウン・かわきたエリア）</p> <table border="1"> <tr> <td>第1回 (5/22)</td> <td> 会場 南平西部地区センター 内容 買い物支援について 参加者 32名 *包括すずらんの地域ケア会議と併せて実施 </td> </tr> <tr> <td>第2回 (8/21)</td> <td> 会場 南平地区社協事務所 内容 買い物支援について 参加者 15名 *包括すずらんの地域ケア会議と併せて実施 </td> </tr> <tr> <td>第3回 (1/15)</td> <td> 会場 南平地区社協事務所 内容 地域向け情報発信の検討 包括すずらんの地域ケア会議と併せて実施 参加者 9名 </td> </tr> </table>	第1回 (5/31)	会場 マザアス多摩川苑 地域交流スペース 内容 防災について考える (DIG) 参加者 41名 *包括多摩川苑の地域ケア会議と併せて実施	第2回 (10/29)	会場 中央福祉センター 集会室1・2 内容 地域の資源再発見 参加者 64名 *包括合同の地区連絡会と併せて実施	第3回 (12/11)	会場 マザアス多摩川苑 地域交流スペース 内容 マイタイムラインを避難に役立てる 参加者 42名 *包括多摩川苑の地域ケア会議と併せて実施	第4回 (3/25)	会場 中央福祉センター 集会室1 内容 水害について考える (DIG) *包括せせらぎの地域ケア会議と併せて実施 *新型コロナウイルスの影響により中止	第1回 (5/22)	会場 南平西部地区センター 内容 買い物支援について 参加者 32名 *包括すずらんの地域ケア会議と併せて実施	第2回 (8/21)	会場 南平地区社協事務所 内容 買い物支援について 参加者 15名 *包括すずらんの地域ケア会議と併せて実施	第3回 (1/15)	会場 南平地区社協事務所 内容 地域向け情報発信の検討 包括すずらんの地域ケア会議と併せて実施 参加者 9名
	第1回 (5/31)	会場 マザアス多摩川苑 地域交流スペース 内容 防災について考える (DIG) 参加者 41名 *包括多摩川苑の地域ケア会議と併せて実施													
	第2回 (10/29)	会場 中央福祉センター 集会室1・2 内容 地域の資源再発見 参加者 64名 *包括合同の地区連絡会と併せて実施													
	第3回 (12/11)	会場 マザアス多摩川苑 地域交流スペース 内容 マイタイムラインを避難に役立てる 参加者 42名 *包括多摩川苑の地域ケア会議と併せて実施													
	第4回 (3/25)	会場 中央福祉センター 集会室1 内容 水害について考える (DIG) *包括せせらぎの地域ケア会議と併せて実施 *新型コロナウイルスの影響により中止													
	第1回 (5/22)	会場 南平西部地区センター 内容 買い物支援について 参加者 32名 *包括すずらんの地域ケア会議と併せて実施													
	第2回 (8/21)	会場 南平地区社協事務所 内容 買い物支援について 参加者 15名 *包括すずらんの地域ケア会議と併せて実施													
	第3回 (1/15)	会場 南平地区社協事務所 内容 地域向け情報発信の検討 包括すずらんの地域ケア会議と併せて実施 参加者 9名													

たかはた圏域（包括あさかわ・もぐさエリア）

第1回 (7/26)	会場 高幡台団地集会所 内容 地域の課題について話し合う 参加者 27名
第2回 (11/15)	会場 高幡台団地集会所 内容 地域で行いたいこと等の意見交換 参加者 25名
第3回 (1/31)	会場 高幡台団地集会所 内容 地域課題から地域ができる事を話し合う 参加者 24人

とよた圏域

第1回 (12/18)	会場 多摩平の森さくら集会所 内容 実際にある近隣トラブルについて 参加者 24名 *包括合同の地域ケア会議と併せて実施
第2回 (12/25)	会場 豊田地区センター 内容 この地域に高齢者にこんな場所があるといいね 参加者 21名 *包括すてっぷ見守り地区連絡会に併せて実施
第3回 (3/31)	会場 プラント 内容 地域の課題再発見 *包括合同見守り地区連絡会と併せて実施 *新型コロナウイルスの影響により中止

②協議体開催に向けた打合せ

圏域	打合せ	包括圏域連絡会議
ひの	5/10, 24, 8/26, 10/10, 17 11/5, 19, 12/9, 1/31	5/22, 7/12, 9/20, 11/14, 1/15, 3/19
ひらやま	4/12, 5/17, 9/19	5/24, 9/27, 11/29, 1/24, 3/27
たかはた	8/27, 9/12, 1/30	5/28, 7/18, 9/19, 11/21, 1/15, 3/17
とよた	5/27	5/23, 7/25, 9/27, 11/28, 1/23, 3/26

③地域へ向けての説明

地域への協議体の説明まわり 高幡台団地周辺 7/9, 11/12

④第1層及び第2層生活支援コーディネーター連絡会（10/31）

⑤市、第1層・第2層生活支援コーディネーター、社協打合せ（12/24）

事業効果・評価
方向性等

・今年度から新たに始まった事業であり、市も（国や都も）方向性を模索している状況があるため、今年度はあまり形にとらわれず、それぞれの地域に合わせて、地域住民が活動しやすいよう試行錯誤しながらの開催となった。第2層生活支援コーディネーターを配置している地域包括支援センターと社会福祉協議会とが協働して、企画の検討や実際に動き出してから支援を行う必要がある。

また、他の様々な会議体との棲み分けも難しいが、市としても整理の必要を感じているとのことで、各包括ごとに実施することになる来年度に向けては、再度見直しをして、今後のあり方を検討する必要がある。

・予定していた会議が新型コロナウイルスの影響で中止になったこともあり、

	予定の回数実施できないところもあったため、来年度はその点も含めて検討が必要になる。
--	---

事業名	介護予防による地域づくり推進員業務
事業形態	受託事業（日野市）
財源内訳	受託金
担当係	地域支援係
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる
目的	昨年度に引き続き、介護予防による地域づくり推進員業務を受託し、住民主体の介護予防の推進のための基盤整備やネットワークづくりを行う。
事業内容	1. 介護予防の推進のための基盤整備
実績報告	<p>住民主体の地域づくりにつながる介護予防活動を推進するために、今年度は特にリハビリ職との連携の強化を目指した。</p> <p>1) 理学療法士等の専門職との連携</p> <p>ひのリハ職ネットワーク等打合せ 4回</p> <p>リハネット役員会にて説明 1回</p> <p>日野リハビリ祭りにて説明 1回</p> <p>2) 介護予防による地域づくり推進員としての研修・情報交換会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都介護予防による地域づくり推進員連絡会 5/14, 11/26, 1/14 ・介護予防による地域づくり推進員・地域づくりリハビリテーション専門職合同連絡会 7/5 ・地域づくりを進めるコーディネーター研修 7/11 ・東京都介護予防推進会議 12/10, 2/14 ・支えあいを広げる住民主体の生活支援フォーラム 10/16
事業内容	2. 地域の介護予防の取組への支援
実績報告	<p>1) 地域住民主体で行う介護予防の取組への支援</p> <p>①地域介護予防活動団体への各種支援</p> <p>立ち上げ支援 11回</p> <p>活動継続支援 54回</p> <p>②地域介護予防活動団体の発掘及び登録</p> <p>登録依頼、相談、手続き等 12回</p> <p>日野市地域介護予防活動団体 登録支援数 55団体</p> <p>（内、ひの健幸貯筋体操実施団体 41団体）</p> <p>2) 広く活動の周知や体操の普及による介護予防推進の支援</p> <p>①「ひの健幸貯筋体操」の紹介</p> <p>地域ですすめる介護予防のチラシへ掲載 1回</p> <p>すてっぷフェスで紹介 1回</p> <p>認知症月間で紹介 1回</p> <p>東京都生協との協働事業で紹介 1回</p>

	②登録団体の活動を周知する ひの広報にて紹介 Hi know!にて活動団体紹介	1回 37団体
事業効果・評価 方向性等	・今年度は特にリハビリ専門職との連携の仕組み作りに力を入れ、リハ職ネットワークとの打ち合わせを重ねた。その上で、リハビリ専門職に体操支援やモニタリング等の際に同行してもらった体制づくりを行った。	

事業名	地域介護予防活動支援事業				
事業形態	受託事業（日野市）				
財源内訳	受託金				
担当係	地域支援係				
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる				
目的	高齢者が、自ら要介護・要支援状態になることの予防に努めることができる環境を整備し、地域住民や団体による自主的な介護予防活動を育成し、支援することで、地域づくりにもつなげていく。				
事業内容	1. 介護予防教室の開催				
実績報告	介護予防教室の実施を日野市から受託し、市内9カ所の地域包括支援センターのエリアごとに年間で約8回ずつを予定したが、新型コロナウイルスの影響による中止もあり、合計67回の実施となった。				
	1) 実績				
	生活圏域	地域包括支援センター	開催日	開催回数	参加者
	ひの	せせらぎ	7/30, 9/4, 10/16, 11/20, 12/2 12/11, 12/14	7回	134人
		多摩川苑	9/24, 9/27, 10/11, 11/15, 12/5 12/13	6回	95人
	とよだ	あいりん	4/25, 6/17, 6/27, 7/25, 9/26 10/24, 12/12, 12/16, 1/23	9回	319人
		すてっぷ	4/17, 5/15, 6/19, 7/17, 9/18 10/16, 11/20, 12/18, 1/15, 2/19	10回	404人
	ひらやま	すずらん	5/15, 6/19, 7/12, 10/21, 11/7 1/6, 2/3	7回	91人
		いきいきタウン	5/27, 6/12, 7/10, 9/11, 10/9 11/13, 12/11	7回	118人
		かわきた	5/24, 6/28, 7/1, 9/17, 9/30 10/15, 10/29, 11/26	8回	80人
たかはた	あさかわ	8/20, 12/9, 12/23, 2/6, 2/20	5回	66人	
	もぐさ	6/6, 6/13, 7/10, 7/24, 10/4 10/18, 12/13, 12/20	8回	104人	
合計			67回	1,411人	
2) 内容・会場					

	<p>転倒予防体操を主に、音楽やストレッチ体操、ヨガ等といった様々な形で体を動かすものとしている。また啓発を兼ねているため、地域包括支援センターと相談しながら、なるべく市内の様々な会場で実施した。</p> <p>3) 日野市健康課との連携の推進 フレイル予防を推進する観点から、来年度以降、介護予防教室と体力測定会で口腔ケアの啓発を行うため、協力体制を強化する関係づくりが開始した。</p> <p>①介護予防教室及び体力測定会で協力の打ち合わせ (1/1, 2/20, 3/17) ②社協担当者向け口腔ケア講座 (2/26, 27)</p>																																																								
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターの要望を取り入れつつ、一定の成果は見られたが、これでいいというものではないので、試行錯誤が必要である。来年度は市の意向で、今までとは違ったやり方で介護予防教室を展開していく予定である。 ・少しでも多くの方が、健康寿命を延ばそう、自分の健康は自分で守るという意識を持ってもらえるような働きかけを継続していく必要がある。 ・懸案であった日野市健康課との連携がまずは口腔ケアを広めるという点で始まったが、今後は、健康課が実施する体操と、ひの健幸貯筋体操の連携等、検討を継続することが望ましい。 																																																								
事業内容	2. ひの健幸貯筋体操の普及・啓発																																																								
実績報告	<p>1) 「ひの健幸貯筋体操」に取り組む団体への支援 12か所 前年度に引き続き「ひの健幸貯筋体操 (ひの筋体操)」の普及に取り組んだ。希望された団体を対象に、新たなメンバーを受け入れていただくこと、登録団体なること等を条件に、3カ月程度の体操指導や重りの貸出等を支援した。</p> <table border="1" data-bbox="427 1111 1426 2096"> <thead> <tr> <th>実施団体</th> <th>会場</th> <th>開催日</th> <th>延べ参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ひまわり (ファミリー高幡不動)</td> <td>百草台コミュニティセンター</td> <td>4/5, 4/12, 4/19, 4/26, 5/10, 5/17 5/24, 5/31</td> <td>77人</td> </tr> <tr> <td>ひの筋体操 サロン日野高幡</td> <td>高幡キリスト教会内</td> <td>6/4, 6/11, 6/18, 6/25, 7/2, 7/9, 7/23 7/30, 8/6, 8/13, 8/20, 8/27</td> <td>65人</td> </tr> <tr> <td>美好会</td> <td>かわせみハウス</td> <td>4/2, 4/9, 4/16, 4/23, 5/14, 5/21 5/28, 6/4, 6/11, 6/18, 6/25</td> <td>92人</td> </tr> <tr> <td>がんカフェ</td> <td>市立病院講堂</td> <td>4/10, 5/8, 6/12</td> <td>112人</td> </tr> <tr> <td>トマトの会</td> <td>都営日野平山アパート 集会室1</td> <td>4/10, 4/17, 4/24, 5/8, 5/15, 5/22 6/12, 6/19, 6/26</td> <td>86人</td> </tr> <tr> <td>ぬくもりテラス</td> <td>南平駅西交流センター</td> <td>5/24, 6/22, 7/27</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>カトレア</td> <td>公社平山住宅 集会所</td> <td>5/16, 6/6, 6/20, 7/4, 7/18, 8/1, 8/15 8/29</td> <td>117人</td> </tr> <tr> <td>かわべ会</td> <td>川辺堀之内 研修所</td> <td>7/10, 7/17, 8/7, 8/21, 9/18</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>ふれあいサロン 「縁がわ」</td> <td>四ツ谷下東 地区センター</td> <td>10/8, 10/22, 11/12, 11/26, 12/10</td> <td>67人</td> </tr> <tr> <td>玄風会</td> <td>日野台2丁目地区 センター</td> <td>11/21, 12/5, 12/19, 12/26, 1/9, 1/16 1/23, 1/30, 2/6, 2/13, 2/20, 2/27</td> <td>92人</td> </tr> <tr> <td>快筋会</td> <td>サンクレイドル 集会所</td> <td>11/29, 12/6, 12/20, 12/27, 1/10 1/17, 1/24, 1/31, 2/7, 2/14, 2/21</td> <td>70人</td> </tr> <tr> <td>太極拳G</td> <td>東部会館</td> <td>1/8, 1/29, 2/5, 2/19</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">合計</td> <td>868人</td> </tr> </tbody> </table>	実施団体	会場	開催日	延べ参加人数	ひまわり (ファミリー高幡不動)	百草台コミュニティセンター	4/5, 4/12, 4/19, 4/26, 5/10, 5/17 5/24, 5/31	77人	ひの筋体操 サロン日野高幡	高幡キリスト教会内	6/4, 6/11, 6/18, 6/25, 7/2, 7/9, 7/23 7/30, 8/6, 8/13, 8/20, 8/27	65人	美好会	かわせみハウス	4/2, 4/9, 4/16, 4/23, 5/14, 5/21 5/28, 6/4, 6/11, 6/18, 6/25	92人	がんカフェ	市立病院講堂	4/10, 5/8, 6/12	112人	トマトの会	都営日野平山アパート 集会室1	4/10, 4/17, 4/24, 5/8, 5/15, 5/22 6/12, 6/19, 6/26	86人	ぬくもりテラス	南平駅西交流センター	5/24, 6/22, 7/27	31人	カトレア	公社平山住宅 集会所	5/16, 6/6, 6/20, 7/4, 7/18, 8/1, 8/15 8/29	117人	かわべ会	川辺堀之内 研修所	7/10, 7/17, 8/7, 8/21, 9/18	36人	ふれあいサロン 「縁がわ」	四ツ谷下東 地区センター	10/8, 10/22, 11/12, 11/26, 12/10	67人	玄風会	日野台2丁目地区 センター	11/21, 12/5, 12/19, 12/26, 1/9, 1/16 1/23, 1/30, 2/6, 2/13, 2/20, 2/27	92人	快筋会	サンクレイドル 集会所	11/29, 12/6, 12/20, 12/27, 1/10 1/17, 1/24, 1/31, 2/7, 2/14, 2/21	70人	太極拳G	東部会館	1/8, 1/29, 2/5, 2/19	23人	合計			868人
実施団体	会場	開催日	延べ参加人数																																																						
ひまわり (ファミリー高幡不動)	百草台コミュニティセンター	4/5, 4/12, 4/19, 4/26, 5/10, 5/17 5/24, 5/31	77人																																																						
ひの筋体操 サロン日野高幡	高幡キリスト教会内	6/4, 6/11, 6/18, 6/25, 7/2, 7/9, 7/23 7/30, 8/6, 8/13, 8/20, 8/27	65人																																																						
美好会	かわせみハウス	4/2, 4/9, 4/16, 4/23, 5/14, 5/21 5/28, 6/4, 6/11, 6/18, 6/25	92人																																																						
がんカフェ	市立病院講堂	4/10, 5/8, 6/12	112人																																																						
トマトの会	都営日野平山アパート 集会室1	4/10, 4/17, 4/24, 5/8, 5/15, 5/22 6/12, 6/19, 6/26	86人																																																						
ぬくもりテラス	南平駅西交流センター	5/24, 6/22, 7/27	31人																																																						
カトレア	公社平山住宅 集会所	5/16, 6/6, 6/20, 7/4, 7/18, 8/1, 8/15 8/29	117人																																																						
かわべ会	川辺堀之内 研修所	7/10, 7/17, 8/7, 8/21, 9/18	36人																																																						
ふれあいサロン 「縁がわ」	四ツ谷下東 地区センター	10/8, 10/22, 11/12, 11/26, 12/10	67人																																																						
玄風会	日野台2丁目地区 センター	11/21, 12/5, 12/19, 12/26, 1/9, 1/16 1/23, 1/30, 2/6, 2/13, 2/20, 2/27	92人																																																						
快筋会	サンクレイドル 集会所	11/29, 12/6, 12/20, 12/27, 1/10 1/17, 1/24, 1/31, 2/7, 2/14, 2/21	70人																																																						
太極拳G	東部会館	1/8, 1/29, 2/5, 2/19	23人																																																						
合計			868人																																																						

*参加者の実人数は、約128人

2) シニア体力測定会の実施

ひの筋体操を実施している地域介護予防活動団体を中心に、自分の現状や体操の効果を実感することで継続して体操を実施して頂くことを目的にシニア体力測定会を実施。なるべく日野市全域に呼びかける為に生活圏域（ひの

とよだ・ひらやま・たかはた）ごとに実施。

生活圏域	開催日	場所	参加者
たかはた	7/5	福祉支援センター	83人
とよだ	9/26	多摩平ふれあい館	32人
ひらやま	12/6	平山交流センター	20人
ひの	3/4	中央福祉センター	中止

3) ひの筋体操を広く知ってもらうための広報活動

5/22 すてっぷフェス

9/30 オレンジフェス

1/28 東京都生協との消費者教育推進共同事業にてひの筋体操の広報活動を行った。

4) リハビリ職との連携の推進

介護予防の推進に不可欠であるリハビリ職との連携のため、ひのリハビリテーションネットワーク（以下ひのリハネット）との連携を進め、ひの筋体操の指

導者を依頼する仕組みづくりと、効果測定についての検討を行った。

①ひの筋体操への協力のアンケート

12団体24人より協力できるとの回答を得た。

②リハビリ専門職向けの説明会を2回実施。12人のリハビリ専門職が登録。

メーリングリストを活用して呼びかけ、アシスタントから始めて、ひの筋

体操のモニタリング等に同行する仕組みを作ることが出来た。

ひのリハネットとの打合せ 6/21, 9/20, 10/3, 12/6

ひのリハネット役員会での説明 7/18

ひの筋指導者向け説明会 10/25（参加者7人）、11/13（参加者15人）

事業効果・評価
方向性等

・「ひの健幸貯筋体操」の普及・啓発を進めることで、介護予防を地域で自主的に行う団体を増やし、高齢者が、身近なところで週に1回程度体操に参加できることを目標に取り組みを継続している。

・少しずつ、市民に広まってきているようで、着実に団体も増えてきている。主に会場の都合で、週1回実施が難しい点が課題である。

・自主化後の活動の継続や効果的な体操の実施のためのリハ職の協力の仕組みづくりが進んでいる。

・リハビリ専門職の登録制度を設け、協力を仰ぎたいときにメーリングリストを活用して声かけをする仕組みが出来た。

・現に活動しているリハビリ専門職のアシスタントとして、新たに登録したリハビリ専門職が地域に出ていくようになった。今後は一人で活動できるよう支援していく。

事業内容	3. 地域介護予防活動団体の登録支援			
実績報告	1) 新規ひの筋体操の普及啓発活動 新規にひの筋体操を取り組む団体を立ち上げ、継続団体となるように支援した。 支援した団体 12団体			
	2) 既存の団体の登録支援 介護予防に資する体操または運動をしている団体に、「日野市地域介護予防活動団体」として登録してもらえるよう、Hi know!や広報ひの等で広く周知を行った。今年度新規登録団体はなかった。			
	3) ひの健幸貯筋体操実施団体の登録支援 「ひの健幸貯筋体操」に取り組む団体に、継続して取り組んでももらえるよう登録団体になってもらった。			
	登録団体 51団体（うちRI団体 11団体）			
		ひの筋	介護予防活動団体	場所
	①	★	元気印健康クラブ	多摩平4丁目AP集会所
	②	★	気かけネットワーク	平山苑地区センター
	③		地域交流スペースひだまり	下田地区センター
	④	★	健幸会	百草地区センター
	⑤	★	豊四健康クラブ	豊田南地区センター
	⑥		ハッピーソング会	日野三沢AP集会所
	⑦	★	鹿島台ふれあいサークル	鹿島台地区センター
	⑧		歌で楽しむ元気会	七生福祉センター
	⑨	★	レモン倶楽部	新井団地集会所
	⑩		落川元気会	落川都営住宅地区センター
	⑪	★	よりみち体操クラブ	さくら集会所
	⑫	★	さざんかの会	宮地区センター
	⑬	★	シバ-ピア おおさかうえ10号棟	シバ-ピアおおさかうえ 10号棟団らん室
	⑭	★	ふれあいサロン万願荘	万願荘地区センター
	⑮		シャル ウィ ダンス	勤労青年会館
	⑯	★	元気な音楽の広場	七生福祉センター
	⑰	★	愛隣舎 談話室	愛隣舎ホール
	⑱	★	ひまわり	日野台2丁目地区センター
	⑲	★	栄町ふれあいヅルーフ体操会	新東光寺地区センター
	⑳		こもれび	東神明地区センター
	㉑	★	和楽会	新井わかたけ地区センター
	㉒	★	百草団地ふれあいサロン	百草団地商店街内
㉓	★	大和田健筋体操	大和田地区センター	
㉔		あさひ健幸体操	旭ヶ丘地区センター	
㉕		青春グループ	シティハイツ集会所	
㉖	★	ひだまり（ふれあいサロン）	ふれあいサロンひだまり	

⑳	★	ふれあいサロン南平	ふれあいサロン南平
㉑	★	豊田団地シニアクラブ	西平山地区センター
㉒	★	南新井ふれあいサロン	南新井ふれあいサロン
㉓	★	ふれあいあじさいサロン	高幡市菅住宅地区センター
㉔	★	壽楽会	ひの社会教育センター
㉕	★	日老連体操クラブ	七生福祉センター
㉖	★	ふれあいサロンソレイユ	ふれあいサロンソレイユ
㉗	★	滝合木の実会（老人会）	滝合地区センター
㉘	★	平山4丁目麦の会	都営平山4丁目アパート集会所
㉙		日野ラジオ体操会	多摩平第一公園
㉚		仲田ラジオ体操会	市民の森スポーツ公園 エントランス広場
㉛		旭ヶ丘ラジオ体操会	旭ヶ丘中央公園
㉜	★	茶の間会老人クラブ	新川辺地区センター
㉝	★	アムール	程久保2-6-14
㉞	★	ピアあさひ	シルバーピアあさひがおか 集会所
㉟		新町ラジオ体操会	新町交流センター
㊱	★	トマトの会	都営平山第一集会所
㊲		自主体操グループ in福祉支援センター	福祉支援センター
㊳	★	カトレア	公社平山住宅集会所
㊴	★	ぬくもりテラス	南平駅西交流センター
㊵	★	ひまわり（ファミリー高幡不動）	百草台コミュニティセンター
㊶	★	日野市立病院患者の会がん患者会「 青葉の会」	日野市立病院3階講堂
㊷	★	美好会	かわせみハウス
㊸	★	ひの筋体操サロン日野高幡	高幡キリスト教会
㊹	★	かわべ会	川辺堀之内研修所
㊺	★	ふれあいサロン縁がわ	四ツ谷下東地区センター
㊻	★	玄風会	日野台2丁目地区センター
㊼	★	快筋会	サンクレイドル集会室

*⑬、⑰、⑸は活動休止により登録取り下げ

4) 登録団体の活動継続のための支援

①状況を把握したり、相談を受けるため、年1回以上活動の場を訪問する

②状況に応じて、理学療法士に指導を行ってもらい、継続のモチベーションアップにつなげる。

	③登録団体の連絡会を実施 1/29 (参加者 18団体 29名)
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 登録団体が増えてきたので、互いの情報交換による継続のための支援として登録団体の交流を行った。 市民に広く周知するために、紙媒体による冊子を作製した。配布方法や活用の仕方については検討中である。

事業名	障害者及び高齢者団体等のバス借上補助		
事業形態	独自事業		
財源内訳	会費、小地域福祉活動助成、歳末たすけあい募金配分金		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる		
目的	高齢者や障害者等外出機会の促進、市民活動の活性化を図るため、障害者団体や高齢者団体等が実施する研修や視察、ボランティア活動等で、民間バスを借り上げた費用の一部を補助をする。		
事業内容	1. 助成金申請受付・決定・交付・事業報告書の精査		
実績報告	障害者団体や高齢者団体等が実施する研修や視察、ボランティア活動等で、民間バスを借り上げた費用の一部を補助する制度。申請書に基づいた利用区分に応じ、優遇措置を設定している。		
	1) 補助内容		
	対象団体	補助率	限度額
	障害者団体 ①	補助対象経費 の1/2	上限30,000円 リフト付きバス利用の 場合上限40,000円
	高齢者団体 ②		
	市内地域団体 ③	補助対象経費 の1/4	上限20,000円 リフト付きバス利用の 場合上限30,000円
その他の団体 ④	11回		
2) 補助実績			
年度	合計		
RI年度	交付件数 補助額	25件 1,029,900円	
30年度	交付件数 補助額	33件 1,430,700円	
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 障害者団体、高齢者団体等からの申請・請求に関わる事務手続きもスムーズに行われ、各団体の外出活動の支援が行えている。 台風19号の影響により事業縮小（宿泊を日帰り）をした申請が1件、新型コロナウイルス感染症により外出を中止したため3件のキャンセルがあった。 		

事業名	みんなといっしょの運動会（障害者運動会）
事業形態	共催事業（東京日野ライオンズクラブ）、受託事業（日野市）
財源内訳	寄附金、赤い羽根共同募金配分金（地域）、受託金
担当係	ボランティア係
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる
目的	体を動かす機会の少ない障害者の健康増進・運動促進を図るとともに、市内障害者施設・事業所や地域住民・ボランティア間の交流を図る。
事業内容	1. 障害者運動会の開催
実績報告	<p>日時：10/6（日）10：00～15：00 会場：日野市民の森ふれあいホール 参加者：662人（競技参加者197人、職員・保護者135人、ボランティア326人、来賓・役職員等4人） 主催団体：日野市社会福祉協議会/東京日野ライオンズクラブ/日野市 参加団体：赤組 すずかけの会（すずかけの家、ふらっと・すずかけ）、やまぼうし（やまぼうし平山台、里山耕房くらさわ、おちかわ屋）、おおぞら（つばさ、やまばと、はくちょう）、一般参加 白組 夢ふうせん、東京光の家（神愛園、新生園、栄光園、就労ホーム）、八王子東特別支援学校有志 協力団体：中央大学・明星大学・首都大学東京の学生ボランティア、首都大学東京応援団、日野自動車優和会、国際ソロプチミスト日野、RIZE CHIBA、日野市民生・児童委員協議会、日野市赤十字奉仕団、日野市ボーイ・ガールスカウト連合協議会、ひの手話サークル、あおいとり日野有志、日野市立第二中学校ボランティア部、日野市発達・教育支援センターエール、日野市内社会福祉法人ネットワーク、日野市役所（福祉政策課、障害福祉課、文化スポーツ課）、日社協理事・評議委員、日社協児童部会、多くのボランティア 協賛団体：中央大学学員会日野支部（パン食い競走のパンの提供） 結果：赤組 875点 白組 820点</p>
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・30年度は台風により中止を余儀なくされた。今年度、会場を従来の中央大学から日野市市民の森ふれあいホールとした。初めての会場だったが、事故もなく無事開催することができた。 ・東京2020オリンピック・パラリンピック機運情勢事業の一環として、ウィルチェアーラグビーチーム「RIZE CHIBA」のトップ選手を招聘し、デモンストレーションとウィルチェアーラグビーの体験会を行った。選手たちと参加者が一緒に身体を動かし、また話をし記念撮影に応じる等、参加者から大変好評だった。

事業名	夏の親子レクリエーション										
事業形態	独自事業										
財源内訳	歳末たすけあい配分金										
担当係	総務係										
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる										
目的	ひとり親家庭の親子の交流及び障害児世帯の余暇活動を支援。										
事業内容	1. 夏の親子レクリエーション（日帰りバス旅行）の開催										
実績報告	ひとり親家庭の親子の交流を深めること、障害児家庭の余暇支援を目的とした日帰りバス旅行（東京ディズニーランド）を実施した。										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>参加者（うち障害児世帯）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RI年度</td> <td>7/27</td> <td>34世帯86人（9世帯27人）</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>7/21</td> <td>25世帯66人（5世帯15人）</td> </tr> </tbody> </table>		開催日	参加者（うち障害児世帯）	RI年度	7/27	34世帯86人（9世帯27人）	30年度	7/21	25世帯66人（5世帯15人）
		開催日	参加者（うち障害児世帯）								
	RI年度	7/27	34世帯86人（9世帯27人）								
30年度	7/21	25世帯66人（5世帯15人）									
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> アンケートによると満足度が非常に高く、リピーターの多い事業である。 歳末たすけあい募金を原資として充てていることを、募集時や当日資料等に明記し、参加者への周知に努めた。 29年度からフードバンク TAMA にお菓子を提供してもらい、大変好評を得ている。参加者からのありがとうメッセージを贈り、フードバンク TAMA から感謝された。 酷暑が続き熱中症の危険性が高い為、開催時期の検討が必要である。 今年度より東京ディズニーリゾートのチケット利用方法が変更となり、団体チケット購入後の利用日の変更や払い戻しができなくなった。チケット購入後の参加者都合によるキャンセル時の対応について検討が必要である。 										

事業名	日野市居住支援事業に係る住宅相談等業務（あんしん住まいる日野）	
事業形態	受託事業（日野市）	
財源内訳	受託金	
担当係	総務係	
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる	
目的	住宅確保要配慮者（低額所得者、高齢者、障害者等）を対象とした住宅相談窓口を設置し、必要となる居住支援サービスの案内と併せて民間賃貸住宅への円滑な入居を支援する。また、相談者のニーズを把握し、入居に至らない要因の整理や課題解決の方法等の検討、住宅セーフティネット機能の強化を図る。	

事業内容	1. 相談窓口の設置																																																																																														
実績報告	<p>相談業務をNPO法人東京オレンジに再委託し、下記のとおり実施した。</p> <p>1) 日時 毎週木曜日 13:00~/14:30~/16:00~ 1日3人まで(各1時間) ※R2年3月より、相談時間及び1日の相談者数を変更 13:00~/14:00~/15:00~/16:00~ 1日4人まで</p> <p>2) 場所 日野市役所内会議室</p> <p>3) 相談実績 () は昨年度実績</p> <table border="1" data-bbox="475 459 1337 1176"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="4">相談者内訳 (重複あり)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>相談者数</th> <th>高齢</th> <th>障害</th> <th>低所得・生保</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>3 (0)</td><td>1 (0)</td><td>1 (0)</td><td>2 (0)</td><td>0 (0)</td></tr> <tr><td>5月</td><td>2 (0)</td><td>1 (0)</td><td>1 (0)</td><td>1 (0)</td><td>0 (0)</td></tr> <tr><td>6月</td><td>7 (11)</td><td>5 (8)</td><td>1 (3)</td><td>5 (3)</td><td>1 (0)</td></tr> <tr><td>7月</td><td>3 (9)</td><td>3 (5)</td><td>0 (4)</td><td>1 (3)</td><td>0 (0)</td></tr> <tr><td>8月</td><td>4 (8)</td><td>4 (6)</td><td>0 (2)</td><td>1 (3)</td><td>0 (0)</td></tr> <tr><td>9月</td><td>8 (5)</td><td>5 (5)</td><td>3 (1)</td><td>7 (2)</td><td>0 (1)</td></tr> <tr><td>10月</td><td>5 (3)</td><td>4 (3)</td><td>2 (1)</td><td>1 (2)</td><td>0 (0)</td></tr> <tr><td>11月</td><td>2 (3)</td><td>0 (3)</td><td>0 (1)</td><td>1 (2)</td><td>1 (0)</td></tr> <tr><td>12月</td><td>6 (4)</td><td>3 (2)</td><td>0 (2)</td><td>1 (1)</td><td>1 (1)</td></tr> <tr><td>1月</td><td>5 (4)</td><td>2 (4)</td><td>1 (0)</td><td>3 (1)</td><td>1 (0)</td></tr> <tr><td>2月</td><td>4 (9)</td><td>2 (5)</td><td>3 (3)</td><td>3 (3)</td><td>0 (2)</td></tr> <tr><td>3月</td><td>3 (2)</td><td>2 (1)</td><td>1 (1)</td><td>0 (1)</td><td>0 (0)</td></tr> <tr><td>合計</td><td>52 (58)</td><td>32 (44)</td><td>13 (17)</td><td>26 (35)</td><td>4 (4)</td></tr> </tbody> </table> <p>その他 外国人、ストーカー被害等</p> <p>4) 転宅実績合計 22人 (事業開始平成30年6月7日から)</p> <table border="1" data-bbox="475 1281 880 1377"> <tbody> <tr> <td>RI年度</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table>			相談者内訳 (重複あり)					相談者数	高齢	障害	低所得・生保	その他	4月	3 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	5月	2 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	6月	7 (11)	5 (8)	1 (3)	5 (3)	1 (0)	7月	3 (9)	3 (5)	0 (4)	1 (3)	0 (0)	8月	4 (8)	4 (6)	0 (2)	1 (3)	0 (0)	9月	8 (5)	5 (5)	3 (1)	7 (2)	0 (1)	10月	5 (3)	4 (3)	2 (1)	1 (2)	0 (0)	11月	2 (3)	0 (3)	0 (1)	1 (2)	1 (0)	12月	6 (4)	3 (2)	0 (2)	1 (1)	1 (1)	1月	5 (4)	2 (4)	1 (0)	3 (1)	1 (0)	2月	4 (9)	2 (5)	3 (3)	3 (3)	0 (2)	3月	3 (2)	2 (1)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	合計	52 (58)	32 (44)	13 (17)	26 (35)	4 (4)	RI年度	13人	30年度	9人
		相談者内訳 (重複あり)																																																																																													
	相談者数	高齢	障害	低所得・生保	その他																																																																																										
4月	3 (0)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)																																																																																										
5月	2 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)																																																																																										
6月	7 (11)	5 (8)	1 (3)	5 (3)	1 (0)																																																																																										
7月	3 (9)	3 (5)	0 (4)	1 (3)	0 (0)																																																																																										
8月	4 (8)	4 (6)	0 (2)	1 (3)	0 (0)																																																																																										
9月	8 (5)	5 (5)	3 (1)	7 (2)	0 (1)																																																																																										
10月	5 (3)	4 (3)	2 (1)	1 (2)	0 (0)																																																																																										
11月	2 (3)	0 (3)	0 (1)	1 (2)	1 (0)																																																																																										
12月	6 (4)	3 (2)	0 (2)	1 (1)	1 (1)																																																																																										
1月	5 (4)	2 (4)	1 (0)	3 (1)	1 (0)																																																																																										
2月	4 (9)	2 (5)	3 (3)	3 (3)	0 (2)																																																																																										
3月	3 (2)	2 (1)	1 (1)	0 (1)	0 (0)																																																																																										
合計	52 (58)	32 (44)	13 (17)	26 (35)	4 (4)																																																																																										
RI年度	13人																																																																																														
30年度	9人																																																																																														
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・相談者数は昨年度に比べ減少した。今年度の相談者52人のうち、日野市生活福祉課や高齢福祉課、地域包括支援センター等の関係機関から紹介された方が25人とおよそ半数を占めている。関係機関に実績が認識され、利用に結びついているものと考えられる。 ・相談者は、高齢者や低所得者、生活保護受給者が多く独居や家族・親族との関係が希薄で連帯保証人や緊急連絡先になり得る人がいないケースが多い。核家族化で今後もこのようなケースは非常に増えてくると思われる。 ・生活保護受給中の入院中の相談者に対し、担当ケースワーカーとともに病院にて聞き取りを行った。相談場所は原則日野市役所内会議室ではあるが、今後もケースによって臨機応変に対応していく。 																																																																																														

事業内容	2. 関係機関との連携
実績報告	<p>1) 日野市居住支援協議会 3回 (6/21, 11/8, 2/21)</p> <p>2) 定例会 4回 (7/4, 10/3, 12/19, 3/19) 月例報告、相談者への支援方法、相談窓口と関係機関との連携方法等を話し合うための定例会に出席した。</p> <p>3) 不動産事業協力店意見交換会 1回 (6/27) 事業開始1年を経過し、本事業に協力いただいている市内不動産店と事業の運営方法等に対し意見交換を行った。 出席者 協力不動産店8社9人</p> <p>4) 日野市居住支援協議会 委員長との打合せ 1回 (9/3) 事業開始1年を経過し、相談窓口の現状の確認のため、日野市居住支援協議会委員長である東洋大学山本美香教授と打合せを行った。</p> <p>5) 不動産事業協力店の募集に関する説明会 1回 (10/3) 不動産事業協力店として未加盟の市内不動産業者に対し、加盟促進を目的とした説明会に出席した。 出席者 市内不動産店11社17人</p> <p>6) 事業開始から転宅が決まった人のうち、高齢独居の方にターゲットを絞ったハローライト (居住支援法人ホームネット㈱のサービスのひとつ) 試験的導入に伴う個別訪問を、日野市都市計画課と行った。</p>
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・協力不動産店と意見交換会を実施し、業務の改善点を明確化することができた。今後も定期的の実施し、協力不動産店・相談員がうまく機能し、相談者にとって有益な相談窓口になるようにしていきたい。 ・本事業の不動産事業協力店に未加盟の市内不動産事業者向けに、説明会を実施したところ、新たに5店が協力店に加盟した。協力店が増えることで、相談者に紹介できる物件数も増えることから、今後もこのような説明会を実施していけるよう、日野市都市計画課、NPO法人東京オレンジと連携していく。 ・個別訪問することで、相談時とは生活環境が違ふ (生活保護受給開始となっていた、要支援認定がはずれた等) 方が多くいた。その人を取り巻く環境が変化し続けていく中で地域生活をどのようにサポートしていけばいいのか、新たな課題がうまれてきた。

事業名	日野市子どもの学習・生活支援事業 (ほっとも南平)
事業形態	受託事業 (日野市)
財源内訳	受託金、利用料
担当係	地域支援係
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる
目的	生活困窮世帯等で、家庭環境や社会生活上の課題を抱えた子供を対象とし、居場所や学習の支援を通じコミュニケーション能力や学習習慣等の育成を行うと同時に、高校への進学を目的とした学習支援業務を行い、貧困の連鎖を食い止め困難を抱えた生活困窮者等の子どもの社会的自立を図る。

事業内容	1. ほっとも南平の運営
実績報告	<p>「ほっとも南平」は、生活困窮者自立支援法に基づき日野市が実施する子どもの学習等支援事業の4カ所目。主に平山中学校と七生中学校の学区を受け持っている。</p> <p>1) 事業内容 日時 毎週月・木 16:30~20:00 定員 小・中学生併せて25人 (小学生は主に居場所支援、中学生は主に学習支援) 1食300円で夕食を提供し、帰りは自宅まで送り届ける。</p> <p>2) 利用対象者 子ども家庭支援センターやエール、生活保護のケースワーカー等、関係者からの推薦を基に日野市セーフティネットコールセンターで判断、紹介された子ども。 登録者 合計13人(中学生5人、小学生8人)(3月末日現在)</p> <p>3) 支援者の体制 統括責任者または管理責任者(社会福祉協議会職員) 1人(3人で交替) 学習支援コーディネーター 1人(2人が曜日で交替) 居場所指導員 1人(2人が曜日で交替) 調理補助員 1人(3人が曜日で交替) 子どもの人数に応じて大学生等の学習サポーター5人が交替で勤務</p> <p>4) 事業実績 開催回数 89回 参加者数(延べ人数) 681人 スタッフ(職員・支援者) 538人 ボランティア 24名</p>
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生は不登校の子どもが多く、特に家庭の事情が絡んで、ほっともへの定期的な参加が難しく、事前の連絡もないことが多いため、参加人数が確定できない状況である。全く来ていない子どもも一人いる。 ・小学生はほぼ毎回参加しており、始まる前から来ている子どもが多い。それだけ居場所として機能していると考えられるが、その一方で、障害がある、あるいはその傾向がみられる子どもが多いので、丁寧な対応が求められる。市や関係者と密な連携がより良い支援のために必要である。支援者も、市で定められた人数以上に必要な状況である。 ・基本的に小学生が多く賑やかで、居場所としての意味合いが強い現状である。中学生が勉強に集中できる環境を確保するため、来年度から同じ建物の別の部屋を借りることとした。しかし、中学生の勉強に取り組む姿勢自体が欠けており、環境を整えたうえで、本人たちへの働きかけを工夫する必要があると感じている。 ・長期に不登校・引きこもりとなっていた子どもが、ほっともの利用年齢は過ぎてしまったものの、ボランティアとして顔を出し始め、その後調理補助として活動し始めた。同じく長期に引きこもっている兄も一緒に来ており、もともとの目的とは違うが、引きこもりの方の居場所としての可能性も感じられている。 ・3月には、新型コロナウイルスの影響で、開所時間を短縮し、検温・手洗いの徹底・マスク着用、換気、除菌のための清掃を徹底する等、感染予防に努めながらの継続となった。

事業内容	2. 関係機関との連携																								
実績報告	関係会議、研修、イベント等																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/21</td> <td>利用者相談</td> </tr> <tr> <td>6/27</td> <td>子ども家庭支援センター連絡協議会（七生中地区）</td> </tr> <tr> <td>8/5</td> <td>エールの心理士による利用者観察</td> </tr> <tr> <td>8/21</td> <td>夏休み体験会（仲田の森デイキャンプ）</td> </tr> <tr> <td>9/2</td> <td>利用者相談</td> </tr> <tr> <td>9/30</td> <td>利用者相談</td> </tr> <tr> <td>10/2</td> <td>利用者カンファレンス</td> </tr> <tr> <td>10/26</td> <td>ほっとも従事者研修</td> </tr> <tr> <td>11/20</td> <td>ほっとも情報交換会</td> </tr> <tr> <td>11/28</td> <td>ほっとも管理者研修</td> </tr> <tr> <td>2/6</td> <td>子ども家庭支援センター地区別連絡会（七生中地区）</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	5/21	利用者相談	6/27	子ども家庭支援センター連絡協議会（七生中地区）	8/5	エールの心理士による利用者観察	8/21	夏休み体験会（仲田の森デイキャンプ）	9/2	利用者相談	9/30	利用者相談	10/2	利用者カンファレンス	10/26	ほっとも従事者研修	11/20	ほっとも情報交換会	11/28	ほっとも管理者研修	2/6	子ども家庭支援センター地区別連絡会（七生中地区）
	開催日	内容																							
	5/21	利用者相談																							
	6/27	子ども家庭支援センター連絡協議会（七生中地区）																							
	8/5	エールの心理士による利用者観察																							
	8/21	夏休み体験会（仲田の森デイキャンプ）																							
	9/2	利用者相談																							
	9/30	利用者相談																							
	10/2	利用者カンファレンス																							
	10/26	ほっとも従事者研修																							
	11/20	ほっとも情報交換会																							
	11/28	ほっとも管理者研修																							
2/6	子ども家庭支援センター地区別連絡会（七生中地区）																								
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・フードバンク TAMA から、米や野菜、お菓子等の様々な食品の提供等、継続的に支援をいただき食卓が豊かなものにできている。 ・2月から、月に1回、子どもたちが体を動かして発散できる場として、南平小学校の体育館を利用させてもらえることになった。 ・地域包括支援センターすずらんによる認知症サポーター養成講座を実施したり、図書館が情報提供に来てくれたりと、地域とのつながりも広がっている。 																								

事業名	視覚障害者への朗読広報作成（情報提供）業務			
事業形態	受託事業（日野市）			
財源内訳	受託金			
担当係	総務係			
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる			
目的	日野市の情報のデージー版を作成（録音・編集）し、視覚に障害のある方へ日常生活に必要な情報の提供を行う。			
事業内容	1. 朗読（デージー）版「広報ひの」の作成（年24回）			
実績報告	日野市へ登録した市内の視覚障害者へ「広報ひの」音訳版を作成（録音・編集・郵袋作業）し、自宅へ郵送した。業務委託：朗読サークルひの			
	1) 業務実績			
	年度	登録者数	登録	回数
	RI年度	24人 個人 19人 団体 1団体/5件	新規 0件 中止 5件	24回
30年度	29人 個人 24人 団体 1団体/5件	新規 0件 中止 0件	24回	

事業内容	2. 朗読（デージー）版「ひの市議会だより」の作成（年4回）												
実績報告	<p>日野市へ登録した市内の視覚障害者へ「ひの市議会だより」音訳版を作成（録音・編集・郵袋作業）し、自宅へ郵送した。業務委託：朗読サークルひの</p> <p>1) 業務実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>登録者数</th> <th>回数</th> <th>作業工程</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RI年度</td> <td>合計 24人</td> <td>4回</td> <td>録音 4回 編集 4回</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>合計 29人</td> <td>4回</td> <td>録音 4回 編集 4回</td> </tr> </tbody> </table> <p>※郵袋は広報ひのとともに作業実施</p>		登録者数	回数	作業工程	RI年度	合計 24人	4回	録音 4回 編集 4回	30年度	合計 29人	4回	録音 4回 編集 4回
	登録者数	回数	作業工程										
RI年度	合計 24人	4回	録音 4回 編集 4回										
30年度	合計 29人	4回	録音 4回 編集 4回										
事業効果・評価 方向性等	・視覚障害者への情報保障として、「広報ひの」および「市議会だより」の音訳版を作成した。												
事業内容	3. 音訳者の育成・確保（協力事業）												
実績報告	<p>「朗読サークルひの」が主催する音訳ボランティア養成講座開催にあたり、広報周知や会場提供等の協力を行った。</p> <p>1) 音訳ボランティア養成講座（初級）の実施</p> <p>開催日 2/5、2/12、2/13、2/20、2/26（全5回） 講師 高橋久美子 氏（音訳者育成・指導者） 会場 中央福祉センター 対象 初級講座修了者 受講者数 12人</p>												
事業効果・評価 方向性等	<p>・障害者差別解消推進条例の制定・施行に伴い、障害者への情報保障が強く求められ本事業がますます重要となっている。</p> <p>・本事業の作業（朗読・録音編集・送付）は、ボランティアサークル「朗読サークルひの」が大部分を担っているため、サークル活動の安定的な維持・継続が重要となるため、「音訳ボランティア（初級）養成講座（主催：朗読サークル日野）」を今年度も協力し行った。</p>												

在宅福祉事業

事業名	在宅高齢者ケアサービス事業				
事業形態	補助事業（日野市）				
財源内訳	参加費、利用料、補助金、繰越金				
担当係	在宅サービス係				
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる				
目的	日常生活に支援が必要な在宅高齢者に、市民参加による会員制の家事援助等を中心としたサービスや体操、サロン、クラブ活動等の交流事業を実施することで市民相互の支え合いの仕組みをつくりながら在宅生活を支援する。				
事業内容	1. 利用会員（在宅高齢者）の生活支援				
実績報告	1) 職員の体制 日野市高齢者福祉総合計画において取り入れられた4つの日常生活圏域（ひの・とよだ・たかはた・ひらやま）に合わせて相談員（職員）を地域担当制で配置し、高齢者食事宅配サービス、第1号訪問事業生活援助型も含めた複合的な相談に対応している。				
	■ひの圏域 日野本町・神明・日野台1～3丁目・栄町・新町・万願寺・上田川辺堀之内・日野・宮・石田（浅川北）・石田1、2丁目				
	■とよだ圏域 豊田・東豊田・多摩平・富士町・旭が丘2、5、6丁目、大坂上日野台4、5丁目				
	■たかはた圏域 高幡・新井・三沢・落川・程久保・百草・石田（浅川南）				
	■ひらやま圏域 南平・東平山・西平山・平山・旭が丘1、3、4丁目				
	2) 活動実績				
	①会員数およびサービス利用者・活動者数				
		利用会員		協力会員	
		会員数	利用者数 (月平均)	会員数	活動者数 (月平均)
	RI 年度	492 人	148 人	154 人	66 人
30 年度	488 人	152 人	158 人	71 人	
※月平均は小数点以下四捨五入。					
②延べ利用時間と延べ利用件数					
	利用時間		利用件数		
RI 年度	8,726.5 時間		5,788 件		
30 年度	8,775.5 時間		5,752 件		

	<p>③サービス内容</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>家事援助</td> <td>身の回りの世話</td> <td>外出の付き添い</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>RI 年度</td> <td>1,688 件</td> <td>157 件</td> <td>219 件</td> <td>190 件</td> </tr> <tr> <td>30 年度</td> <td>1,700 件</td> <td>287 件</td> <td>339 件</td> <td>198 件</td> </tr> </table>		家事援助	身の回りの世話	外出の付き添い	その他	RI 年度	1,688 件	157 件	219 件	190 件	30 年度	1,700 件	287 件	339 件	198 件			
	家事援助	身の回りの世話	外出の付き添い	その他															
RI 年度	1,688 件	157 件	219 件	190 件															
30 年度	1,700 件	287 件	339 件	198 件															
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・通院や美容室、買い物等のため数時間にわたる外出時の見守りを中心とした外出付添や、事情により同居家族からの支援が得られにくい高齢者への家事援助等、利用会員一人ひとりの希望や状況を受け止めた活動を展開できた。 ・利用会員の普段の様子を知っている協力会員の気づきと連絡により、迅速に医療機関へつなげられたケースが3件あった。 																		
事業内容	2. 協力会員（市民の協力者）の活動支援																		
実績報告	<p>1) 協力会員研修会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7/30午前</td> <td>「福祉用具を知るともっと介助がラクになる！」</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>11/9全日</td> <td>「介護実技」</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>11/30全日</td> <td>「介護実技」</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>3/2午後</td> <td>「車いすと外出付添」</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>3/12午後</td> <td>「車いすと外出付添」</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	参加者	7/30午前	「福祉用具を知るともっと介助がラクになる！」	13人	11/9全日	「介護実技」	3人	11/30全日	「介護実技」	2人	3/2午後	「車いすと外出付添」	中止	3/12午後	「車いすと外出付添」	中止
開催日	内容	参加者																	
7/30午前	「福祉用具を知るともっと介助がラクになる！」	13人																	
11/9全日	「介護実技」	3人																	
11/30全日	「介護実技」	2人																	
3/2午後	「車いすと外出付添」	中止																	
3/12午後	「車いすと外出付添」	中止																	
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具を利用して生活している利用会員もいるため、「福祉用具を知るともっと介助がラクになる！」研修会において、新たに入会した協力会員を中心に研修を行った。また、ハンディキャブ運転協力者の中からも希望者が参加した。外出付添の活動で協力会員と運転協力者が一緒に活動することもあり、今後交流を含めた研修等を企画していきたい。 ・「車いすと外出付添」研修会は、近年増加している外出付添について協力会員が安心して活動できるよう、市内特養介護部会に参加している現場の介護職員による協力を得ることで実技を含めた内容で企画した。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止することとなった。 																		
事業内容	3. 地域での支えあいの仕組みづくり																		
実績報告	<p>1) クラブ活動 協力会員と利用会員の希望者が行っている自主的な活動。</p> <p>女性限定麻雀クラブ：毎月第2,4月曜日午後定期的に集まり、複数の卓で交代しながら健康麻雀を行っている。</p> <p>将棋クラブ：定期活動（第4金）と自主練習日（第2火）を設け、駒を並べるところからお互いに教え合い、聞きながらの活動を行っている。</p> <p>英会話クラブ：現役時代の経験を活かした利用会員が講師となり、月に1回実用英会話の講習会を行っている。</p> <p>料理クラブ：参加する会員が意見を出し合って毎回の担当者メニューを決めることから始め、工夫しておいしくできる料理を教え合う場となっている。</p>																		

2) おしゃべりサロン

利用会員と協力会員の会員相互の交流の場としてサロン活動を開催した。

開催日	内容	参加者
5/24	歯の話	10人
6/26	おしゃべりは最大の認知症予防	12人
7/19	お蕎麦ランチと血管年齢&足指力測定	33人
8/30	高齢者の低栄養と対策*講師都合により延期	—
9/20	おもてなしランチへのお誘い	34人
11/29	東京マイタイム・ライン	10人
12/20	ゴミ分別の話	10人
2/28	昼食会	中止

※8/30の講演を9/20開催時に併せて実施した。

3) はつらつ体操

毎月1回、楽しく気軽に介護予防になる体操教室(利用・協力会員向け)を開催。

講師:木村明美氏(介護予防指導士)

開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者
4/26	17人	5/24	22人	6/7	15人
7/26	16人	8/30	20人	9/27	11人
10/25	11人	11/15	13人	12/20	16人
1/24	15人	2/7	15人	3/27	中止

4) 会報誌「ねっとわーく」の発行

毎月10日に約630部を会員向けに発行。事業や地域に関する情報を提供し、協力会員および利用会員の暮らしや活動の充実を促す。

5) バスハイク

会員相互の交流を目的に、年1回日帰りバス旅行を実施。協力会員と利用会員がグループになり、オリンピックの開催地として変わりつつある新宿方面に出かけた。

開催日	場所	参加者
11/6	都庁展望室、ザ・サクラダイニング・トウキョウ、新宿末廣亭	32人

6) 新年会

東京光の家カフェカナンの特製弁当による昼食会、会員による琴演奏、歌声喫茶等で交流を図りながら新春を祝った。

開催日	場所	参加者
1/29	福祉支援センター	23人

事業効果・評価
方向性等

・クラブ活動、おしゃべりサロン、はつらつ体操が気軽に参加できる会員相互の交流や情報交換の場となっている。
・おしゃべりサロンでは、10月12日の台風19号上陸時の被災経験を踏まえて、東京都が作成した「東京マイタイム・ライン」のキットを使った個別避難計画づくりに各会員が挑戦した。また、翌月は市のゴミ分別方法の変更に伴い、市ごみゼロ推進課職員を招いて変更点を学んだ。

	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、2,3月のおしゃべりサロンと3月のはつらつ体操を中止とした。 																														
事業内容	4. 協力会員募集の強化																														
実績報告	<p>ひの社協だより及び広報ひの、チラシ等を活用して新規の協力会員募集のための事業説明会を行った。</p> <p>1) 事業説明会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/19</td> <td>多摩平交流センター</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>6/20</td> <td>中央福祉センター</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>6/24</td> <td>福祉支援センター</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>9/27</td> <td>多摩平交流センター</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>10/2</td> <td>中央福祉センター</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>10/7</td> <td>福祉支援センター</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>2/19</td> <td>中央福祉センター</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>2/27</td> <td>多摩平の森ふれあい館</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>3/6</td> <td>福祉支援センター</td> <td>中止</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2/19は活動協力者説明会として、他の4係と共同開催。</p> <p>2) 入会者数 17人</p>	開催日	場所	参加者	6/19	多摩平交流センター	4人	6/20	中央福祉センター	2人	6/24	福祉支援センター	5人	9/27	多摩平交流センター	7人	10/2	中央福祉センター	2人	10/7	福祉支援センター	5人	2/19	中央福祉センター	2人	2/27	多摩平の森ふれあい館	0人	3/6	福祉支援センター	中止
	開催日	場所	参加者																												
	6/19	多摩平交流センター	4人																												
	6/20	中央福祉センター	2人																												
	6/24	福祉支援センター	5人																												
	9/27	多摩平交流センター	7人																												
	10/2	中央福祉センター	2人																												
	10/7	福祉支援センター	5人																												
	2/19	中央福祉センター	2人																												
	2/27	多摩平の森ふれあい館	0人																												
	3/6	福祉支援センター	中止																												
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・新規入会した協力会員ができるだけ速やかに活動が始められるように調整を行った。一方で、退会する協力会員も毎年度いるため、今後も積極的な協力会員募集を行っていく。 																														

事業名	第1号訪問事業生活援助型																																																																												
事業形態	介護保険事業（日野市）																																																																												
財源内訳	介護保険事業収入（公費・利用料）																																																																												
担当係	在宅サービス係																																																																												
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる																																																																												
目的	高齢者が住み慣れた自宅でいつまでも安心して暮らせるよう、ヘルパーが訪問して高齢者自身の自らの能力を最大限に活かしながら生活援助を行うことで、要介護状態にならないように予防することを目指す。																																																																												
事業内容	1. 要支援認定者および事業対象者への生活援助																																																																												
実績報告	平成28年4月より開始した日野市介護予防・日常生活支援総合事業において、要支援1・2の認定もしくは地域包括支援センターが実施する基本チェックリストで事業対象となった方を対象に、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所等が作成する介護予防ケアプランに基づいて、あらかじめ登録したヘルパーによる掃除・洗濯・買い物・食事づくり等の生活援助を行う。																																																																												
	1) 実績 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>新規契約</th> <th>利用者数</th> <th>利用時間</th> <th>終了（解約）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>0</td><td>10</td><td>49</td><td>0</td></tr> <tr><td>5月</td><td>0</td><td>10</td><td>47</td><td>0</td></tr> <tr><td>6月</td><td>1</td><td>11</td><td>47</td><td>0</td></tr> <tr><td>7月</td><td>0</td><td>10</td><td>48</td><td>1</td></tr> <tr><td>8月</td><td>0</td><td>10</td><td>46</td><td>0</td></tr> <tr><td>9月</td><td>0</td><td>10</td><td>45</td><td>0</td></tr> <tr><td>10月</td><td>0</td><td>10</td><td>50</td><td>0</td></tr> <tr><td>11月</td><td>1</td><td>11</td><td>47</td><td>0</td></tr> <tr><td>12月</td><td>0</td><td>11</td><td>44</td><td>0</td></tr> <tr><td>1月</td><td>0</td><td>11</td><td>46</td><td>0</td></tr> <tr><td>2月</td><td>0</td><td>11</td><td>47</td><td>0</td></tr> <tr><td>3月</td><td>1</td><td>11</td><td>51</td><td>0</td></tr> <tr><td>合計</td><td>3</td><td>125</td><td>567</td><td>1</td></tr> </tbody> </table> 2) 登録ヘルパー数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tbody> <tr> <td>RI年度</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>21人</td> </tr> </tbody> </table>					新規契約	利用者数	利用時間	終了（解約）	4月	0	10	49	0	5月	0	10	47	0	6月	1	11	47	0	7月	0	10	48	1	8月	0	10	46	0	9月	0	10	45	0	10月	0	10	50	0	11月	1	11	47	0	12月	0	11	44	0	1月	0	11	46	0	2月	0	11	47	0	3月	1	11	51	0	合計	3	125	567	1	RI年度	25人	30年度
	新規契約	利用者数	利用時間	終了（解約）																																																																									
4月	0	10	49	0																																																																									
5月	0	10	47	0																																																																									
6月	1	11	47	0																																																																									
7月	0	10	48	1																																																																									
8月	0	10	46	0																																																																									
9月	0	10	45	0																																																																									
10月	0	10	50	0																																																																									
11月	1	11	47	0																																																																									
12月	0	11	44	0																																																																									
1月	0	11	46	0																																																																									
2月	0	11	47	0																																																																									
3月	1	11	51	0																																																																									
合計	3	125	567	1																																																																									
RI年度	25人																																																																												
30年度	21人																																																																												
事業内容	2. 日常生活圏域ごとの相談員配置																																																																												
実績報告	日野市介護保険事業計画における4つの日常生活圏域（ひの・とよだ・たかはた・ひらやま）ごとに地域担当相談員（職員）を配置。利用者やその家族からの相談に応じ、関係機関等との調整を行う。																																																																												

事業内容	3. 登録ヘルパー募集説明会等による人材確保		
実績報告	安定したサービス提供ができるよう、登録ヘルパーの人材確保のための説明会等を開催した。		
	1) 在宅高齢者ケアサービス事業協力会員向け説明会		
	開催日	場所	参加者
	7/17 午後	福祉支援センター	2人
7/30 午後	多摩平交流センター	5人	
	2) 登録者数 6人 (うち活動者数 2人)		
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は、昨年度の事業開始以前に想定していた5,6人のほぼ倍の人数で推移している。 ・ひらやま圏域やかかはた圏域で活動ができる登録ヘルパーが不足していたため、在宅高齢者ケアサービス事業協力会員向けに説明会を実施して登録ヘルパーの増員を図った。 ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ヘルパーが検温や手洗い、マスク、ゴム手袋着用を徹底するとともに、利用者にもサービス提供前の検温や咳エチケット等を依頼して感染防止対策を行った。 		

事業名	移送サービス（日野ハンディキャブ）事業					
事業形態	補助事業（日野市）					
財源内訳	補助金、利用料					
担当係	地域支援係					
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる					
目的	公共交通機関での移動が困難な市内在住・在宅の高齢者や障害者が気軽に外出できるよう、福祉車両を使い外出支援を行う。					
事業内容	1. 在宅高齢者や障害者の外出支援					
実績報告	日野市有償福祉運送運営協議会の協議を経て、国土交通省に登録し、有償旅客運送を実施。車椅子対応リフト付きワゴン車（福祉車両）で、市内在住の移動困難となった高齢者や障害者を、運転ボランティアが自宅から目的地まで搬送。要件を満たす登録者（市民税非課税で要介護3・4・5または下肢か体幹機能障害の障害者手帳1級か2級所持）が利用した場合、利用料金の一部を日野市が補助。					
	1) 実績					
		車両	運転ボランティア	利用登録者	利用件数	走行距離
	R1年度	8台	16人	377人	2,545件	24,531km
30年度	8台	20人	391人	2,930件	30,757km	
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・移動困難者に対して有効な事業であり、市内でも最大規模で運行し利用者や福祉関係者から支持を得ているが、中長期的に今後の事業のあり方を検討していく。 ・業務量が多いので複数職員による事務分担、効率化や改善を図っていく。 					

	<ul style="list-style-type: none"> ・運転ボランティアが徐々に減少し稼働車両数が減る状況が続いている。運転ボランティアの募集に力を入れ、利用者のニーズに応えていきたい。その一つの対応として、運転協力者に登録時の年齢制限を66歳から70歳に引き上げた。また、車両に運転協力者募集の張り紙をしてみたが、ほとんど効果がなかった。 ・3月以降は新型コロナウイルス流行により、利用者に対し利用を控えるお願いをしているため、利用件数は減少している。さらに、医療機関から断られる等の理由でキャンセルも増えている。 											
事業内容	2. 見守り体制の強化・連携											
実績報告	1) 運転協力者連絡会 毎月開催 利用者支援を行う運転協力者と情報共有を図り、よりよい利用者支援を目指した。(3月運転協力者連絡会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)											
事業内容	3. 相談支援											
実績報告	利用希望者に対し当該地区担当者が訪問し、事業の説明・申請受付をしている。また訪問時、当事業以外の事案についても相談、他事業の紹介等も行っている。											
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業が利用できる方には担当ケアマネージャー等の支援者がいるが、支援者の知らないインフォーマルサービス等の情報提供をしていく。 ・福祉関連職の方に当事業の内容を理解、周知をすすめる。 											
事業内容	4. 安全管理（運転協力者への講習義務付け）											
実績報告	<p>1) 患者等搬送乗務員講習・再講習 運転協力者が利用者の状態の理解と緊急時の適切な対応ができるよう、東京防災救急協会が主催する講習会に参加。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>場所</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/24, 5/10, 8/2 11/27, 1/27</td> <td>再講習</td> <td rowspan="2">麴町消防署</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>5/29-30</td> <td>新規講習</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 安全運転者講習会 例年3月の運転協力者連絡会にて、日野警察署から署員を講師として招き実施しているが、今年度については新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。</p>	開催日	内容	場所	参加者	4/24, 5/10, 8/2 11/27, 1/27	再講習	麴町消防署	6人	5/29-30	新規講習	1人
開催日	内容	場所	参加者									
4/24, 5/10, 8/2 11/27, 1/27	再講習	麴町消防署	6人									
5/29-30	新規講習		1人									
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・車両のメンテナンス等を行い、安全な事業運営に努める。また経年劣化した車両については、順次廃車、買い替え等検討する。 ・運行が月曜日から金曜日まで週5日あり、事故に関しては細心の注意が必要である。講習は運転協力者自身の振り返りも含め、継続していく必要がある。 											
事業内容	5. 関係機関との情報共有・連携強化											
実績報告	1) 日野市有償福祉運送運営協議会 道路運送法による登録の更新を行うため、市が主催し地域の関係者がその運送の必要性を協議する会議に出席。 開催日 8/22 (木) 場 所 日野市役所 505 会議室											

事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・年に一度の運営協議会なので、情報共有や連携が難しい。 ・行政側も運営協議会は福祉政策課、補助金請求は高齢福祉課と分担されているため情報共有や連携が難しい。利用者支援には行政との連携は必要不可欠であるため、どのような連携が図れるのか検討する。
-----------------	--

事業名	高齢者食事宅配サービス事業				
事業形態	受託事業（日野市）、独自事業				
財源内訳	受託金、歳末たすけあい配分金				
担当係	在宅サービス係				
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる				
目的	身体状況や疾病等により買い物・調理が困難となった在宅高齢者等を対象に、栄養管理した昼食を提供し、食の確保や健康状態の維持を支援する。また、配達時に利用者へ直接手渡すことで見守り・安否確認を行う。				
事業内容	1. 在宅高齢者への栄養管理した昼食の提供				
実績報告	1) 新規申込者数				
		申込者数	内訳		
	RI年度	131人	ひとり暮らし：66件 日中ひとり：8件	高齢者世帯：53件 その他：4件	
30年度	163人	ひとり暮らし：82件 日中ひとり：13件	高齢者世帯：57件 その他：11件		
事業内容	2. 利用者の見守り・安否確認の強化				
実績報告	1) 配食事業者 5事業所（業務委託） ①マザアス ②豊かな里 ③夢ふうせん ④ベルハート・エール ⑤福祉カフェテリア				
	2) 実績				
		利用者数	配食数	内訳	安否確認 対応件数
RI年度	3,745人	57,885食	①21,193食 ② 8,147食 ③ 6,788食 ④ 5,613食 ⑤16,144食	225件	無事221件 救急 4件 その他0件
30年度	3,646人	56,091食	①20,207食 ② 7,655食 ③ 6,965食 ④ 4,587食 ⑤16,677食		
※「安否確認対応件数」および「安否確認結果」はRI.8月分より集計開始。					
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・安否確認について、委託先の配食事業者と連携を強化しながら当会への引継がスムーズに移行できるよう土日祝日を含めた体制を整備した。その結果、救急搬送が必要なケースを早期発見できた等の効果が出始めた。 ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、通所サービスが利用休止となった利用者からの利用日追加希望などにより、2,3月の利用食数が若干増加した。 				

事業内容	3. 安定したサービス体制の確保						
実績報告	<p>1) 情報交換会 1回 (7/1) 配食事業者・社協による情報交換会を実施。各事業者での取組みの情報共有や事業運営に関する確認等を行った。</p> <p>2) 配食事業者調理施設訪問 配食事業者から調理や配達の工程等について説明を受けた。</p> <table border="1"> <tr> <td>実施日</td> <td>見学先</td> </tr> <tr> <td>7/3</td> <td>マザアス、豊かな里</td> </tr> <tr> <td>7/8</td> <td>夢ふうせん、ベルハート・エール、福祉カフェテリア</td> </tr> </table> <p>3) 新型コロナウイルス感染拡大対策 市内で感染が確認されたことから、配食事業者の配達員が必要に応じてマスクやゴム手袋を着用して、利用者との接触時間を減少しながら配達することで対応した。</p>	実施日	見学先	7/3	マザアス、豊かな里	7/8	夢ふうせん、ベルハート・エール、福祉カフェテリア
実施日	見学先						
7/3	マザアス、豊かな里						
7/8	夢ふうせん、ベルハート・エール、福祉カフェテリア						
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・8月より配食事業者からの報告書様式を電子データで統一することとなった。従来の報告書では配達の可否しか把握できなかったが、再配達、当日キャンセルなどが把握できるようになった。 ・家族や支援者からの相談が入り、在宅で暮らす高齢者の食の確保ならびに安否確認（見守り）の事業として期待されている。 						

事業名	車椅子貸出事業						
事業形態	独自事業						
財源内訳	利用料						
担当係	総務係						
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる						
目的	高齢、障害、怪我等で歩行が困難な方に短期間の車椅子の貸出を行う。						
事業内容	1. 利用状況の把握、在庫管理						
実績報告	<p>1) 市内在住の高齢者や障害者、傷病等による歩行困難者を対象に、一時的に車椅子を貸出。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>貸出件数</td> </tr> <tr> <td>R1年度</td> <td>184件</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>218件</td> </tr> </table>		貸出件数	R1年度	184件	30年度	218件
	貸出件数						
R1年度	184件						
30年度	218件						
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の方に広く浸透している社協サービスの一つである。 ・貸出を行っている日野事務所及び高幡事務所の在庫管理及び点検を徹底し、市民の方が貸出を希望する際、車椅子が不足しているといった状況が無いよう工夫した。 ・問い合わせや貸出件数が減少傾向にある。 ・車いすの経年劣化に伴い、修繕や廃棄になる台数が増加している。 						

事業名	コミュニケーション支援事業				
事業形態	補助事業（日野市）				
財源内訳	障害福祉サービス等補助金				
担当係	総務係				
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる				
目的	聴覚障害者の情報保障やコミュニケーションの円滑化を図り、社会参加の機会向上のため、手話通訳者を派遣する。 聴覚障害者が地域で安心して暮らせるよう相談を受け、関係機関と連携して支援する。				
事業内容	1. 利用者支援				
実績報告	1) 利用登録者				
		登録者数（うち新規契約者数）			
	R1年度	73人（4人）			
	30年度	69人（4人）			
実績報告	2) 手話通訳者				
		登録者数			
	R1年度	15人			
	30年度	12人			
実績報告	3) 利用者懇談会				
	日時 10/27(日) 10:00~11:15				
	参加者 8人				
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口では通訳依頼に加えて、各種相談や支援を適宜行っている。専門的な内容の相談も多く、日野市役所に常駐している設置通訳者へ繋がるよう案内をしているが社協職員で対応するケースも多い。 ・H30年度全国統一試験合格者の2人（日野市手話講習会修了生）、都外から転居されてきた手話通訳者1名が新たに登録し活動をした。 ・平日日中に活動できる通訳者が少ないため、特定の通訳者への負担が大きい状況になっている。通訳者の養成・確保が急務の課題である。 ・利用者懇談会の参加者が固定化されつつある。できるだけ多くの利用者の意見を得られるよう、日野市聴覚障害者協会と内容、開催日等を検討する。 ・事業の利用契約書の文言が難しく、利用者の障害特性によっては正しく理解を得られない可能性があるため、今後検討を行っていきたい。 				
事業内容	2. 手話通訳者等の派遣・調整				
実績報告	聴覚障害者に対して手話通訳者・要約筆記者を派遣し、当該聴覚障害者の日常生活を支援。				
	1) 実績（ ）内は東京都手話通訳等派遣センター数				
		利用者数	利用件数	通訳者数	派遣回数
	R1年度	39人	466件（84件）	15人	643回（147回）
30年度	41人	407件（84件）	12人	459回（142回）	

事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年4月に障害者差別解消法が施行されてから、合理的配慮として市主催イベントに手話通訳者が配置されるようになり、市からの通訳依頼は年々増加している。 講演会や会議等の1時間以上の通訳依頼が増えたため、派遣回数が昨年より増加した。 同日同時時間帯の複数の依頼や専門的な内容の会議で対応できる通訳者が限られる依頼等、派遣調整が難しいケースが増加している。 昨年に比べ利用者数は減少しているものの、特定の利用者による受診やサービスの申請、相談等の依頼が増加したため、利用件数及び派遣回数は増加傾向にある。 																				
事業内容	3. 手話通訳者の資質向上																				
実績報告	<p>今年度新たに日野市登録手話通訳者として契約した3人に対して、新人研修を行った。</p> <table border="1" data-bbox="443 663 1339 1128"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/26</td> <td>「オリエンテーション・手話通訳のあり方」</td> </tr> <tr> <td>5/8</td> <td>実習（手話講習会開講式）</td> </tr> <tr> <td>5/9</td> <td>「実習の振り返り、読み取り通訳演習」</td> </tr> <tr> <td>5/30</td> <td>「読み取り通訳演習」</td> </tr> <tr> <td>6/3</td> <td>実習（防災シンポジウム実行委員会）</td> </tr> <tr> <td>6/6</td> <td>実習（次年度検討会）</td> </tr> <tr> <td>6/11</td> <td>「模擬通訳演習」</td> </tr> <tr> <td>6/16</td> <td>実習（みんなの遊友ランド）</td> </tr> <tr> <td>6/27</td> <td>「手話通訳派遣の概要について・聞き取り通訳演習」</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 打合せ 1回 (4/3) 新人研修実施にあたり、日野市聴覚障害者協会及び日野市登録手話通訳者の会と打合せを行った。</p>	開催日	内容	4/26	「オリエンテーション・手話通訳のあり方」	5/8	実習（手話講習会開講式）	5/9	「実習の振り返り、読み取り通訳演習」	5/30	「読み取り通訳演習」	6/3	実習（防災シンポジウム実行委員会）	6/6	実習（次年度検討会）	6/11	「模擬通訳演習」	6/16	実習（みんなの遊友ランド）	6/27	「手話通訳派遣の概要について・聞き取り通訳演習」
開催日	内容																				
4/26	「オリエンテーション・手話通訳のあり方」																				
5/8	実習（手話講習会開講式）																				
5/9	「実習の振り返り、読み取り通訳演習」																				
5/30	「読み取り通訳演習」																				
6/3	実習（防災シンポジウム実行委員会）																				
6/6	実習（次年度検討会）																				
6/11	「模擬通訳演習」																				
6/16	実習（みんなの遊友ランド）																				
6/27	「手話通訳派遣の概要について・聞き取り通訳演習」																				
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 今年度より、日野市登録手話通訳者の会、日野市聴覚障害者協会、社協の3者で研修内容の検討を行った。 実習を増やすことで、新人通訳者に実際の通訳現場のイメージをつかんでもらうことができた。 今後も聴覚障害者の更なる社会参加に寄与できるよう、手話通訳士専門研修等の研修への参加を促していきたい。 																				
事業内容	4. 関係機関との連携																				
実績報告	<p>1) 障害福祉課との打合せ 2回開催 (5/28、6/26)</p> <p>2) 日野市登録手話通訳者の会定例会への参加</p>																				
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> よりよい利用者支援、登録手話通訳者の定着・育成等について、本事業の実施主体である障害福祉課と、委託事業である手話講習会事業も含め次年度に向け話し合いを行った。 特定の利用者に対する支援のため、ケアマネジャーや病院と連携を図り必要な医療に結び付くことができた。安心した地域生活を送ることができるよう今後も連携を図っていく。 突発的な派遣依頼が増加していることから、緊急の派遣対応を検討していく必要がある。 																				

ボランティア活動推進事業

事業名	日野市ボランティア・センター																												
事業形態	独自事業																												
財源内訳	会費、寄附金、参加費、手数料、歳末たすけあい配分金、繰入金																												
担当係	ボランティア係																												
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる																												
目的	地域でボランティアを必要とする人と、地域に貢献したい人とをつなげるとともに、まちづくりを担う人材の育成・発掘を行う。また、多様な情報ネットワークを活用し、ボランティア情報の収集・発信を行う。																												
事業内容	1. ボランティア相談・コーディネート																												
実績報告	<p>1) ボランティア企画調整部会 ボランティア窓口相談員から企画調整部会員として3人選出し、ボランティアセンター運営のための企画調整会議を毎月開催。</p> <p>2) ボランティアセンター窓口相談 10時から15時の時間帯に「ボランティア窓口相談員(3人)」を配置し、市民参加によるボランティアに関する相談・調整を実施。</p> <p>①ボランティア登録者・活動者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">個人</th> <th colspan="2">団体</th> </tr> <tr> <th>登録者</th> <th>活動者</th> <th>登録団体</th> <th>活動団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RI年度</td> <td>364人</td> <td>延べ408人</td> <td>79団体</td> <td>延べ84団体</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>339人</td> <td>延べ371人</td> <td>71団体</td> <td>延べ70団体</td> </tr> </tbody> </table> <p>※活動者に昨年度から継続的に活動している人数は含まない。</p> <p>②コーディネート結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ニード受付</th> <th>成立</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RI年度</td> <td>299件</td> <td>214件</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>273件</td> <td>219件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※活動者に昨年度から継続的に活動している人数は含まない。</p> <p>③窓口相談員連絡会 ボランティアセンターの事業検討、コーディネート状況の情報共有のため、連絡会を毎月開催。</p> <p>3) ボランティアセンター相談受付システムの運用と改善 ボランティアコーディネートを効率的・効果的に行うための相談システムを運用し、改善を重ねた。</p>		個人		団体		登録者	活動者	登録団体	活動団体	RI年度	364人	延べ408人	79団体	延べ84団体	30年度	339人	延べ371人	71団体	延べ70団体		ニード受付	成立	RI年度	299件	214件	30年度	273件	219件
	個人		団体																										
	登録者	活動者	登録団体	活動団体																									
RI年度	364人	延べ408人	79団体	延べ84団体																									
30年度	339人	延べ371人	71団体	延べ70団体																									
	ニード受付	成立																											
RI年度	299件	214件																											
30年度	273件	219件																											
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の登録者数は、昨年よりも増加した。広報紙やホームページ等での情報発信を通して、より多くの市民にボランティアセンターの存在が認知されるようになったためと推測される。 ボランティア依頼件数も、昨年と比較して増加した。定期的に催し物の依頼をする福祉施設が増えたためと考えられる。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響で2月末～3月末の依頼がキャンセルとなったため成立数は減少して 																												

	<p>いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来のエクセルでの情報管理から相談受付システムへの移行作業が進み、事務作業の効率化が図られている。 												
事業内容	<p>2. 多様なネットワークの構築</p>												
実績報告	<p>1) 第17回 ボランティア交流会</p> <p>地域で活躍するボランティア同士の情報交換と交流の場として年1回開催している。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止となった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3/9</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・短編映画「千里翔べ」上映会 ・中野健吾さん講演会 ・和楽器パフォーマンス 演奏者 中田大悟 氏、遠藤頌豆 氏 ・交流タイム・お楽しみ抽選会 </td> <td>新町交流センター</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	場所	3/9	<ul style="list-style-type: none"> ・短編映画「千里翔べ」上映会 ・中野健吾さん講演会 ・和楽器パフォーマンス 演奏者 中田大悟 氏、遠藤頌豆 氏 ・交流タイム・お楽しみ抽選会	新町交流センター						
	開催日	内容	場所										
	3/9	<ul style="list-style-type: none"> ・短編映画「千里翔べ」上映会 ・中野健吾さん講演会 ・和楽器パフォーマンス 演奏者 中田大悟 氏、遠藤頌豆 氏 ・交流タイム・お楽しみ抽選会	新町交流センター										
	<p>2) 市民活動団体連絡会との連携</p> <p>①まちづくり市民フェア2019実行委員会キックオフイベント「みんなで考えようコミュニティーへの処方箋」</p> <p>まちづくり市民フェア2019の前段としてのキックオフイベントを実行委員会有志により行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>場所</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8/29</td> <td> SDGsセミナー 講師 横山泰治 氏 (NPO法人 ちょうふこどもネット副理事長) </td> <td>生活保健センター</td> <td>94人</td> </tr> <tr> <td>9/1</td> <td> コミュニティーへの処方箋 講師 西川正 氏 (NPO法人ハズオン代表理事) </td> <td>中央福祉センター</td> <td>54人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	場所	参加者	8/29	SDGsセミナー 講師 横山泰治 氏 (NPO法人 ちょうふこどもネット副理事長)	生活保健センター	94人	9/1	コミュニティーへの処方箋 講師 西川正 氏 (NPO法人ハズオン代表理事)	中央福祉センター	54人
	開催日	内容	場所	参加者									
	8/29	SDGsセミナー 講師 横山泰治 氏 (NPO法人 ちょうふこどもネット副理事長)	生活保健センター	94人									
	9/1	コミュニティーへの処方箋 講師 西川正 氏 (NPO法人ハズオン代表理事)	中央福祉センター	54人									
	<p>②まちづくり市民フェア2019</p> <p>実行委員として企画・運営を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>場所</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10/20</td> <td>ブース展示</td> <td>市民の森ふれあいホール</td> <td>全体来場者 約1,100人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	場所	参加者	10/20	ブース展示	市民の森ふれあいホール	全体来場者 約1,100人				
	開催日	内容	場所	参加者									
	10/20	ブース展示	市民の森ふれあいホール	全体来場者 約1,100人									
<p>③まち活</p> <p>ボランティア・市民活動を共に行う仲間づくりと、定年退職前後の市民の社会参加促進を目的とした「まち活」の企画・運営に協力した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>場所</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/21</td> <td> 【第1部】経験者は語る! ①退職はチャンス! (湯口 裕氏) ②公民館でいつも楽しく! (野上 京子氏) ③人生は二度三度 (蛭田 勝廣氏) ④ボランティアの魅力 (中村 静江氏) ⑤地域で100人の仲間づくり (黒川 昭夫氏) 【第2部】交流会 </td> <td>新町交流センター</td> <td>50人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	場所	参加者	4/21	【第1部】経験者は語る! ①退職はチャンス! (湯口 裕氏) ②公民館でいつも楽しく! (野上 京子氏) ③人生は二度三度 (蛭田 勝廣氏) ④ボランティアの魅力 (中村 静江氏) ⑤地域で100人の仲間づくり (黒川 昭夫氏) 【第2部】交流会	新町交流センター	50人					
開催日	内容	場所	参加者										
4/21	【第1部】経験者は語る! ①退職はチャンス! (湯口 裕氏) ②公民館でいつも楽しく! (野上 京子氏) ③人生は二度三度 (蛭田 勝廣氏) ④ボランティアの魅力 (中村 静江氏) ⑤地域で100人の仲間づくり (黒川 昭夫氏) 【第2部】交流会	新町交流センター	50人										

実績報告

④「みんなの遊・友ランド」を通して障害児支援関係者との連携づくり

開催日	内容	場所	参加者
6/5	事前研修会（知的障害児・発達障害児・肢体不自由児の理解と適切な接し方） 講師：七生特別支援学校 八王子東特別支援学校	明星大学	約50人
6/16	みんなの遊・友ランド	日野市市民の森ふれあいホール	584人 (内ボランティア239人)
6/16	ボランティア交流会 みんなの遊・友ランドに関わったボランティア同士の交流会	日野市市民の森ふれあいホール	約50人

⑤日野宿通り周辺『賑わいのあるまちづくり』プロジェクト実行委員会への参加

●キョテン107運営

日野宿通り周辺『賑わいのあるまちづくり』プロジェクト実行委員会が行う地域活性の企画や人と人を繋ぐ役割を持つ地域の拠点として、毎日日替わりで担当者（ボランティア）が運営している。

●チャンネルマーケットの開催

毎月、日野駅前広場で市内の店舗が出店することにより、楽しみながら市内の飲食店の紹介をするイベントを開催

⑥旭が丘小学校学校支援ボランティアとの連携

開催日	内容	場所	参加者
8/23	旭が丘小学校サマースクールでのサバイバルごはん作り	旭が丘小学校	子ども150人 スタッフ40人

⑦ご近所会議

公民館、ひの児童館、日野市ボランティア・センター、日野図書館による連携会議

開催日	内容	場所
4/3	情報共有、ゆるカフェ企画	中央公民館
5/16	情報共有、ゆるカフェ企画	
6/13	情報共有、七夕企画	
7/18	七夕企画のふりかえり	
8/22	情報共有、ゆるカフェ企画	
10/18	情報共有、ハロウィン企画	
11/21	情報共有、ゆるカフェ企画	
12/19	情報共有、ゆるカフェ企画	
1/16	情報共有、ひな祭り企画	
3/12	新型コロナウイルス対策に関する情報共有	

3) 大学との連携強化

①大学生ボランティア活動報告会& イベント2020

被災地と多摩地域の架け橋～想いを行動に。今わたしたちができること～

開催日	内容	参加者
2/10-15	2/10-15 被災地での活動パネル展示 2/15 ・トークセッション 「想いを行動に。今わたしたちができること」 第1部 被災地と学生団体の今 第2部 想いを未来へ ・被災地物産展 ・防災を学ぶ(防災人間すごろく、防災百人一首、イザ! カエルキャラバン!、アロマキャンドル作り、台風1 9号を語ろう!、大学生による歌と演奏) 主催 多摩地区の大学と地域によるネットワーク (ボラネット多摩) 協力 中央大学、明星大学、実践女子大学、首都大学東 京、法政大学、イオンモール多摩平の森、日野市、日野 市社会福祉協議会	730人 (来場者 650人 大学生 80人)

②多摩地区の大学と地域によるネットワーク (ボラネット多摩)

開催日	内容	参加者
10/8	大学生のボランティア活動発表と パネル展示について	実践女子大学、明星大学 中央大学、首都大学東京 法政大学、地域協働課 日野市ボランティア・センター
11/19		
12/2		
12/13		
1/10		
2/11		

③首都大学東京ボランティアセンタースポーツボランティア事前学習

開催日	内容	参加者
7/13	みんなといっしょの運動会の目的や概要など	38人

4) NPO法人フードバンクTAMA シンポジウムの実施

開催日	内容	場所	参加者
5/18	ひとり親家庭の貧困そこで暮らす子 どもたち・・・ 基調講演 山内深紗子 氏 (朝日新聞社文化くら し報道部記者) 報告 篠原輝美 氏 (立川市ひとり親家庭福 祉会立川みらい会長)	イオンホール	約70人

実績報告

事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の有無に関わらず子どもたちが風船遊びを楽しむ「みんなの遊・友ランド」は、中学生や大学生を中心としたボランティア同士の交流の場にもなっている。 ・ご近所会議では、情報交換と公民館の活用方法について話し合うことにより、隣接する施設同士の情報交換と共有の場となった。 ・大学生ボランティア活動報告会&イベント2020では、「想いを行動に。今わたしたちができること」をテーマに、被災地や多摩地域においてボランティア活動を行ってきた学生たちが、自分たちの活動を振り返る場を設けた。また、防災ゲームのコーナーは親子連れを中心に非常に賑わい、多くの市民に防災について考えてもらうきっかけとなった。 ・協定締結後にNPO法人フードバンクTAMAと共に子どもの貧困に関するシンポジウムを開催している。参加者に、家庭内で起きている実際の話当事者から聞いてもらうことにより、子どもの貧困の切実な課題についての考えてもらう機会となった。 						
事業内容	3. ボランティア情報の発信						
実績報告	<p>1) 情報紙「ボランティア①インフォメーション」の発行</p> <p>発行日：毎月5日 発行数：各月4000部 掲載内容：①ボランティア募集情報 ②市内のイベント・講座情報 ③市民活動団体の紹介 ④助成金情報 等 配布先：ボランティア登録者、市役所、図書館、郵便局、福祉施設、飲食店、スーパー 等 配布方法：配布ボランティアによる戸別配布、郵送、交換便</p> <p>2) フェイスブックの運営 イベント開催時等に随時更新</p> <p>3) 配布ボランティア感謝の集い 配布ボランティアに一年間のお礼を兼ねた交流会を開催した。</p> <table border="1" data-bbox="488 1332 1246 1424"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11/29</td> <td>中央福祉センター 集会室3</td> <td>13人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	場所	参加者	11/29	中央福祉センター 集会室3	13人
開催日	場所	参加者					
11/29	中央福祉センター 集会室3	13人					
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア①インフォメーションは、より多くの人に関心を持てる内容と市民活動団体や福祉関係者との連携強化を目的に毎月各団体に取材を実施し掲載を行っている。近年は図書館やスーパーへの配架が功を奏し、新規読者を多く獲得している。 ・フェイスブックの運営は、イベント告知や報告を行うと共により新鮮な情報を素早く行えるよう実施した。 						

事業内容	4. 福祉体験講座																																																																																																									
実績報告	1) 福祉体験講座 体験や当事者の講演を通して、福祉や障害のある方について学ぶ機会を提供することを目的に、福祉施設職員、地域ボランティアと共に講座を実施。																																																																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="411 302 544 336">開催日</th> <th data-bbox="544 302 815 336">内容</th> <th data-bbox="815 302 1059 336">場所</th> <th data-bbox="1059 302 1270 336">当事者講師</th> <th data-bbox="1270 302 1425 336">対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="411 336 544 495">6/24 6/28 7/5 7/8</td> <td data-bbox="544 336 815 495">当事者による講話&ブラインドウォーク体験</td> <td data-bbox="815 336 1059 495">日野第一中学校</td> <td data-bbox="1059 336 1270 495">山田彰一 氏 菊地美由紀 氏</td> <td data-bbox="1270 336 1425 495">全校生徒 約800人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 495 544 568">9/11</td> <td data-bbox="544 495 815 568">点字体験</td> <td data-bbox="815 495 1059 568">日野第七小学校</td> <td data-bbox="1059 495 1270 568">菊地美由紀 氏</td> <td data-bbox="1270 495 1425 568">4年生 100人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 568 544 642">9/12</td> <td data-bbox="544 568 815 642">高齢者疑似体験</td> <td data-bbox="815 568 1059 642">日野第五小学校</td> <td data-bbox="1059 568 1270 642">なし</td> <td data-bbox="1270 568 1425 642">4年生 119人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 642 544 716">9/19</td> <td data-bbox="544 642 815 716">車いす体験</td> <td data-bbox="815 642 1059 716">日野第五小学校</td> <td data-bbox="1059 642 1270 716">山田彰一 氏</td> <td data-bbox="1270 642 1425 716">4年生 119人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 716 544 790">9/30</td> <td data-bbox="544 716 815 790">車いす・ブラインドウォーク体験</td> <td data-bbox="815 716 1059 790">日野第三中学校</td> <td data-bbox="1059 716 1270 790">宮野谷義傑 氏 河野泰弘 氏</td> <td data-bbox="1270 716 1425 790">1年生 63人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 790 544 864">10/7</td> <td data-bbox="544 790 815 864">車いす・ブラインドウォーク体験</td> <td data-bbox="815 790 1059 864">日野第七小学校</td> <td data-bbox="1059 790 1270 864">宮野谷義傑 氏 河野泰弘 氏</td> <td data-bbox="1270 790 1425 864">4年生 120人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 864 544 938">10/9</td> <td data-bbox="544 864 815 938">車いす体験</td> <td data-bbox="815 864 1059 938">日野第八小学校</td> <td data-bbox="1059 864 1270 938">なし</td> <td data-bbox="1270 864 1425 938">3年生 120人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 938 544 1012">10/17</td> <td data-bbox="544 938 815 1012">車いす・ブラインドウォーク体験</td> <td data-bbox="815 938 1059 1012">旭が丘小学校</td> <td data-bbox="1059 938 1270 1012">山田彰一 氏 田辺邦夫 氏</td> <td data-bbox="1270 938 1425 1012">4年生 90人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 1012 544 1086">10/25</td> <td data-bbox="544 1012 815 1086">車いす・ブラインドウォーク体験</td> <td data-bbox="815 1012 1059 1086">潤徳小学校</td> <td data-bbox="1059 1012 1270 1086">山田彰一 氏 河野泰弘 氏</td> <td data-bbox="1270 1012 1425 1086">4年生 110人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 1086 544 1160">10/29</td> <td data-bbox="544 1086 815 1160">車いす・ブラインドウォーク体験</td> <td data-bbox="815 1086 1059 1160">七生中学校</td> <td data-bbox="1059 1086 1270 1160">宮野谷義傑 氏 河野泰弘 氏</td> <td data-bbox="1270 1086 1425 1160">3年生 153人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 1160 544 1234">11/1</td> <td data-bbox="544 1160 815 1234">車いす・ブラインドウォーク体験</td> <td data-bbox="815 1160 1059 1234">日野第一小学校</td> <td data-bbox="1059 1160 1270 1234">山田彰一 氏 河野泰弘 氏</td> <td data-bbox="1270 1160 1425 1234">4年生 70人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 1234 544 1308">11/7</td> <td data-bbox="544 1234 815 1308">ブラインドウォーク体験</td> <td data-bbox="815 1234 1059 1308">日野第五小学校</td> <td data-bbox="1059 1234 1270 1308">菊地美由紀 氏</td> <td data-bbox="1270 1234 1425 1308">4年生 119人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 1308 544 1382">11/7</td> <td data-bbox="544 1308 815 1382">当事者による講話</td> <td data-bbox="815 1308 1059 1382">日野第八小学校</td> <td data-bbox="1059 1308 1270 1382">宮野谷義傑 氏 堀場照美 氏 河野泰弘 氏</td> <td data-bbox="1270 1308 1425 1382">3年生 120人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 1382 544 1456">11/11</td> <td data-bbox="544 1382 815 1456">高齢者疑似体験</td> <td data-bbox="815 1382 1059 1456">日野第七小学校</td> <td data-bbox="1059 1382 1270 1456">なし</td> <td data-bbox="1270 1382 1425 1456">4年生 100人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 1456 544 1529">11/22</td> <td data-bbox="544 1456 815 1529">車いす体験</td> <td data-bbox="815 1456 1059 1529">日野第四小学校</td> <td data-bbox="1059 1456 1270 1529">宮野谷義傑 氏</td> <td data-bbox="1270 1456 1425 1529">6年生 118人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 1529 544 1603">11/26</td> <td data-bbox="544 1529 815 1603">車いす体験</td> <td data-bbox="815 1529 1059 1603">滝合小学校</td> <td data-bbox="1059 1529 1270 1603">宮野谷義傑 氏</td> <td data-bbox="1270 1529 1425 1603">4年生 74人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 1603 544 1677">12/2</td> <td data-bbox="544 1603 815 1677">車いす・ブラインドウォーク体験</td> <td data-bbox="815 1603 1059 1677">東光寺小学校</td> <td data-bbox="1059 1603 1270 1677">宮野谷義傑 氏 河野泰弘 氏</td> <td data-bbox="1270 1603 1425 1677">4年生 83人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 1677 544 1751">12/5</td> <td data-bbox="544 1677 815 1751">当事者による講話</td> <td data-bbox="815 1677 1059 1751">日 第八小学校</td> <td data-bbox="1059 1677 1270 1751">宮野谷義傑 氏 堀場照美 氏 河野泰弘 氏</td> <td data-bbox="1270 1677 1425 1751">3年生 120人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 1751 544 1825">1/22</td> <td data-bbox="544 1751 815 1825">車いす体験</td> <td data-bbox="815 1751 1059 1825">南平小学校</td> <td data-bbox="1059 1751 1270 1825">杉浦 貢 氏</td> <td data-bbox="1270 1751 1425 1825">6年生 87人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="411 1825 544 1899">2/5</td> <td data-bbox="544 1825 815 1899">ブラインドウォーク体験</td> <td data-bbox="815 1825 1059 1899">南平小学校</td> <td data-bbox="1059 1825 1270 1899">菊地美由紀 氏</td> <td data-bbox="1270 1825 1425 1899">5年生 85人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	場所	当事者講師	対象者	6/24 6/28 7/5 7/8	当事者による講話&ブラインドウォーク体験	日野第一中学校	山田彰一 氏 菊地美由紀 氏	全校生徒 約800人	9/11	点字体験	日野第七小学校	菊地美由紀 氏	4年生 100人	9/12	高齢者疑似体験	日野第五小学校	なし	4年生 119人	9/19	車いす体験	日野第五小学校	山田彰一 氏	4年生 119人	9/30	車いす・ブラインドウォーク体験	日野第三中学校	宮野谷義傑 氏 河野泰弘 氏	1年生 63人	10/7	車いす・ブラインドウォーク体験	日野第七小学校	宮野谷義傑 氏 河野泰弘 氏	4年生 120人	10/9	車いす体験	日野第八小学校	なし	3年生 120人	10/17	車いす・ブラインドウォーク体験	旭が丘小学校	山田彰一 氏 田辺邦夫 氏	4年生 90人	10/25	車いす・ブラインドウォーク体験	潤徳小学校	山田彰一 氏 河野泰弘 氏	4年生 110人	10/29	車いす・ブラインドウォーク体験	七生中学校	宮野谷義傑 氏 河野泰弘 氏	3年生 153人	11/1	車いす・ブラインドウォーク体験	日野第一小学校	山田彰一 氏 河野泰弘 氏	4年生 70人	11/7	ブラインドウォーク体験	日野第五小学校	菊地美由紀 氏	4年生 119人	11/7	当事者による講話	日野第八小学校	宮野谷義傑 氏 堀場照美 氏 河野泰弘 氏	3年生 120人	11/11	高齢者疑似体験	日野第七小学校	なし	4年生 100人	11/22	車いす体験	日野第四小学校	宮野谷義傑 氏	6年生 118人	11/26	車いす体験	滝合小学校	宮野谷義傑 氏	4年生 74人	12/2	車いす・ブラインドウォーク体験	東光寺小学校	宮野谷義傑 氏 河野泰弘 氏	4年生 83人	12/5	当事者による講話	日 第八小学校	宮野谷義傑 氏 堀場照美 氏 河野泰弘 氏	3年生 120人	1/22	車いす体験	南平小学校	杉浦 貢 氏	6年生 87人	2/5	ブラインドウォーク体験	南平小学校	菊地美由紀 氏	5年生 85人
	開催日	内容	場所	当事者講師	対象者																																																																																																					
	6/24 6/28 7/5 7/8	当事者による講話&ブラインドウォーク体験	日野第一中学校	山田彰一 氏 菊地美由紀 氏	全校生徒 約800人																																																																																																					
	9/11	点字体験	日野第七小学校	菊地美由紀 氏	4年生 100人																																																																																																					
	9/12	高齢者疑似体験	日野第五小学校	なし	4年生 119人																																																																																																					
	9/19	車いす体験	日野第五小学校	山田彰一 氏	4年生 119人																																																																																																					
	9/30	車いす・ブラインドウォーク体験	日野第三中学校	宮野谷義傑 氏 河野泰弘 氏	1年生 63人																																																																																																					
	10/7	車いす・ブラインドウォーク体験	日野第七小学校	宮野谷義傑 氏 河野泰弘 氏	4年生 120人																																																																																																					
	10/9	車いす体験	日野第八小学校	なし	3年生 120人																																																																																																					
	10/17	車いす・ブラインドウォーク体験	旭が丘小学校	山田彰一 氏 田辺邦夫 氏	4年生 90人																																																																																																					
	10/25	車いす・ブラインドウォーク体験	潤徳小学校	山田彰一 氏 河野泰弘 氏	4年生 110人																																																																																																					
	10/29	車いす・ブラインドウォーク体験	七生中学校	宮野谷義傑 氏 河野泰弘 氏	3年生 153人																																																																																																					
	11/1	車いす・ブラインドウォーク体験	日野第一小学校	山田彰一 氏 河野泰弘 氏	4年生 70人																																																																																																					
	11/7	ブラインドウォーク体験	日野第五小学校	菊地美由紀 氏	4年生 119人																																																																																																					
	11/7	当事者による講話	日野第八小学校	宮野谷義傑 氏 堀場照美 氏 河野泰弘 氏	3年生 120人																																																																																																					
	11/11	高齢者疑似体験	日野第七小学校	なし	4年生 100人																																																																																																					
	11/22	車いす体験	日野第四小学校	宮野谷義傑 氏	6年生 118人																																																																																																					
	11/26	車いす体験	滝合小学校	宮野谷義傑 氏	4年生 74人																																																																																																					
	12/2	車いす・ブラインドウォーク体験	東光寺小学校	宮野谷義傑 氏 河野泰弘 氏	4年生 83人																																																																																																					
12/5	当事者による講話	日 第八小学校	宮野谷義傑 氏 堀場照美 氏 河野泰弘 氏	3年生 120人																																																																																																						
1/22	車いす体験	南平小学校	杉浦 貢 氏	6年生 87人																																																																																																						
2/5	ブラインドウォーク体験	南平小学校	菊地美由紀 氏	5年生 85人																																																																																																						

2) 出前講座等

①明星大学第6回ぼらチャレンジ審査員

明星大学の学生が自らも成長し社会貢献活動にもつなげるボランティア活動の企画、アイデアを募集し、助成するための審査を行った。

開催日	場所	参加団体
6/25	明星大学	12団体

②立教大学ゲストスピーカー

立教大学コミュニティ福祉学部の学生を対象に講演会を行った。

開催日	内容	対象者
12/16	ボランティア論 「ボランティアの基礎知識とボランティアセンターの役割」 講師 堤 彩	1年生～ 4年生 約150人

③大坂上中学校

道徳と総合での講演会（新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため延期）

開催日	内容	対象者
3/5	社会福祉協議会の仕事について 講師 宮崎 雅也	3年生 150人

事業効果・評価
方向性等

・今年度は福祉体験講座の依頼が増加した。その理由として、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて障害者理解を深める機運が高まっていることが推測される。また、当事者講師は肢体不自由当事者の杉浦貢氏に新たにご協力いただき、より幅広い内容の体験談の提供が可能となった。

事業内容	5. ボランティア講座		
実績報告	<p>1) 日野傾聴ボランティア「りっすん」の活動支援 傾聴ボランティア養成講座の受講者を対象に傾聴ボランティア同士の横の連携や、多面的な活動を展開していくことを目指し支援を行った。</p> <p>①情報交換会 5回開催(奇数月第3木曜日) 傾聴活動の情報交換を目的に、情報交換会を実施。</p>		
	開催日	内容	
	5/16	勉強会「ボランティアで豊かな生活を送ること」 講師：認定NPO法人 福祉カフェテリア 理事長 林 幹高 氏	
	7/18	勉強会「成年後見制度の理解」 講師：NPO法人 成年後見サポートひの	
	9/19	勉強会「大人の発達障害の理解」 講師：滝口 仁 氏 (大人の発達障害当事者会代表)	
	11/21	情報交換および傾聴ボランティア入門講座への意見出し	
	1/16	勉強会「認知症の人の理解」の復習 講師：介護老人保健施設ロベリア 看護長 宮本芳恵 氏	
	3/20	傾聴ボランティア交流会 ※新型コロナウイルス感染症の影響で中止	
	<p>②傾聴ボランティア入門講座 「聴くこと(傾聴)」の意味、大切さを理解し、実践していくためのボランティア講座を開催した。 ※2/28の施設見学会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。</p>		
	開催日	内容	参加者
1/31	<ul style="list-style-type: none"> 傾聴の基本 これからの活動に際して心がけたい事 講師 NPO法人P.L.A専任講師 荒木美都子 氏、松尾隆義 氏	36人	
2/7, 14	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の理解 認知症の理解と適切な関わり方 講師 介護老人保健施設ロベリア 看護長 宮本芳恵 氏		
2/21	<ul style="list-style-type: none"> うつ病の理解と適切な関わり方 講師 多摩総合精神保健福祉センター 精神科医 竹内真弓 氏		
2/28	施設見学会(中止)		
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 傾聴ボランティアは少人数で活動することが多いため、養成講座後の学びの機会の提供と、ボランティア同士の交流を兼ねて情報交換会を開催している。各回10~20人の参加があり、定期的なフォローアップの場の重要性を実感している。 今年度の傾聴ボランティア入門講座は、例年を大きく上回る参加者が集まった。お正月に合わせた市報への掲載とスーパーへの広報紙の配架が市民の目に留まったものと思われる。講義はいずれも好評だったものの、最終回の施設見学会が中止となってしまった。傾聴活動への興味を維持できるよう、状況が落ち着き次第しっかりとフォローを行いたい。 		

事業内容	6. 夏の体験ボランティア																																											
実績報告	<p>1) 夏の体験ボランティア2019 小学生以上の学生及び一般の方を対象とした、夏休み期間中のボランティア体験学習を実施。市内の福祉施設等78団体にご協力いただいた。</p> <p>①実績</p> <table border="1" data-bbox="450 353 1238 497"> <thead> <tr> <th></th> <th>期間</th> <th>活動先</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1年度</td> <td>7/20-8/31</td> <td>78施設・団体</td> <td>517人</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>7/20-8/31</td> <td>78施設・団体</td> <td>500人</td> </tr> </tbody> </table> <p>②説明会</p> <table border="1" data-bbox="450 560 1420 689"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>施設</th> <th>参加者</th> <th>ボランティア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7/6</td> <td>日野第一中学校 食堂</td> <td>62団体</td> <td>166人</td> <td>15人</td> </tr> </tbody> </table> <p>③日野市ボランティア・センター企画プログラム</p> <table border="1" data-bbox="450 752 1235 1084"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8/2, 5, 7</td> <td>子どもマジック☆ボランティア 講師 日野マジッククラブ</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>7/27, 28</td> <td>ナバホ織をつくってみよう 講師 ハンドメイドラバーズ</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>8/10</td> <td>アイヌの文化を学ぼう 講師 ハンドメイドラバーズ</td> <td>13人</td> </tr> </tbody> </table> <p>④各学校における夏ボラ説明会</p> <table border="1" data-bbox="450 1146 1420 1285"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/11</td> <td>実践女子大学 生活文化学科 保育・心理専攻</td> <td>約 180人</td> </tr> <tr> <td>6/14</td> <td>八王子東高等学校</td> <td>約 90人</td> </tr> </tbody> </table>		期間	活動先	参加者	R1年度	7/20-8/31	78施設・団体	517人	30年度	7/20-8/31	78施設・団体	500人	開催日	場所	施設	参加者	ボランティア	7/6	日野第一中学校 食堂	62団体	166人	15人	開催日	内容	参加者	8/2, 5, 7	子どもマジック☆ボランティア 講師 日野マジッククラブ	5人	7/27, 28	ナバホ織をつくってみよう 講師 ハンドメイドラバーズ	17人	8/10	アイヌの文化を学ぼう 講師 ハンドメイドラバーズ	13人	開催日	場所	参加者	6/11	実践女子大学 生活文化学科 保育・心理専攻	約 180人	6/14	八王子東高等学校	約 90人
	期間	活動先	参加者																																									
R1年度	7/20-8/31	78施設・団体	517人																																									
30年度	7/20-8/31	78施設・団体	500人																																									
開催日	場所	施設	参加者	ボランティア																																								
7/6	日野第一中学校 食堂	62団体	166人	15人																																								
開催日	内容	参加者																																										
8/2, 5, 7	子どもマジック☆ボランティア 講師 日野マジッククラブ	5人																																										
7/27, 28	ナバホ織をつくってみよう 講師 ハンドメイドラバーズ	17人																																										
8/10	アイヌの文化を学ぼう 講師 ハンドメイドラバーズ	13人																																										
開催日	場所	参加者																																										
6/11	実践女子大学 生活文化学科 保育・心理専攻	約 180人																																										
6/14	八王子東高等学校	約 90人																																										
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 夏の体験ボランティアの参加者は年々増加している（2015年 217人→2016年 353人→2017年 439人→2018年 500人→2019年 517人）。都立高校や大学等授業の一環で参加する学校の増加や、毎年参加するリピーターの存在、小中学生の保護者間の口コミが参加者増加につながっていると推測される。 今年度も学校の授業の一環で、八王子東高校・実践女子大学から多くの参加があった。昨年度はボランティアのマナーが課題となっていたが、オリエンテーション時にルールを詳しく説明することでマナー意識がやや向上したように感じられた。本イベントは学生にとっては社会を知り将来の進路を考える機会、受け入れ施設にとっても利用者への良い刺激や職員の意識向上につながっている。 																																											

事業内容	7. まちづくり人プロジェクト委員会													
実績報告	<p>ボランティア・市民活動を推進する事により、市民の一人ひとりが、くらしや生活の課題を自分事として考え行動し、共に豊かな地域社会を築くことを目的とした委員会。(平成30年度設立)</p> <p>1) 会議</p> <table border="1" data-bbox="451 338 1461 969"> <thead> <tr> <th data-bbox="451 338 550 383">日程</th> <th data-bbox="550 338 1461 383">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="451 383 550 510">4/25</td> <td data-bbox="550 383 1461 510">活動方針「多様性を力にする地域づくり」(案) 活動計画「多様性の対話・理解・つながりを生む事業の実施」(案) 次年度の活動内容について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="451 510 550 638">6/6</td> <td data-bbox="550 510 1461 638">委員長について 多様性のあるメンバーを知る 事業内容について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="451 638 550 766">7/16</td> <td data-bbox="550 638 1461 766">委員長の選出と採択 多様性のあるメンバーを知る まちづくり人プロジェクト企画について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="451 766 550 893">9/3</td> <td data-bbox="550 766 1461 893">多様性のあるメンバーを知る まちづくり人プロジェクトの今後について 情報交換、その他</td> </tr> <tr> <td data-bbox="451 893 550 969">2/14</td> <td data-bbox="550 893 1461 969">「多様性の対話・理解・つながりを生む」事業のアイデア出し 次年度に向けた具体的な内容について</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 委員の構成 委員長 惟住浩太郎 氏 (日野掃除に学ぶ会世話人) 副委員長 栗澤稚富美 氏 (日野社会教育センター) 他 15人</p>		日程	内容	4/25	活動方針「多様性を力にする地域づくり」(案) 活動計画「多様性の対話・理解・つながりを生む事業の実施」(案) 次年度の活動内容について	6/6	委員長について 多様性のあるメンバーを知る 事業内容について	7/16	委員長の選出と採択 多様性のあるメンバーを知る まちづくり人プロジェクト企画について	9/3	多様性のあるメンバーを知る まちづくり人プロジェクトの今後について 情報交換、その他	2/14	「多様性の対話・理解・つながりを生む」事業のアイデア出し 次年度に向けた具体的な内容について
日程	内容													
4/25	活動方針「多様性を力にする地域づくり」(案) 活動計画「多様性の対話・理解・つながりを生む事業の実施」(案) 次年度の活動内容について													
6/6	委員長について 多様性のあるメンバーを知る 事業内容について													
7/16	委員長の選出と採択 多様性のあるメンバーを知る まちづくり人プロジェクト企画について													
9/3	多様性のあるメンバーを知る まちづくり人プロジェクトの今後について 情報交換、その他													
2/14	「多様性の対話・理解・つながりを生む」事業のアイデア出し 次年度に向けた具体的な内容について													
事業効果・評価 方向性等	<p>・令和元年度の委員会では、活動方針「多様性を力にする地域づくり」・活動計画「多様性の対話・理解・つながりを生む事業の実施」として、具体的な活動内容について話し合った。現時点では、多様性についての共通認識を持つための勉強会や、委員の活動等を深く知るための交流の機会を作っていくことで進んでいる。</p>													
事業内容	8. その他													
実績報告	<p>1) 誰でもすぐに参加できるボランティア活動 (すぐボラ)</p> <p>①使用済み切手・プリペイドカード、ペットボトルキャップの収集 協力件数 延べ 342 件</p> <p>②軽作業ボランティア うつ病で休職中の方や不登校・引きこもりのお子さん等何らかの課題を抱えた方が安心して活動出来るよう、本人に配慮したプログラムを提案し、ボランティア・センター内での活動を行った。</p> <p>2) 三菱UFJ銀行C. C. P研修 三菱UFJ銀行新入社員を対象に、地域社会の中でボランティア活動を体験することで、社会の一員として人や社会に自分ができることを積極的に提供していく姿勢を身につけてもらうための研修を、市内福祉施設等の協力を得て行った。</p> <table border="1" data-bbox="451 2007 1461 2092"> <thead> <tr> <th data-bbox="451 2007 584 2051">日程</th> <th data-bbox="584 2007 1062 2051">内容</th> <th data-bbox="1062 2007 1461 2051">場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="451 2051 584 2092">5/9</td> <td data-bbox="584 2051 1062 2092">ボランティア体験研修①</td> <td data-bbox="1062 2051 1461 2092">対象施設</td> </tr> </tbody> </table>		日程	内容	場所	5/9	ボランティア体験研修①	対象施設						
日程	内容	場所												
5/9	ボランティア体験研修①	対象施設												

	5/13	振り返りと準備	三菱UFJ銀行研修会場																		
	5/16	ボランティア体験研修②(中止)	対象施設																		
	5/17	振り返り(中止)	三菱UFJ銀行研修会場																		
	<p>対象施設 つくしんぼ保育園、万願寺保育園、すずかけの家、東京光の家、里山耕房くらすわ、マザアス、浅川苑、工房夢ふうせん、にんじんホーム・万願寺</p> <p>※「ボランティア体験研修②(5/16)」「振り返り(5/17)」は研修所内で感染症(インフルエンザ・溶連菌・水疱瘡)が発生したため中止となった。</p> <p>3) ボランティア保険取扱事業</p> <p>①東京都社会福祉協議会「ボランティア保険」加入取扱</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">団体</th> <th>個人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RI年度</td> <td>431件</td> <td>3,223人</td> <td>577人</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>382件</td> <td>3,536人</td> <td>571人</td> </tr> </tbody> </table> <p>②東京都社会福祉協議会「行事保険」加入取扱</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>RI年度</td> <td>93件</td> <td>5,471人</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>104件</td> <td>4,525人</td> </tr> </tbody> </table> <p>4) 研修会・関係会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり市民フェア2019準備会、実行委員会、実行委員会企画会議 ・みんなの遊友ランド準備会 ・ボラネット多摩会議(大学との連携会議) ・スポーツレクリエーションフェスティバル実行委員会 ・日野宿通り周辺『賑わいのあるまちづくり』プロジェクト ・南多摩ブロックボランティア担当者会議 ・日野市子どもの人権を守る協議会 ・南多摩医療圏災害医療ワーキング会議 ・子ども食堂連絡会 				団体		個人	RI年度	431件	3,223人	577人	30年度	382件	3,536人	571人	RI年度	93件	5,471人	30年度	104件	4,525人
	団体		個人																		
RI年度	431件	3,223人	577人																		
30年度	382件	3,536人	571人																		
RI年度	93件	5,471人																			
30年度	104件	4,525人																			
事業効果・評価 方向性等	<p>・今年度の三菱UFJ銀行C.C.P研修は、研修生内で感染症(インフルエンザ等)の罹患者が出たため後半の研修が中止になった。本研修は、新人職員のコミュニケーション力を鍛えるだけでなく、受入側の施設にとっても、利用者とは者との交流の機会や、施設職員の意識や意欲の向上の機会となっている。</p>																				

事業名	防災・減災をテーマにした地域づくり
事業形態	独自事業・受託事業(日野市)
財源内訳	会費、寄附金、歳末たすけあい配分金、受託金
担当係	ボランティア係
地域福祉活動計画 における視点	ともにつくる
目的	「災害に強いまち＝地域のつながりが強いまち」をテーマに市民と関係機関と共に防災・減災活動に取り組むことを目的とする。

事業内容	1. みんなでつくる日野の防災プロジェクトの運営			
実績報告	<p>災害に強い地域づくりのために必要なネットワークを形成することを目的に設置。災害ボランティアセンター運営訓練、防災(減災)学習プログラムの実施、ネットワークの構築を目標に、委員会形式でプロジェクトを推進。</p> <p>平成23年3月11日に発災した東日本大震災の翌年、平成24年度に災害ボランティアセンターの運営体制確立のため「みんなでつくる災害ボランティア・センタープロジェクト委員会」を発足した。平成26年度からは、より広い視点での防災減災活動を目指すため、「みんなでつくる日野の防災プロジェクト」と名称を変え、市民全体への防災減災活動の啓発に関して議論と市内自主防災組織へのヒアリング調査等を行い現在に至る。</p>			
	1) 運営会議			
	開催日	内容		
	5/9	報告と計画について		
	10/30	台風19号の被害と各所での対応について 災害ボランティアセンター立上げ訓練について		
2) 災害時要配慮者への対策について	<p>平成28年に障害のある当事者や家族、支援者等から大規模災害時に関するヒアリング調査を行い、災害の備え対しての不安の声が多く寄せられた。</p> <p>そこで、ワーキンググループを構成し、知的障害の当事者や家族が、自らの備えや避難所運営者に本人の状態を伝える「災害時情報共有シート」を作成し、平成30年度から防災減災セミナーを実施している。</p>			
開催日	内容	場所	参加者	
1/30	防災減災セミナー「備える防災！災害時情報共有シートをつくろう！」	八王子東特別支援学校PTA	22人	
3) 災害ボランティアセンター立上げ訓練				
<p>大規模災害時に立ち上げ・運営を行う災害ボランティアセンターの訓練を行った。日野市との協定に基づき、実際に設置するひの煉瓦ホールで実施した。</p>				
開催日	内容	参加者		
12/13	災害ボランティアセンター立ち上げ訓練	50人		
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなでつくる日野の防災プロジェクト」は、地域の災害課題を調査し、その調査に基づき事業の創出を行っている。 ・今年度は台風19号の発災があり、各地で避難所運営や避難行動要支援者支援等が市民や関係者で実践した。委員会では各所事例をまとめることを決めるも、新型コロナウイルス感染症の影響により集計が遅れているため、終息後に再開することになった。 ・今年度の災害時情報共有シートを作成は、八王子東特別支援学校PTAで実施した。 ・災害ボランティアセンター立上げ訓練に日野市内社会福祉法人ネットワークに参加を呼びかけたところ多くの参加者があった。福祉関係機関と地域の様々な関係者と共に開催することが出来た。 			

事業内容	2. 日野市民でつくる防災・減災シンポジウム	
実績報告	<p>市内の自主防災組織に呼びかけ、自主防災組織の有志で実行委員会をつくり、地域で活動する中での課題をもとにシンポジウムを行った。</p> <p>1) 意見交換会 (5/13) 課題出しワーク</p> <p>2) 実行委員会 8回 (5/20, 6/3, 6/10, 6/24, 7/8, 7/22, 8/5, 8/26)</p> <p>3) 令和元年度日野市民でつくる防災・減災シンポジウム実行委員 34人</p> <p>4) 当日 日 時 8/10 (土) 13:00～17:00 会 場 実践女子大学 本館4階441教室 主 催 日野市民でつくる防災・減災シンポジウム実行委員会 共 催 日野市、みんなでつくる日野の防災プロジェクト 日野市内社会福祉法人ネットワーク 日野市社会福祉協議会、日野市ボランティア・センター 協 力 日野市障害者関係団体連絡協議会、日野市教育委員会 実践女子大学 参加者 147人</p>	
	第1部	<p>基調講演 「被災者から学ぶ！災害対応の実践」 講師：山田修生 氏 (宮城県防災指導員、仙台市地域防災リーダー (SBL) 総合防災アドバイザー、東北防災安全研究所代表、防災士)</p>
	第2部	<p>分科会 第1分科会 「どうなる避難所生活 ～ゲームで考える避難所運営～」 事例発表者：小笠原繁 氏 (「ぷらっと南平」南平地区社会福祉協議会) 事例発表者：江上富三 氏 (三小避難所運営委員会事務局、緑ヶ丘自主防災会会長) 事例発表者：笠原浩昭 氏 (社会福祉法人夢ふうせん工房夢ふうせん副施設長) アドバイザー：山田修生 氏 (基調講演講師)</p> <p>第2分科会 「72時間サバイバル！～共に生き抜くために～」 講 師：あんどうりす 氏 (アウトドア防災ガイド) 事例発表者：鈴木直美 氏 (万願荘自治会防災防犯会)</p> <p>第3分科会 「発災時 ともに逃げよう！～助けが必要な人と～」 報告者：酒井昭子 氏 (実行委員) 報告者：熊澤 修 氏 (日野市障害福祉課課長)</p> <p>第4分科会 「予測できる災害「水害」～なぜ逃げ遅れるのか～」 報告者：遠藤 登 氏 (豊田在住者) 講 師：須賀英雄 氏 (常総市防災士連絡協議会事務局長)</p>

<p>事業効果・評価 方向性等</p>	<p>・これまでの実行委員の意見から委員会開催の回数を増やし、企画や運営について話し合った。実行委員会に参加する市民の意識は高く、シンポジウムの開催後も地域でも繋がりも増え、地域での防災・減災に関する企画等を実施し、防災リーダーとしての役割をこれまで以上に持っている。</p> <p>・今回のシンポジウムでは、日野市防災安全課の協力を得て、東日本大震災で避難所運営等の実践者である山田修生氏を招き基調講演を行った。また、分科会では日野市の水害に対する危機意識の高まりから、茨城県常総市で被災し、その経験からマイタイムラインの開発の第一人者である須賀英雄氏を招き実際に作成をしながら学んだ。このマイタイムラインは、シンポジウム開催後に、ボランティアセンターと地域支援係共同で、地域開催を広めている。</p>																																																
<p>事業内容</p>	<p>3. 地域の防災・減災活動の支援</p>																																																
<p>実績報告</p>	<p>1) 「イザ!カエルキャラバン!」の開催支援 NPO法人プラス・アーツが企画した子どもと一緒に楽しみながら参加できる防災体験プログラム。ワークショップや当日サポートを通して開催する団体を支援することで、地域で暮らす市民同士の連携を深め、震災に強い地域づくりを目指す。</p> <table border="1" data-bbox="472 801 1455 1442"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>主催</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/26</td> <td>七ツ塚自治会</td> <td>約150人</td> </tr> <tr> <td>7/19</td> <td>日野第六小学校PTA</td> <td>約60人</td> </tr> <tr> <td>7/20</td> <td>泉塚自治会 (機材貸出のみ)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>7/27</td> <td>日野第一小学校 ダンディーkai</td> <td>約80人</td> </tr> <tr> <td>7/26</td> <td>七生中学校防災CAMP実行委員会</td> <td>約80人</td> </tr> <tr> <td>9/2</td> <td>つくしんぼ保育園</td> <td>約50人</td> </tr> <tr> <td>9/10</td> <td>立川市 高松学習館</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>10/5</td> <td>日野市総合防災訓練</td> <td>約50人</td> </tr> <tr> <td>10/19</td> <td>滝合小学校地域防災会・滝合小学校</td> <td>全校生徒 +自治会 等約100人</td> </tr> <tr> <td>10/22</td> <td>四中居場所プロジェクト・地域協働課</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>11/16</td> <td>三中居場所プロジェクト・地域協働課</td> <td>約50人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 都立南平高校「奉仕」HUG体験と防災に関する事業の支援 都立南平高校1年生を対象とした「人間と社会」の授業においてHUG (避難所運営ゲーム) を各クラスで実施するにあたり、防災減災活動に取り組む大学生と共に支援を行った。 また、防災の授業として講演を企画していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となった。</p> <table border="1" data-bbox="453 1711 1442 2096"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/21</td> <td>講演「被災者の声」 講師：秋山弘樹氏 (IVUSA) 生徒向け事前レクチャー</td> <td rowspan="4">1年生 320人</td> </tr> <tr> <td>7/4</td> <td>HUGの実施支援 (1回目) 協力：中央大学チーム防災</td> </tr> <tr> <td>12/24</td> <td>HUGの実施支援 (2回目) 協力：中央大学チーム防災</td> </tr> <tr> <td>3/23</td> <td>講演「台風19号の時の対応について」</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	主催	参加者	5/26	七ツ塚自治会	約150人	7/19	日野第六小学校PTA	約60人	7/20	泉塚自治会 (機材貸出のみ)	—	7/27	日野第一小学校 ダンディーkai	約80人	7/26	七生中学校防災CAMP実行委員会	約80人	9/2	つくしんぼ保育園	約50人	9/10	立川市 高松学習館	24人	10/5	日野市総合防災訓練	約50人	10/19	滝合小学校地域防災会・滝合小学校	全校生徒 +自治会 等約100人	10/22	四中居場所プロジェクト・地域協働課	20人	11/16	三中居場所プロジェクト・地域協働課	約50人	開催日	内容	対象者	6/21	講演「被災者の声」 講師：秋山弘樹氏 (IVUSA) 生徒向け事前レクチャー	1年生 320人	7/4	HUGの実施支援 (1回目) 協力：中央大学チーム防災	12/24	HUGの実施支援 (2回目) 協力：中央大学チーム防災	3/23	講演「台風19号の時の対応について」
開催日	主催	参加者																																															
5/26	七ツ塚自治会	約150人																																															
7/19	日野第六小学校PTA	約60人																																															
7/20	泉塚自治会 (機材貸出のみ)	—																																															
7/27	日野第一小学校 ダンディーkai	約80人																																															
7/26	七生中学校防災CAMP実行委員会	約80人																																															
9/2	つくしんぼ保育園	約50人																																															
9/10	立川市 高松学習館	24人																																															
10/5	日野市総合防災訓練	約50人																																															
10/19	滝合小学校地域防災会・滝合小学校	全校生徒 +自治会 等約100人																																															
10/22	四中居場所プロジェクト・地域協働課	20人																																															
11/16	三中居場所プロジェクト・地域協働課	約50人																																															
開催日	内容	対象者																																															
6/21	講演「被災者の声」 講師：秋山弘樹氏 (IVUSA) 生徒向け事前レクチャー	1年生 320人																																															
7/4	HUGの実施支援 (1回目) 協力：中央大学チーム防災																																																
12/24	HUGの実施支援 (2回目) 協力：中央大学チーム防災																																																
3/23	講演「台風19号の時の対応について」																																																

講師：宮崎雅也（日野市社会福祉協議会）
 ※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止

3) 地域の防災減災に取り組む団体への防災プログラムの実施・発表
 地域防災減災をキーワードに地域の課題を顕在化し、日頃の地域福祉活動を考える機会とした。

①地域での避難所運営ゲーム（HUG）と災害図上訓練（DIG）実施

開催日	対象者	内容	参加者
5/16	七小防災会	HUG	12人
5/31	多摩川苑地域ケア会議	DIG	40人
9/6	男女平等課 女性防災リーダー研修	HUG	18人
12/13	シルバー人材センター 南平3班	DIG マイタイムライン	22人
1/27	平山地区ケアマネ研修会	DIG マイタイムライン	20人
2/2	豊田第一自主防災隊	HUG	38人
2/9	三中地区青少年育成会	DIG	30人
2/15	日野市中央公民館	マイタイムライン	30人
2/28	日野第三小学校5年生	DIG	中止
2/29	日野市中央公民館	DIG	中止
3/4	日野第三小学校5年生	HUG	中止
3/7	ゆぎわここからネット	HUG	中止
3/14	日野市中央公民館	マイタイムライン	中止
3/23	せせらぎ地区地域連絡会	DIG	中止

②防災減災活動の実施・発表

開催日	対象者	内容	参加者
5/18	東光寺小学校	避難所運営訓練	150人
7/10	七生中学校	防災CAMP高校生 向け事前説明会	4人
7/16	七生中学校	防災CAMP中学生 向け事前説明会	35人
7/26-27	七生中学校	防災CAMP	35人
8/23	旭が丘小学校 学校支援ボランティア PTA家庭教	防災訓練	約150人
8/24	鹿島台防災会	防災ママカフェ 防災講話	約20人

③東京都・多摩市総合防災訓練「防災まち歩き」企画・運営協力

障害のある方や外国籍の方等「災害時要配慮者」の方々と共に、多摩市内で防災まち歩きを行った。

開催日	対象者	内容	参加者
9/1	南多摩ブロック（日野市・多摩市・八王子市・町田市・稲城市） 在住・在学・在勤者	唐木田駅～多摩センター駅 防災まち歩き	90人

4) 災害医療ボランティア研修～トリアージ編～

主催：南多摩保健医療圏ワーキンググループ

開催日	場所	参加者
6/29	明星大学	44人

5) 関係会議

- ・七生中学校防災宿泊訓練実行委員会
- ・ハ小避難所運営準備会会議
- ・東光寺小学校避難所運営準備会会議
- ・七生緑小学校防災会会議
- ・滝合小学校地域防災会議
- ・七小防災会（仮称）会議
- ・南平地区防災会（仮称）会議
- ・日野市総合防災訓練 関係者会議
- ・南多摩医療圏災害医療ワーキング会議
- ・日野市福祉避難所開設・運営マニュアルの読み合わせ会

日野市関係部署（障害福祉課・防災安全課・発達支援センター・高齢福祉課）及び日野市内の福祉避難所（障害分野6施設）と、福祉避難所開設・運営マニュアルの読み合わせ会を行った。

4回（8/21, 10/9, 11/20, 12/18）

事業効果・評価
方向性等

・七生中学校防災CAMPでは、視覚障害のある方にも参加してもらい、災害時要配慮者への対応について、中学生と地域の方、視覚障害のある方と考える機会をつくった。また、卒業生が運営者として加わり、防災リーダーとしての役割を果たした。

・南平高校でのHUGも定着して開催することになったが、東日本大震災の発災からの月日が経つことによって、当事者性という観点からは意識の低下があった。今年度は、前半では、東日本大震災の映像や被災者家族の声を聞くことによって意識を高めた。後半については、「台風19号の時の対応について」現場で実際に起こったことや子供たちが大きな力を発揮したこと等を踏まえた講演を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため残念ながら中止となった。

・引き続き「イザ！カエルキャラバン！」を実施する団体もあり、新たなメンバーやプログラムを自分たちの地域にあった形で行っている団体もあった。

・地域団体と防災会（避難所運営に関わる会）でDIGとHUGに加えて、マイタイムラインの実施し、防災意識の向上と避難所運営マニュアルづくりの一助となった。今年度は、台風19号の発災もあり、これまで以上に関心が高まった。（DIGとHUGの実施に関しては、日野市から防災普及活動業務委託として4カ所実施している）台風19号の発災後に、福祉関係機関からの実施依頼もあり、避難行動要支援者対策に向けての具体的な方法としての効果が今後期待される。

・各防災会でHUGとDIGの実施後に避難所運営訓練を組み合わせる

	ことにより、マニュアルの課題や実際の動きについてのブラッシュアップにも繋がっている
事業内容	4. 災害への支援活動
実績報告	<p>1) 台風19号に伴う災害時要配慮者の移送 10月12日に上陸した台風19号により、浅川流域に避難指示が発令されたため、福祉車両を活用し、自力では避難が難しい災害時要配慮者の避難所への移送を行った。</p> <p>①日時 10/12 (土) ②対応人数 正規職員 3人</p> <p>2) 台風19号に伴う八王子市災害ボランティアセンターの支援活動 台風19号により、八王子市浅川・恩方地区で土砂崩れや床下・床上浸水の被害を受け、八王子市災害ボランティアセンターが立ち上がった。立ち上げ当初から正規職員を交代で派遣し、ボランティア受付、ニーズ・現地調査、ボランティアのマッチング等の運営支援を行った。</p> <p>①期間 10/19 (土) から11/2 (土) まで 延べ13日間 ②派遣人数 正規職員 15人</p>
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時要配慮者の移送は日野市健康福祉部と連携を取りながら実施した。今後も災害時に円滑な対応ができるよう、日野市との打ち合わせを重ねていきたい。 ・八王子市災害ボランティアセンターの支援活動では、ボランティア受付の動線をいかに確保するか、依頼者とボランティアをどうマッチングするか、状況の変化にどう対応するか等、実際の現場を体験することで多くの学びがあった。日野市においても有事に効果的・効率的な災害ボランティアセンター運営ができるよう、今回の知見を運営マニュアルに反映していきたい。

事業名	日野市介護サポーター制度																
事業形態	受託事業（日野市）																
財源内訳	受託金																
担当係	ボランティア係																
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ																
目的	日野市在住の65歳以上の方を対象に、介護保険施設等でのボランティア活動を通じ、介護予防についての理解を深めていただくこと、積極的な社会参加や地域貢献を行うことにより、いつまでも元気な高齢者を目指して頂くことを目的とする。																
事業内容	1. 介護サポーター制度の運営・相談支援																
実績報告	<p>日野市在住の65歳以上の方を対象に、介護保険施設等で市民として利用者に関わる活動を通じて、介護予防についての理解を深めるとともに、積極的な社会参加や地域貢献を行うことにより、いつまでも元気な高齢者を目指して実施した。</p> <p>1) 業務内容</p> <p>① 介護サポーター制度の説明および登録手続きを行う。 ② 登録者の希望に応じて、適切な活動先を紹介する。 ③ 介護サポーター制度の周知を目的とした広報活動を行う。 ④ 介護サポーター制度に関する説明会を開催する。 ⑤ 介護サポーター制度の事務管理を行う。 （登録者情報の管理、スタンプ帳の交付、交付金の請求手続き等） ⑥ 介護サポーター向け講座・研修会等を開催し、登録者の介護予防とボランティア活動のスキルアップを図る。</p> <p>2) 登録者及び施設数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>登録者</th> <th>受入施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RI年度</td> <td>439人</td> <td>58施設</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>416人</td> <td>58施設</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) 介護サポーター制度の周知 ボランティアインフォメーション3月号掲載 ひの社協だより237号掲載</p> <p>4) 介護サポーター制度説明会 市民を対象とした制度説明会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため説明会は中止、申込者には個別で説明を行った。</p> <p>【当初の予定】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3/24</td> <td>福祉支援センター</td> </tr> <tr> <td>3/26</td> <td>中央福祉センター</td> </tr> </tbody> </table>			登録者	受入施設	RI年度	439人	58施設	30年度	416人	58施設	開催日	場所	3/24	福祉支援センター	3/26	中央福祉センター
	登録者	受入施設															
RI年度	439人	58施設															
30年度	416人	58施設															
開催日	場所																
3/24	福祉支援センター																
3/26	中央福祉センター																

	<p>【実際の対応】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">3/23～27</td> <td>福祉支援センター</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>中央福祉センター</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table> <p>5) 介護サポーター制度登録者向け研修 介護サポーター登録者に向けた研修を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため研修を「中止」とした。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3/24</td> <td>福祉支援センター</td> <td>0人 (※中止)</td> </tr> <tr> <td>3/26</td> <td>中央福祉センター</td> <td>0人 (※中止)</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	場所	人数	3/23～27	福祉支援センター	3人	中央福祉センター	2人	開催日	内容	参加者	3/24	福祉支援センター	0人 (※中止)	3/26	中央福祉センター	0人 (※中止)
開催日	場所	人数																
3/23～27	福祉支援センター	3人																
	中央福祉センター	2人																
開催日	内容	参加者																
3/24	福祉支援センター	0人 (※中止)																
3/26	中央福祉センター	0人 (※中止)																
事業効果・評価 方向性等	<p>・登録者は年々増加している。活動先の施設からの紹介やボランティア仲間からの紹介、ボランティアセンター職員からの案内等がその理由と考えられる。毎年既定の数以上のスタンプをためる方が多くいらっしやり、市民のボランティア活動への熱心さが伺える。</p>																	

事業名	日野市生涯学習支援システムポータルサイト「Hi Know! (ひのう)」																		
事業形態	補助事業 (日野市)																		
財源内訳	補助金																		
担当係	ボランティア係																		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ																		
目的	市内のイベント、団体・サークル活動等を紹介するポータルサイトを展開し、“新たな発見”“人との出会い”“地域とのつながり”“夢の実現”等のきっかけづくりのため、様々な団体・グループ等とともに市民目線で情報提供を行う。																		
事業内容	1. まちにくわるポータルサイト「Hi Know!」の運営																		
実績報告	<p>「Hi know!」は、富士通研究所㈱が「日野市を社会参加しやすいまちにする」ことを目的に実施する社会貢献活動としてWEBサイトを開発。現在、日野市ボランティア・センターが日野市や関係事業者と連携し事務局を担当、平成27年度から日野市の補助事業となる。URL http://www.hi-know.tokyo/</p> <p>1) 「Hi know!」閲覧数 (令和元年4月1日～令和2年3月31日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>トップページ</th> <th>団体毎アクセス数</th> <th>イベント毎アクセス件数</th> <th>まち記者毎取材記参照数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1年度</td> <td>31,201件</td> <td>67,325件</td> <td>96,465件</td> <td>72,204件</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>35,440件</td> <td>53,036件</td> <td>71,801件</td> <td>52,906件</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 登録団体数 232団体 (令和元年度新規登録団体14団体)</p> <p>3) 広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館・・・登録団体への周知 ・生涯学習課・・・サークル団体・施設ガイド登録団体への周知 ・ボランティア①インフォメーション 毎号4,000部 ・「まちづくり市民フェア」参加者・参加団体への周知 (10/20) 					トップページ	団体毎アクセス数	イベント毎アクセス件数	まち記者毎取材記参照数	R1年度	31,201件	67,325件	96,465件	72,204件	30年度	35,440件	53,036件	71,801件	52,906件
		トップページ	団体毎アクセス数	イベント毎アクセス件数	まち記者毎取材記参照数														
	R1年度	31,201件	67,325件	96,465件	72,204件														
30年度	35,440件	53,036件	71,801件	52,906件															

	<p>4) イベントカレンダーの導入に向けた検討 新年度(2020年度)より、生涯学習課が作成する「講座イベントガイド」と連動する形で、Hi Know!トップページ上に「イベントカレンダー」の掲載を予定している。今年度はカレンダーの導入に向けて、生涯学習課およびサイトの管理会社との打ち合わせを行った。</p>								
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・トップページのアクセス数が伸び悩んでいるため、Hi Know!自体の周知活動を積極的に行い、市民の閲覧につなげていきたい。 ・新機能「イベントカレンダー」は、従来掲載されていたイベントだけでなく、市のサイトで管理していたイベント情報も掲載することで、情報の質と量を高め、より市民の役に立つサイトを目指している。 								
事業内容	2. まち記者の養成・活動支援								
実績報告	<p>1) 登録者数 47人(令和元年度新規登録数6人)</p> <p>2) まち記者ミーティング 毎月開催 まち記者同士の定期的な情報交換の場として毎月開催。</p> <p>3) まち記者講座 開催日 9/21(土) 10:00~16:00 場 所 中央福祉センター 講 師 山上貴久氏、馬場康二氏、塩入広樹氏 内 容 ①取材の仕方・写真の撮り方・文章の書き方を学ぼう ②「日野市の職員手帳」から魅力的な発信方法を学ぼう ③まちに出て取材してみよう(まち歩き) ④日野の見どころを探そう(グループワーク) ⑤記事の掲載方法を学ぼう</p> <p>参加者 20人 新規まち記者登録者 6人</p> <p>5) まち記者紅葉狩りツアー</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>場所</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12/8</td> <td>京王線「南平」駅 ～京王線「高幡不動」駅</td> <td>取材の練習・情報交換・ 交流を目的としたまち歩 き</td> <td>6人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	場所	内容	参加者	12/8	京王線「南平」駅 ～京王線「高幡不動」駅	取材の練習・情報交換・ 交流を目的としたまち歩 き	6人
開催日	場所	内容	参加者						
12/8	京王線「南平」駅 ～京王線「高幡不動」駅	取材の練習・情報交換・ 交流を目的としたまち歩 き	6人						
事業効果・評価 方向性等	<p>・まち記者講座では、社会福祉士実習の大学生から80歳代の方まで幅広い年代での交流が生まれ、新たに6人の方にご登録いただいた。今後も興味関心を持ち活動を継続いただけるよう、定期的なミーティングやイベントの開催を通して活動をサポートしていきたい。</p>								

助成事業

事業名	歳末たすけあい地域福祉活動助成		
事業形態	歳末たすけあい募金配分金事業		
財源内訳	歳末たすけあい募金配分金		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる		
目的	歳末たすけあい募金を原資とした助成金を、障害者団体や当事者団体、ボランティアグループ等に交付し、地域福祉活動の推進を図る。		
事業内容	1. 助成金申請受付・決定・交付・事業報告書の精査		
実績報告	1) 助成金決定・交付 申請団体に対し、助成金の決定及び交付		
	令和元年度	19団体 1,549,000円	
	平成30年度	19団体 1,256,000円	
	(令和元年内訳)		
		団体名	金額
	1	成年後見サポートひの	100,000円
	2	高次脳機能障害者と家族の会 かしのきひの	50,000円
	3	特定非営利活動法人市民サポートセンター日野	92,000円
	4	日野市老人クラブ連合会	100,000円
	5	朗読サークル「ひの」	75,000円
	6	ひの手話サークル	97,000円
	7	日野市聴覚障害者協会	37,000円
	8	日野市赤十字奉仕団	100,000円
	9	ボランティアグループこすもす	100,000円
	10	ひの・I-BASHO	99,000円
11	HINO飛ぶ教室	100,000円	
12	日野失語症者交流会「すずめ」	80,000円	
13	さと@hino	75,000円	
14	日野市障害者関係団体連絡協議会	55,000円	
15	日野市身体障害者福祉協会	100,000円	
16	日野精神障害者家族会 日野いずみ会	39,000円	
17	NPO法人 環境教育ネットワーク	100,000円	
18	無料学習塾 日野すみれ塾	100,000円	
19	日野市視覚障害者協会	50,000円	
	合計	1,549,000円	
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者団体やボランティアグループ等に助成し、自己財源力の乏しい団体の活動の一助となっている。 ・歳末たすけあい募金実績を増やすこともさることながら、対象団体や対象事業の見直しを含めた要綱の変更を検討していく必要があると考えている。 		

事業内容	2. 広報周知
実績報告	ひの社協だよりNo236 (11月発行) にて、助成団体及び事業の紹介をし、募金の使われ方を広く市民に示すことができた。
事業効果・評価 方向性等	今年度は積極的な広報活動ができなかった。来年度は歳末たすけあい運動期間にあわせ、本助成金の広報活動を行っていきたい。

事業名	地域支え合い福祉活動助成		
事業形態	独自事業		
財源内訳	会費		
担当係	地域支援係		
地域福祉活動計画における視点	ともにつくる		
目的	会費を原資とした助成金を、地域で当事者や住民同士の仲間づくり、情報交換といった居場所づくりを行っている地域交流サロン等の非営利団体及び「ぷらっと協議会」(地区社協) に交付し、地域福祉活動の活性化を図る。		
事業内容	1. サロン活動助成		
実績報告	1) 助成金決定・交付 申請団体に対し、助成金の決定及び交付		
	令和元年度	40 団体 1,182,000 円	
	平成30年度	40 団体 1,234,000 円	
	(令和元年内訳)		
		団体名	金額
	1	アンサンブル*レェブ	6,000円
	2	エプロン・ママ	20,000円
	3	子育て支援グループ「かるがも」	30,000円
	4	青春グループ	30,000円
	5	多文化ひろばあいあい	30,000円
	6	日野国際友好クラブ	21,000円
	7	ホットやすらぎ会	30,000円
	8	南新井ふれあいサロン協議会	30,000円
	9	ふれあいサロン 「縁がわ」世話人会	30,000円
	10	レモン倶楽部	30,000円
	11	さざんかの会	30,000円
	12	大坂上百合の木会	30,000円
	13	歌で楽しむ元気会	30,000円
	14	地域交流スペース「ひだまり」	30,000円
	15	ふれあいあじさいサロン	30,000円
16	なつかしい歌の会	30,000円	
17	三世代ふれあいの会	30,000円	
18	緑ヶ丘自治会「談笑縁」	30,000円	
19	日野台にこにこカフェ	30,000円	

	20	サロン程久保	30,000円
	21	日野市パーキンソン病友の会	30,000円
	22	日野おはなしの会	30,000円
	23	特定非営利活動法人はっぴーらいふ	30,000円
	24	ハッピーソング会	30,000円
	25	落川元気会	30,000円
	26	Shall we dance	30,000円
	27	ふれあいサロン万願荘	30,000円
	28	日野市訪問介護サービス提供責任者連絡会	15,000円
	29	ふれあいサロン「こんね」	30,000円
	30	黒川かわせみサロン	30,000円
	31	元気な音楽の広場	30,000円
	32	おしゃべりカフェ	30,000円
	33	健幸サロン	30,000円
	34	あさひ健幸体操	30,000円
	35	明星地区つながりの家「アムール」	30,000円
	36	平山ことな広場の会	30,000円
	37	えびす会	30,000円
	38	こどもへのまなざしママ会	30,000円
	39	南平駅西交流センター運営委員会	50,000円
	40	日野市ひきこもり家族会	50,000円
		合計	1,182,000円
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなサロン活動実施団体が増えている反面、担い手の高齢化が進み、会を継続することが難しくなっている団体も出てきており、実際にサロン活動を終了する団体も出てきている。 ・会費収入が減少する中、全申請団体に希望通りの額を助成することが難しくなり、要綱等の見直しが必要となっているため、来年度に向けて検討を行った。その結果、まず、市高齢福祉課のふれあいサロン助成を受けている団体に限り、3万円の上限を2万円にし、さらに新規立ち上げ団体の助成金額の上限を、5万円から3万円にすることとして、該当する団体の理解を求めた。今後、状況によってはさらに検討が必要である。 		
事業内容	2. 地区社協助成		
実績報告	南平地区社協 150,000円		

事業名	ヒカリ興業奨学基金																					
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）																					
財源内訳	東京都社会福祉協議会による予算執行（当会では広報・相談のみ）																					
担当係	総務係																					
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる																					
目的	本奨学金は、平成17年度「ヒカリ興業(株)」からの寄付により基金を設立し、翌年度の入学者から給付開始したものである。平成23～24年度は募集停止。平成25年度（翌年度の入学者）から募集再開した。当会は本奨学金の周知・受付を行い、教育資金の一助になるよう努めるものである。																					
事業内容	申請書類の受付・奨学生の決定																					
実績報告	<p>1) 内容詳細</p> <table border="0"> <tr> <td>募集人数（都内）</td> <td>大学等</td> <td>3人</td> <td>高校等</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>交付金額（年額）</td> <td>大学等</td> <td>240,000円</td> <td>高校等</td> <td>150,000円</td> </tr> </table> <p>※いずれも所定就学期間のみ</p> <p>2) 実績（申請者数・交付決定者数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>申請者</th> <th>交付決定者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1年度</td> <td>2人（大学0人、高校2人）</td> <td>1人（高校）</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>10人（大学5人、高校5人）</td> <td>1人（大学）</td> </tr> </tbody> </table>			募集人数（都内）	大学等	3人	高校等	4人	交付金額（年額）	大学等	240,000円	高校等	150,000円		申請者	交付決定者	R1年度	2人（大学0人、高校2人）	1人（高校）	30年度	10人（大学5人、高校5人）	1人（大学）
募集人数（都内）	大学等	3人	高校等	4人																		
交付金額（年額）	大学等	240,000円	高校等	150,000円																		
	申請者	交付決定者																				
R1年度	2人（大学0人、高校2人）	1人（高校）																				
30年度	10人（大学5人、高校5人）	1人（大学）																				
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中学校ならびに市内所在する都立高校に募集要項を配布し、奨学生募集を行い、希望する生徒・保護者のほか、教員からの問い合わせもあった。 ・日野市セーフティネットコールセンター等の関係機関において、本奨学金を周知し、必要な方へ周知することができた。 ・奨学金募集時期に、広報ひのやひの社協だより等での周知の他に、関係機関への働きかけを行うことが重要であることが分かった。引き続き継続して行っていく。 ・R2 年度から開始する高等教育の修学支援新制度の影響か、例年に比べて申請者が減少した。 																					

生活福祉資金貸付事業

事業名	生活福祉資金貸付事業					
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）					
財源内訳	受託金					
担当係	総務係					
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる					
目的	所得の少ない世帯、障害者世帯、介護を必要とする高齢者がいる世帯に対し、その世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的に、必要な相談援助と資金の貸付を行う。					
事業内容	1. 相談支援					
実績報告	1) 相談実績（電話・来所）					
		回数				
	RI年度	1,191件				
	30年度				1,089件	
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 電話、来所を含めた相談件数は30年度とほぼ同数だった。 相談内容では福祉費や緊急小口資金の相談件数が非常に少なく、教育支援資金の相談や連絡等の件数が多かった。 特に母子世帯、母子の生保世帯からの相談件数が増えているため、日野市母子福祉資金・生活福祉課との緊密な連携が非常に重要と思われる。 					
事業内容	2. 貸付相談及び貸付申請事務手続き					
実績報告	1) 実績					
		貸付件数	取扱金額			
	RI年度	12件	15,640,000円			
	30年度		20件	47,582,500円		
実績報告	2) 貸付実績内訳 (不動産＝「不動産担保型生活資金」、要保護＝「要保護世帯向け不動産担保型生活資金」)					
		福祉費	教育支援	緊急小口	不動産	要保護
	RI年度	3件	9件	0件	0件	0件
	30年度		5件	14件	0件	1件
実績報告	3) 総合支援資金の支援活動					
	総合支援資金は平成21年10月に創設された離職者を対象にした制度で、借受人は資金の借入と共に継続的な相談支援を受けることが条件となっている。月1回の面接時には就職活動の報告を受け、内容を確認し早期就労を目指した支援を行っている。					
	(内訳)	借受人総数	44人			
	資金完済者	6人				
	債務整理者	3人				

	<ul style="list-style-type: none"> ・借受人死亡 1人 ・東京都社会福祉協議会へ事務移管 3人 ・現在の借受人 31人 ・就職者 27人 ・ 就職率 87,1% <p>4) 緊急特例貸付 各地で起きている地震や台風の被害に遭った方々が対象となる「特例貸付」の活用が増えてきた。昨年の台風19号の被災者に対し、緊急特例の10万円の貸付を行った。</p> <p>また、令和2年2月頃から流行した新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金の制度における「緊急小口資金・総合支援資金」の特例貸付が令和2年3月25日からスタートした。</p>
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・教育支援資金について、大学や短大、専門学校へ進学を希望する方に対しては、国として給付型奨学金や授業料減免措置等かなり力を入れている。それら他制度利用が優先されるため、教育支援資金は入学するための入学金と1年間の学費を貸付し、その後必要性があれば2年生以降の学費も再度貸付けるという制度に変更されたため、社協側の手間が増えていることも確かである。 ・高校進学を希望する方に、修学支援金・授業料軽減措置等がかなり認識されてきたため、高校進学への教育支援資金の貸付件数が少なくなった。 ・生保世帯の生活必需品購入貸付（エアコン購入）は2件あり、来年度以降も増加傾向になると思われる。 ・総合支援資金は昨年同様、相談案件も貸付件数もなかった。しかし、新型コロナウイルスの影響で勤務先を解雇された等の失業者・求職者が増えることが予想され、今後は相談・貸付件数が増加するものと思われる。 ・30年度は875万円の要保護世帯向不動産担保型生活資金が1件あり、貸付件数が少ない割に取扱金額も高額になった。 ・令和元年度の貸付件数が多い割に取扱金額が少ない理由は2点ある。 1点目は教育支援資金の運用方法が変更になり、後期から申請する場合入学後に給付型奨学金や授業料の減免を受けられる可能性が出てきた。従って大学生、専門学校生の貸付が初年度の単年貸し（1年）となり金額が減少した。 2点目は緊急特例貸付の件数は増えたが、1件当たりの貸付金額が20万円という金額のため、件数の割に取扱金額は増加していない。
事業内容	3. 関係機関との連携
実績報告	<ol style="list-style-type: none"> 1) 生活福祉課のケースワーカー向け研修会 1回 (4/26) 夏場の生活必需品購入、及び生活保護世帯の子どもへ教育支援資金の貸付に関する説明会を実施した。 2) 民生委員（生活福祉部会）福祉施設見学・研修会への参加 1回 (7/8) 3) 生活福祉資金貸付事業説明会 3回 (5/29、9/25、12/3)
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・申請件数こそ年間2～4件ではあるが、生活保護世帯より生活必需品購入に関する相談があり、日野市生活福祉課とのより良い連携を図る事が重要である。ケースワーカー向けの研修会を開催することで相互にコミュニケーションを深めることができ、効率の良い効果的な業務が成されている。 ・民生委員 生活福祉部会会長より、日野市内の福祉施設見学・研修会を行うため、生活福祉資金貸付担当者にも同行してほしいと依頼があり参加した。研修会終了後に懇親会があり、出席していた民生委員との意見交換を行った。

事業内容	4. 償還相談及び償還免除等の申請事務手続き																		
実績報告	<p>1) 辞退届 教育支援資金 1件 専門学校の学費を2年間貸付したが、2年次の単位を落とし留年となった。生保世帯でもあるため、さらに2年間の学費を賄うことができず1年間の学費を辞退した。</p> <p>2) 償還猶予 教育支援資金 1件 専門学校を2年間貸付した借受人が結婚し8月に出産したため、1年間猶予する申請を行った。</p>																		
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・上級学校への進学や出産等の償還猶予は問題なく申請できる。 ・延滞利子免除や償還免除等に関しては、借受人だけでなく連帯借受人や連帯保証人世帯の生活状況も詳しく聞き取りする必要がある、それぞれの世帯が低所得でないと申請できない。今までの傾向として、借受人は連帯借受人や連帯保証人とあまり連絡を取っていないため、それら世帯の生活状況を確認する事は難しい面もある。 																		
事業内容	5. 日野市生活福祉資金貸付事業（償還業務のみ）																		
実績報告	<p>平成21年度を以って終了した日野市生活福祉資金貸付事業について、償還未済の借受人に対し償還請求を行った。</p> <p>1) 償還状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>人数</th> <th>貸付金残額</th> <th>償還額</th> <th>回収不能額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1年度</td> <td>17件</td> <td>16人</td> <td>776,000円</td> <td>22,000円</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>18件</td> <td>17人</td> <td>798,000円</td> <td>98,000円</td> <td>158,000円</td> </tr> </tbody> </table>		件数	人数	貸付金残額	償還額	回収不能額	R1年度	17件	16人	776,000円	22,000円	0円	30年度	18件	17人	798,000円	98,000円	158,000円
	件数	人数	貸付金残額	償還額	回収不能額														
R1年度	17件	16人	776,000円	22,000円	0円														
30年度	18件	17人	798,000円	98,000円	158,000円														
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・借受人に対し定期的に郵送物を送付し、居住を確認する活動を行うと同時に定期的な償還活動を実施していく。 ・同時に毎月ではないが償還督促の書面を郵送し、償還促進活動を行った。 																		

事業名	ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）
財源内訳	受託金
担当係	総務係
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる
目的	東京都内において、高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親に対し、高等職業訓練促進資金を貸し付け、修学を容易にすることにより、資格取得を促進し、ひとり親家庭の親の自立の促進を図ることを目的とする。
事業内容	1. 相談支援及び貸付申請事務手続き
実績報告	<p>ひとり親家庭高等職業訓練促進資金は、下記の2種類ある。</p> <p>①就職に有利な資格を取得するための入学準備金 ②一定期間の研修が修了し、就職するための就職準備金</p> <p>養成機関を修了し、かつ資格取得した日から1年以内に就職し、東京都内で取得した資格が必要な業務に従事し、5年間就業継続をした場合には、申</p>

	<p>請により返済が免除される</p> <p>1) 実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>相談人数</th> <th>貸付件数</th> <th>取扱金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RI年度</td> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>200,000円</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>3件</td> <td>3件</td> <td>1,500,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>*入学準備金 500,000円/1件、就職準備金 200,000円/1件</p>		相談人数	貸付件数	取扱金額	RI年度	1件	1件	200,000円	30年度	3件	3件	1,500,000円
	相談人数	貸付件数	取扱金額										
RI年度	1件	1件	200,000円										
30年度	3件	3件	1,500,000円										
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・29年度からスタートした「ひとり親家庭高等職業訓練」について、それ程の申請件数はないが、継続して支援したい。 ・貸付内容は今までの入学準備金ではなく、借受人が2年間の研修を終え就職するための“就職準備金”の申請だった。 ・利用する方の数は少ないものの借受人から話を伺うと、非常にありがたいというコメントがあった。 												

事業名	台風15号・19号の影響による緊急小口資金特例貸付事業										
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）										
財源内訳	受託金										
担当係	総務係										
地域福祉活動計画 における視点	ともにみまもる										
目的	令和元年台風15号及び19号により、災害救助法の適用となった地域及び被災したため特例措置が必要な地域に居住を有し、当座の生活費を必要とする世帯に対して緊急小口資金を貸し付けることにより、世帯の自立促進を図ることを目的とし、令和元年10月31日から受付を開始し令和2年3月31日で終了した。										
事業内容	1. 相談支援及び貸付申請事務手続き										
実績報告	<p>1) 貸付内容</p> <p>台風15号・19号により被災した世帯に対する福祉資金の貸付には2種類ある。</p> <p>① 通常の貸付</p> <table> <tr> <td>貸付額</td> <td>原則とし10万円以内の一括交付</td> </tr> <tr> <td>利子</td> <td>無利子</td> </tr> <tr> <td>据置期間</td> <td>1年</td> </tr> <tr> <td>返済期間</td> <td>2年（24回）</td> </tr> <tr> <td>連帯保証人</td> <td>不要</td> </tr> </table> <p>② 特に必要性が認められる場合</p> <p>世帯の中に死亡者や要介護者、その他必要性が認められる世帯に対しては20万円を一括交付</p> <p>償還内容は10万円の場合と同様</p> <p>2) 実績</p> <p>1件 100,000円</p>	貸付額	原則とし10万円以内の一括交付	利子	無利子	据置期間	1年	返済期間	2年（24回）	連帯保証人	不要
貸付額	原則とし10万円以内の一括交付										
利子	無利子										
据置期間	1年										
返済期間	2年（24回）										
連帯保証人	不要										

事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> この特例貸付は、地域限定的な特例貸付となる。 被災した世帯に対し緊急小口資金の特例貸付を適用し、当座の生活費を貸し付ける制度となっている。 通常運用してきた生活福祉資金の貸付要件とは異なり、緩やかな貸付基準となっている。
-----------------	--

事業名	コロナウィルス感染症の影響による緊急特例貸付事業										
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）										
財源内訳	受託金										
担当係	総務係										
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる										
目的	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活が困窮し日常生活の維持が困難になっている世帯に対し、生活福祉資金制度の緊急小口資金及び総合支援資金（生活支援費）の特例措置を設けることにより、世帯の自立促進を図ることを目的とし、令和2年3月25日から開始した。										
事業内容	1. 相談支援及び貸付申請事務手続き										
実績報告	<p>1) 貸付内容 コロナウィルス感染症の影響による緊急特例貸付は下記の2種類がある。</p> <p>① 福祉資金 緊急小口資金 貸付額：20万円（状況により10万円）一括交付 利子 無利子 据置期間 1年 返済期間 2年（24回） 連帯保証人 不要</p> <p>② 総合支援資金 貸付額：単身世帯 月額15万円 複数世帯 月額20万円 原則3か月間貸付 利子 無利子 据置期間 1年 返済期間 10年（120回） 連帯保証人 不要</p> <p>緊急小口資金を借りてもなお生活状況が厳しい方の場合、その後に総合支援資金を借りることができる制度となっている。 さらにこの特例措置では、償還時においてなお所得の減少が続く非課税世帯の償還を免除することができることとしている。</p> <p>2) 実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>新規相談件数</th> <th>申請件数</th> <th>貸付金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1年度</td> <td>44件</td> <td>17件</td> <td>3,400,000円</td> </tr> </tbody> </table>				新規相談件数	申請件数	貸付金額	R1年度	44件	17件	3,400,000円
	新規相談件数	申請件数	貸付金額								
R1年度	44件	17件	3,400,000円								
事業効果・評価 方向性等	この特例貸付は、台風等被害による地域限定的な特例貸付とは異なり、日本中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症による影響で、生活に困										

<p>窮した世帯に対し、国（政府）として一人でも多くの国民を救うという目的のために制度化された。従って、今まで運用してきた生活福祉資金の貸付要件とは異なり、緩やかな貸付基準となっている。</p> <ul style="list-style-type: none">•平成19年のリーマンショックの時より被害を受けている人が多く、この制度が開始した3月25日以降、職員が一丸となって連日電話対応や申請受付に当たっている。

福祉サービス利用援助事業

事業名	地域福祉権利擁護事業					
事業形態	受託事業（東京都社会福祉協議会）					
財源内訳	受託金、利用料					
担当係	権利擁護係					
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる					
目的	認知症や障害により判断能力が十分でない方が、地域で安心して暮らしていくことをサポートする					
事業内容	1. 地域福祉権利擁護事業					
実績報告	1) 地域福祉権利擁護事業利用状況 認知症・知的障害・精神障害等により、必要な福祉サービスを自分で適切に選択・利用することや、日常的な金銭管理が不安な方に対し、福祉サービスの利用援助・日常金銭管理・書類等預かりサービスによる支援を行った。					
		相談・支援	新規契約	終了(解約)	年度末 契約件数	
	RI年度	2,417件	23件	13件	75件	
	30年度	2,100件	21件	10件	65件	
	2) 生活支援員連絡会 事務連絡、活動状況報告の他、利用者の支援にあたる生活支援員からの状況報告を受け、情報交換を行った。（生活支援員登録数 27人）					
	開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者
	4/18	17人	5/16	18人	6/20	17人
	7/18	18人	9/19	16人	10/17	13人
	11/20	18人	12/19	14人	1/16	15人
	2/20	15人	3/18	中止		
3) 生活支援員 研修参加状況						
開催日	内容	主催	参加者			
5/16	グループワーク (記録の書き方)	日野市社会福祉協議会	18人			
7/18	グループワーク (支援中の気づきと対応)		18人			
10/17	台風19号の被害状況をふまえ、洪水ハザードマップを活用した図上演習		13人			
1/16	新様式援助実施票の書き方		15人			
6/6.13	精神保健福祉研修	多摩精神保健福祉総合センター	5人			
4) 生活支援員募集のための事業説明会 4回 (9/20, 10/3, 2/26, 2/27)						
5) 東京都社協による地域福祉権利擁護実施社協・訪問調査 1回 (7/12) 事業の適正な実施の為、本事業の委託元である東京都社会福祉協議会による						

	事業の実施体制・個別ケースの支援状況・日常的金銭管理サービス・委託費の執行状況等の調査を受け、事業についての意見交換を行った。
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援員連絡会を活用し、研修を行うことで資質向上を図った。 多数の相談に対応するとともに、新規契約者を増やすことができた。 利用者の状況に応じて成年後見制度への移行を行った。

事業名	権利擁護センター日野				
事業形態	独自事業				
財源内訳	利用料、繰入金				
担当係	権利擁護係				
地域福祉活動計画における視点	ともにみまもる				
目的	認知症や障害により判断能力に支障がある方、判断能力に支障はないが病弱・虚弱、障害等で日常生活が困難な方が地域で安心して暮らしていくことをサポートする。				
事業内容	1. 財産保全・管理サービス				
実績報告	1) 財産管理・保全サービス 身体障害や病弱・高齢等により外出が困難な方に対し、預貯金の出し入れや日常生活に必要な各種手続き代行等のサービスを提供した。				
		相談・援助	新規契約	終了(解約)	年度末 契約件数
	RI年度	23件	0件	0件	3件
	30年度	41件	0件	1件	3件
実績報告	2) 応急日常金銭管理 成年後見制度の申立から審判が下りるまでの間の応急支援として、行政からの依頼を受け、地域福祉権利擁護事業と同様のサービスを実施した。				
	RI年度	71件			
	30年度	106件			
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉権利擁護事業から成年後見制度の利用までの一貫した支援を行うことができた。 				

事業内容	2. 成年後見制度における相談・支援の充実														
実績報告	<p>1) 成年後見制度の申立が必要な市民の相談に応じ、後見制度の内容、手続き等の説明。</p> <p>2) 必要に応じて弁護士会や司法書士会、社会福祉士会等の情報提供。</p> <p>3) 成年後見制度利用が必要な状態にもかかわらず、経済的理由や親族がない等の理由で申し立てが滞っている場合には、行政をはじめとした関係機関のネットワークにより、総合的な支援を実施した。</p> <p>4) 後見人に就任している親族や専門職後見人等から、被後見人についての相談を受け、必要な機関やサービスの紹介、地域ネットワークを活用した対応等支援を行った。</p> <table border="1" data-bbox="443 607 794 701"> <tr> <td>RI年度</td> <td>186件</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>122件</td> </tr> </table>			RI年度	186件	30年度	122件								
RI年度	186件														
30年度	122件														
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・日野市高齢福祉課や障害福祉課等関係機関や、地域包括支援センター、金融機関等からの紹介による相談者への対応ができた。 ・成年後見制度の相談機関として、市民や行政等の関係機関からの認知度が高くなってきている。 														
事業内容	3. 地域ネットワークと(親族)後見人等のサポート														
実績報告	<p>被後見人の権利を擁護し、親族等の後見人の活動をサポートするため、市内・近隣の専門職、専門職団体、福祉関係団体、行政機関、裁判所等のネットワークづくりを進め、後見業務全般についての相談・支援を行った。</p> <p>1) 成年後見制度関係機関ネットワーク会議の開催 成年後見人(専門職後見人等・市民後見人)、行政や地域包括支援センター等の関係機関等とネットワーク会議を開催し、情報共有・事例検討等を行った。</p> <table border="1" data-bbox="419 1279 1414 1538"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>テーマ</th> <th>発表者</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7/30</td> <td>市民後見人の実践報告</td> <td>喜田芙美雄氏 中村真佐子氏</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td>2/12</td> <td>困難事例と地域連携 ～専門職後見人と地域包括 支援センターの実践～</td> <td>弁護士 日高絢子 氏 地域包括支援センター 廣川理恵子 氏</td> <td>40人</td> </tr> </tbody> </table>			開催日	テーマ	発表者	参加者	7/30	市民後見人の実践報告	喜田芙美雄氏 中村真佐子氏	42人	2/12	困難事例と地域連携 ～専門職後見人と地域包括 支援センターの実践～	弁護士 日高絢子 氏 地域包括支援センター 廣川理恵子 氏	40人
開催日	テーマ	発表者	参加者												
7/30	市民後見人の実践報告	喜田芙美雄氏 中村真佐子氏	42人												
2/12	困難事例と地域連携 ～専門職後見人と地域包括 支援センターの実践～	弁護士 日高絢子 氏 地域包括支援センター 廣川理恵子 氏	40人												
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度に係る各種の専門職の顔の見える関係づくりを行うことができた。さらに、虐待が疑われるケース等、福祉的な課題があつて後見制度の活用による支援が必要なケースへの理解が深まった。 ・地域包括支援センターにはほぼ全所が参加していただくことができたことや、初参加の専門職後見人も増えた。 														

事業内容	4. 市民後見人の養成と後見監督の実施																												
実績報告	<p>1) 養成講習修了者の登録と候補者の推薦 市民後見人養成講習の修了者を、後見人候補者として登録。地域福祉権利擁護事業生活支援員として当事者支援の経験を重ねながら、「市民後見人」就任要請を受けた時に候補者推薦ができる体制を整えた。 今年度、日野市高齢福祉課からの推薦依頼を受け、市民後見人として後見活動を開始した。 (市民後見人候補者登録数 13人)</p> <p>2) 後見人の受任と法人後見監督の実施 当会の市民後見人等候補者の中から受任した市民後見人と、成年後見に関するNPO法人の所属メンバーとして受任した後見人に対し、当会で後見監督を受任している。</p> <table border="1" data-bbox="475 645 1292 741"> <tr> <td>新規受任</td> <td>終了件数</td> <td>市民後見受任件数</td> <td>後見監督受任件数</td> </tr> <tr> <td>1件</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>3件</td> </tr> </table>	新規受任	終了件数	市民後見受任件数	後見監督受任件数	1件	1件	2件	3件																				
新規受任	終了件数	市民後見受任件数	後見監督受任件数																										
1件	1件	2件	3件																										
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・後見人から3か月ごとの定期報告を受け、適切な後見業務を行っているか否かを監督することができた。 ・監督業務と同時に、市民後見人からの相談に対応することで、後見活動をサポートすることができた。 																												
事業内容	5. 事業・制度広報周知																												
実績報告	<p>1) 出張説明会 もぐさオレンジカフェやあったカフェ等に出向き、成年後見制度や地域福祉権利擁護事業説明を行い、個別の相談にも応じた。</p> <p>2) 成年後見制度説明会の開催 成年後見制度の周知・活用を図るため、日野市福祉政策課・高齢福祉課等と共催で制度説明会を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="475 1332 1171 1653"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>参加者</th> <th>相談者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>10/2</td> <td>30</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>10/9</td> <td>15</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>10/12</td> <td colspan="2">台風19号のため中止</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>10/19</td> <td>6</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>10/23</td> <td>19</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>70</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※講師 第1回 本村雄一 氏 (日野社会福祉士会会長) 第2,3回 相田浩和 氏 (東京司法書士会多摩支部長) 第4回 芳賀敏春 氏 (成年後見センター・リーガルサポート東京支部長)) 第5回 大庭百合子 氏 (NPO法人ソーシャルネット南のかぜ理事等)</p>		開催日	参加者	相談者	第1回	10/2	30	3	第2回	10/9	15	2	第3回	10/12	台風19号のため中止		第4回	10/19	6	1	第5回	10/23	19	1	合計		70	7
	開催日	参加者	相談者																										
第1回	10/2	30	3																										
第2回	10/9	15	2																										
第3回	10/12	台風19号のため中止																											
第4回	10/19	6	1																										
第5回	10/23	19	1																										
合計		70	7																										
事業効果・評価 方向性等	説明会を通して、市民に直接周知できたと同時に、支援者との連携を強化できた。																												

事業内容	6. 他機関との連携強化																								
実績報告	<p>1) 権利擁護センター運営委員会 5回実施 (4/12.6/21.9/20.12/10.2/18)</p> <p>弁護士、司法書士、社会福祉士、精神科医、地域包括支援センター、障害者支援施設、行政、社協理事で構成し、センターの事業運営や複雑化する個別の案件についての対応を図るとともに、後見監督、財産保全・管理、応急金銭管理等についての検討を行った。</p> <p>2) 成年後見制度関係機関ネットワーク会議 「3. 地域ネットワークと(親族)後見人等のサポート」に掲載</p> <p>3) 関係機関の連絡会等への参加</p>																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="440 586 673 629">開催日</th> <th data-bbox="679 586 1430 629">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="440 638 673 712">5/22</td> <td data-bbox="679 638 1430 712">成年後見制度利用促進基本計画策定のためのヒアリング</td> </tr> <tr> <td data-bbox="440 721 673 757">5/24, 7/22</td> <td data-bbox="679 721 1430 757">成年後見制度推進機関フォローアップ研修</td> </tr> <tr> <td data-bbox="440 766 673 840">7/3, 10/7, 1/29</td> <td data-bbox="679 766 1430 840">多摩地域における成年後見制度利用促進基本計画に関する連絡会</td> </tr> <tr> <td data-bbox="440 848 673 884">5/29, 2/14</td> <td data-bbox="679 848 1430 884">利用者支援市区町村連絡会</td> </tr> <tr> <td data-bbox="440 893 673 967">5/30</td> <td data-bbox="679 893 1430 967">地域福祉権利擁護事業新任生活支援員研修にて事例発表</td> </tr> <tr> <td data-bbox="440 976 673 1012">6/28, 2/7</td> <td data-bbox="679 976 1430 1012">地域福祉権利擁護事業業務連絡会</td> </tr> <tr> <td data-bbox="440 1021 673 1057">7/4</td> <td data-bbox="679 1021 1430 1057">日野市子ども家庭支援センター連絡協議会</td> </tr> <tr> <td data-bbox="440 1066 673 1140">8/2, 1/17</td> <td data-bbox="679 1066 1430 1140">南多摩ブロック社協職員の会 地権・成年後見制度担当者会議</td> </tr> <tr> <td data-bbox="440 1149 673 1223">9月, 10月, 12月 2月 各3日間</td> <td data-bbox="679 1149 1430 1223">成年後見制度利用促進体制整備研修 (基礎研修、応用研修)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="440 1232 673 1267">10/30</td> <td data-bbox="679 1232 1430 1267">地域福祉権利擁護事業センター長会議</td> </tr> <tr> <td data-bbox="440 1276 673 1312">2/19</td> <td data-bbox="679 1276 1430 1312">関係機関と東京家裁との連絡協議会</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	5/22	成年後見制度利用促進基本計画策定のためのヒアリング	5/24, 7/22	成年後見制度推進機関フォローアップ研修	7/3, 10/7, 1/29	多摩地域における成年後見制度利用促進基本計画に関する連絡会	5/29, 2/14	利用者支援市区町村連絡会	5/30	地域福祉権利擁護事業新任生活支援員研修にて事例発表	6/28, 2/7	地域福祉権利擁護事業業務連絡会	7/4	日野市子ども家庭支援センター連絡協議会	8/2, 1/17	南多摩ブロック社協職員の会 地権・成年後見制度担当者会議	9月, 10月, 12月 2月 各3日間	成年後見制度利用促進体制整備研修 (基礎研修、応用研修)	10/30	地域福祉権利擁護事業センター長会議	2/19	関係機関と東京家裁との連絡協議会
	開催日	内容																							
	5/22	成年後見制度利用促進基本計画策定のためのヒアリング																							
	5/24, 7/22	成年後見制度推進機関フォローアップ研修																							
	7/3, 10/7, 1/29	多摩地域における成年後見制度利用促進基本計画に関する連絡会																							
	5/29, 2/14	利用者支援市区町村連絡会																							
	5/30	地域福祉権利擁護事業新任生活支援員研修にて事例発表																							
	6/28, 2/7	地域福祉権利擁護事業業務連絡会																							
	7/4	日野市子ども家庭支援センター連絡協議会																							
	8/2, 1/17	南多摩ブロック社協職員の会 地権・成年後見制度担当者会議																							
	9月, 10月, 12月 2月 各3日間	成年後見制度利用促進体制整備研修 (基礎研修、応用研修)																							
	10/30	地域福祉権利擁護事業センター長会議																							
	2/19	関係機関と東京家裁との連絡協議会																							
事業効果・評価 方向性等	<p>成年後見制度利用促進のため、家庭裁判所、弁護士会・司法書士会・社会福祉士会、行政、地域包括支援センター等との地域連携ネットワークによる相談・支援の体制づくりが進められる中、行政等関係機関との協議・調整が必要であると考えている。</p>																								

福祉人材育成事業

事業名	手話通訳者研修事業	
事業形態	受託事業（日野市）	
財源内訳	受託金	
担当係	総務係	
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ	
目的	日野市内で活動する手話通訳者の技能の習得及びレベルアップを目指す。	
事業内容	1. 登録手話通訳者の資質向上	
実績報告	1) 研修 現任の日野市登録手話通訳者を対象に、通訳者としてのスキルアップを目的とした研修を実施した。	
	開催日	内容
	7/25	「日野市差別解消条例について」聞き取り表現 講師 熊澤修 氏（日野市障害福祉課）
	8/1	「会議について」事例検討・フォロー方法 講師 居山知絵 氏（東京手話通訳等派遣センター）
	9/26	「介護認定調査について」講義・模擬通訳 講師 飯沼一将 氏、唐沢淳子 氏 （日野市地域包括支援センターせせらぎ）
	2) 打合せ 研修会打合せ 2回開催（4/25、9/10）	
事業効果・評価 方向性等	・今後通訳の需要が高まると予測される内容を学び、手話通訳の技能習得及びレベルアップを図ることができる研修プログラムを、日野市聴覚障害者協会及び日野市登録手話通訳者の会とともに検討した。今後も当事者の意見を参考にし、より充実したプログラムを作っていく。	

事業名	手話講習会事業	
事業形態	受託事業（日野市）	
財源内訳	受託金	
担当係	総務係	
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ	
目的	手話および聴覚障害者に関する基本的な知識と技術を習得することを目指し、健聴者と聴覚障害者との相互理解を深め、手話全般に関する啓発および普及を図る。また、将来に亘り日野市登録手話通訳者を増やす。	

事業内容	1. 手話講習会の実施																																													
実績報告	<p>厚生労働省「手話奉仕員」「手話通訳者」養成カリキュラムに基づき、手話の普及啓発を目的としたコミュニケーションコース、手話通訳者を目指す通訳養成コースの2コース4クラス制(7クラス)で実施した。</p>																																													
	1) 実績																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コース</th> <th>クラス</th> <th>受講者数</th> <th>修了者数</th> <th>皆勤賞</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">コミュニケーション</td> <td>入門(昼)</td> <td>22人</td> <td>15人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>入門(夜)</td> <td>29人</td> <td>18人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>基礎(昼)</td> <td>19人</td> <td>19人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>基礎(夜)</td> <td>31人</td> <td>22人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">通訳養成</td> <td>基本(昼)</td> <td>12人</td> <td>12人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>基本(夜)</td> <td>13人</td> <td>11人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>応用実践(夜のみ)</td> <td>13人</td> <td>5人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">R1年度</td> <td>139人</td> <td>102人</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">30年度</td> <td>155人</td> <td>107人</td> <td>28人</td> </tr> </tbody> </table>	コース	クラス	受講者数	修了者数	皆勤賞	コミュニケーション	入門(昼)	22人	15人	4人	入門(夜)	29人	18人	4人	基礎(昼)	19人	19人	8人	基礎(夜)	31人	22人	5人	通訳養成	基本(昼)	12人	12人	0人	基本(夜)	13人	11人	4人	応用実践(夜のみ)	13人	5人	1人	R1年度		139人	102人	26人	30年度		155人	107人	28人
	コース	クラス	受講者数	修了者数	皆勤賞																																									
	コミュニケーション	入門(昼)	22人	15人	4人																																									
		入門(夜)	29人	18人	4人																																									
		基礎(昼)	19人	19人	8人																																									
		基礎(夜)	31人	22人	5人																																									
	通訳養成	基本(昼)	12人	12人	0人																																									
		基本(夜)	13人	11人	4人																																									
応用実践(夜のみ)		13人	5人	1人																																										
R1年度		139人	102人	26人																																										
30年度		155人	107人	28人																																										
2) 通訳養成コース受講希望者に対する面談の実施																																														
<p>開催日 4/9(火) 10:00~12:00/19:00~21:00</p>																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>クラス</th> <th>受講希望者数</th> <th>受講決定者数</th> <th>受講却下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本昼</td> <td>13人</td> <td>12人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>基本夜</td> <td>14人</td> <td>13人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>応用実践</td> <td>17人</td> <td>13人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>	クラス	受講希望者数	受講決定者数	受講却下	基本昼	13人	12人	1人	基本夜	14人	13人	1人	応用実践	17人	13人	4人																														
クラス	受講希望者数	受講決定者数	受講却下																																											
基本昼	13人	12人	1人																																											
基本夜	14人	13人	1人																																											
応用実践	17人	13人	4人																																											
3) 開講式																																														
<p>開催日 5/8(水)</p>																																														
<p>場 所 日野市市民の森ふれあいホール</p>																																														
<p>*ミニ講演会「障害者差別解消法施行における暮らしの変化」</p>																																														
<p>講師 有山一博 氏(日野市聴覚障害者協会 会長)</p>																																														
4) 講演会																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>対象クラス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7/16</td> <td>「手話通訳者を目指す皆さんへ」 講師:河野光子 氏 (東京手話通訳等派遣センター)</td> <td>基本(昼・夜) 応用実践</td> </tr> <tr> <td>11/6</td> <td>「手話を学ぶ上で大切にしてほしいこと」 講師:渡邊早苗 氏 (東京手話通訳等派遣センター)</td> <td>入門、基礎 (昼・夜)クラス</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	対象クラス	7/16	「手話通訳者を目指す皆さんへ」 講師:河野光子 氏 (東京手話通訳等派遣センター)	基本(昼・夜) 応用実践	11/6	「手話を学ぶ上で大切にしてほしいこと」 講師:渡邊早苗 氏 (東京手話通訳等派遣センター)	入門、基礎 (昼・夜)クラス																																					
開催日	内容	対象クラス																																												
7/16	「手話通訳者を目指す皆さんへ」 講師:河野光子 氏 (東京手話通訳等派遣センター)	基本(昼・夜) 応用実践																																												
11/6	「手話を学ぶ上で大切にしてほしいこと」 講師:渡邊早苗 氏 (東京手話通訳等派遣センター)	入門、基礎 (昼・夜)クラス																																												
5) ろうゲスト																																														
<p>日野市在住の当事者を招き講演会等を実施した。</p>																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>対象クラス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9/17</td> <td>「手話の世界 手話に関わる最新の動向」 講師:有山一博 氏 (日野市聴覚障害者協会 会長)</td> <td>基本(昼・夜) 応用実践</td> </tr> <tr> <td>1/22</td> <td>座談会 ゲスト:森田由紀恵 氏、吉田真弓 氏</td> <td>入門、基礎 (昼)クラス</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	対象クラス	9/17	「手話の世界 手話に関わる最新の動向」 講師:有山一博 氏 (日野市聴覚障害者協会 会長)	基本(昼・夜) 応用実践	1/22	座談会 ゲスト:森田由紀恵 氏、吉田真弓 氏	入門、基礎 (昼)クラス																																					
開催日	内容	対象クラス																																												
9/17	「手話の世界 手話に関わる最新の動向」 講師:有山一博 氏 (日野市聴覚障害者協会 会長)	基本(昼・夜) 応用実践																																												
1/22	座談会 ゲスト:森田由紀恵 氏、吉田真弓 氏	入門、基礎 (昼)クラス																																												

	開催日	内容	対象クラス
	1/22	座談会 ゲスト：田原夏子 氏	入門、基礎 (夜) クラス
	6) 閉講式 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・開講式の際には昨年と同様にミニ講演会を実施。大変好評だった。 ・昨年度に比べ入受講者数が減少したが、修了者の割合は上がっている。 ・手話に関心を持つ人の増加を目指す一方、今後は手話通訳者の育成に比重をおく必要があるため、次年度検討会において来年度以降の講習会の実施内容について協議を重ねた。 ・今年度より、日野市聴覚障害者協会と日野市登録手話通訳者の会共催で手話通訳者全国統一試験に向けた集中講座を独自に実施した。 ・例年より手話通訳者全国統一試験の合格者が増加した。今後も合格者を輩出できるように、講師・障害福祉課と運営方法等を協議していく。 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、2/26 (水) 以降のすべての講習及び閉校式が中止となった。 		
事業内容	2. 保育対応の拡充		
実績報告	平成30年度からコミュニケーションコース入門 (昼) クラスのみで行っていた保育対応を、今年度から基礎 (昼) クラスでも新たに実施した。 保育利用者 6人 (入門2人、基礎4人※幼稚園等休み期間のみ利用者含む)		
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の方の、手話を学ぶ環境を整えることができた。 ・当初、預かり時間が授業終了時間と同時刻だったため、預かり時間を15分延長し、講習会を終えてから迎えに行けるよう改善した。 ・通訳養成コースでも保育対応が可能になるよう要望があり、日野市と協議を行い、令和2年度から拡充することになった。 		
事業内容	3. 講師・助手会議等の開催		
実績報告	1) 講師助手会議 1回開催 (4/16) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第2回 (3/5) は中止 2) 次年度検討会 5回開催 (6/6、7/11、10/10、12/23、2/6)		
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・手話通訳者全国統一試験受験の合格者を増やすため、統一試験対策講座の実施や手話講習会カリキュラムや受講回数の変更等の検討を行った。 ・昨年度より入門昼クラスに保育を導入し、今年度から基礎昼クラスにも保育を拡充。次年度基本昼クラスに進む受講生もいるため、通訳養成コースの保育導入について話し合いを行った。 ・昨年度、講師助手から統一試験受験者に対する集中講座の開講を希望する声が上がっていたため、集中講座の実施について検討を行った。今年度は日野市聴覚障害者協会と日野市登録手話通訳者の会共催で実施した。次年度以降は委託事業として組み立てられるよう検討した。 ・中途・難聴者向け手話講習会の実施について要望があるため、今後検討を行っていきたい。 		

事業名	介護人材育成研修事業	
事業形態	受託事業（日野市）	
財源内訳	受託金	
担当係	在宅サービス係、総務係	
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ	
目的	市内の高齢福祉サービスおよび障害福祉サービス事業所の従事者を対象にした研修会によるスキルアップや就労定着の促進、また人材の確保のため福祉施設の就労相談のための見学会を実施する。	
事業内容	1. 人材育成のための研修会	
実績報告	1) 経営者・管理者向け（全2回）	
	開催日	内容
	6/17夜間	人材育成のための解決思考法
	2/14午前	福祉施設のためのBCP作成
	参加者	41人
	参加者	24人
	2) 施設職員向け（全5回）	
	開催日	内容
	7/22夜間	専門職のための摂食嚥下機能支援
	9/17夜間	アンガーマネジメント
	11/30午前	介護実技（訪問介護員合同）
	11/30午後	介護実技（訪問介護員合同）
	2/28夜間	介護職のためのハラスメント対策
	参加者	28人
	参加者	44人
	参加者	24人
参加者	17人	
参加者	中止	
※2/28 夜間は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。		
3) 訪問介護員向け（全3回）		
開催日	内容	
11/9午前	介護実技（施設職員合同）	
11/9午後	介護実技（施設職員合同）	
2/17午後	ファシリテーション（ケアマネジャー合同）	
参加者	28人	
参加者	25人	
参加者	30人	
4) ケアマネジャー向け（全4回）		
開催日	内容	
10/17午後	アセスメントに役立つ記録の取り方	
12/18午前	チームをつくるケアマネジメントのツボ（前編）	
12/18午後	チームをつくるケアマネジメントのツボ（後編）	
2/17午後	ファシリテーション（訪問介護員合同）	
参加者	58人	
参加者	61人	
参加者	61人	
参加者	30人	
事業効果・評価方向性等	【経営者・管理者向け研修】 今年度が2年目となった職種別研修。第1回は事業所での人材育成をテーマに、第2回は台風19号による災害対応を踏まえてBCP（事業継続計画）の見直しや作成をテーマとした研修を開催した。参加者アンケートでは、事業所での人材育成が研修テーマとしてのニーズが高かった。 【施設職員向け研修】	

	<ul style="list-style-type: none"> ・摂食嚥下機能支援研修は、今までアプローチできなかった施設職員向けに実施したいという市健康課からの要望もあって、4年前の訪問介護員向け以来の実施となった。また、アンガーマネジメント研修は、普段の自身の傾向を顧みながら、怒りを抑制することではなく適切に統制することの大切さを学ぶ内容となった。障害福祉サービス事業所の職員がそれぞれ6人と16人参加しており、関心のあるテーマだったことが考えられる。 <p>【訪問介護員向け研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護実技は在宅での身体介護を担う訪問介護員からのニーズがあり、今年度はサービス提供責任者が揃って参加している事業所もあった。 ・ファシリテーション研修では、サービス担当者会議をはじめとする様々な会議での参加者の役割を見直す良いきっかけになったとの評価が参加者から得られた。 <p>【ケアマネジャー向け研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームをつくるケアマネジメントのツボ研修は、日頃の業務の中で気づきにくい点が把握でき整理できるという高評価が参加者から得られた。 ・記録の取り方研修やファシリテーション研修でも、日々行っている記録や会議進行等の業務の中でどこにポイントを置いて進めていくのかについて改めて確認できたとの声があった。 																																									
事業内容	2. 就労支援のための見学会の実施																																									
実績報告	<p>市内福祉事業者の人材確保と福祉のしごとへの関心を高めるため、福祉施設を見学する見学会を夏と冬の2回実施した。 共催 東京都福祉人材センター多摩支所・ハローワーク八王子</p> <p>1) 現地集合型の施設見学会</p> <table border="1" data-bbox="416 1084 1423 1272"> <thead> <tr> <th colspan="2">開催日</th> <th>見学施設</th> <th>分野</th> <th>参加者</th> <th>就職者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">7/10</td> <td>午前</td> <td>特別養護老人ホームマザアス日野</td> <td>高齢</td> <td>3人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>午後</td> <td>工房夢ふうせん&アネックス</td> <td>障害</td> <td>12人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>7/11</td> <td>午前</td> <td>介護老人福祉施設ラペ日野</td> <td>高齢</td> <td>4人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) バスツアー型の施設見学会</p> <table border="1" data-bbox="416 1339 1423 1527"> <thead> <tr> <th colspan="2">開催日</th> <th>見学施設</th> <th>分野</th> <th>参加者</th> <th>就職者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">12/13</td> <td></td> <td>特別養護老人ホームあすなろ</td> <td>高齢</td> <td rowspan="3">12人</td> <td rowspan="3">0人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>百草ふくしの里あすなろ</td> <td>高齢</td> </tr> <tr> <td></td> <td>特別養護老人ホーム豊かな里</td> <td>高齢</td> </tr> </tbody> </table>	開催日		見学施設	分野	参加者	就職者	7/10	午前	特別養護老人ホームマザアス日野	高齢	3人	0人	午後	工房夢ふうせん&アネックス	障害	12人	3人	7/11	午前	介護老人福祉施設ラペ日野	高齢	4人	0人	開催日		見学施設	分野	参加者	就職者	12/13		特別養護老人ホームあすなろ	高齢	12人	0人		百草ふくしの里あすなろ	高齢		特別養護老人ホーム豊かな里	高齢
開催日		見学施設	分野	参加者	就職者																																					
7/10	午前	特別養護老人ホームマザアス日野	高齢	3人	0人																																					
	午後	工房夢ふうせん&アネックス	障害	12人	3人																																					
7/11	午前	介護老人福祉施設ラペ日野	高齢	4人	0人																																					
開催日		見学施設	分野	参加者	就職者																																					
12/13		特別養護老人ホームあすなろ	高齢	12人	0人																																					
		百草ふくしの里あすなろ	高齢																																							
		特別養護老人ホーム豊かな里	高齢																																							
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・見学会では、参加者自身が仕事のイメージをつかむことができるよう、施設職員による丁寧な説明、現場職員との対話時間を多く設けた。 ・高齢者施設に比べ障害者施設の見学希望者が多く、採用にもつながった。 ・現地集合型であっても、施設最寄駅からの送迎を導入したところ、参加者から大変好評であった。 ・見学会の満足度は参加者・施設共に高いが、参加希望者は減少傾向にあるうえ、面接や就労に結びつく方も減少している。 ・見学会等の実施について施設から多数問い合わせがあり、福祉業界の人材不足は深刻化している。 																																									

事業内容	3. 日野市福祉のしごと相談・面接会				
実績報告	1) 共催 東京都福祉人材センター多摩支所・ハローワーク八王子				
	2) 実績				
		開催日・場所	参加事業所	来場者	就職者
R1年度	10/4 (金) 福祉支援センター	14社	59人	2人	
		内訳 高齡 10社 障害 2社 保育 2社		内訳 高齡2人	
30年度	9/22 (土) 中央福祉センター	16社	33人	8人	
		内訳 高齡 11社 障害 3社 保育 2社		内訳 高齡7人 保育1人	
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は中央福祉センターで土曜日の開催を試みたが、参加事業所の負担の軽減のため、今年度は平日の福祉支援センターでの開催とした。 ・例年より参加者が増加し、会場が満員になるほど反響があった。来年度も同様の日程で行い、推移を見ていきたい。 ・参加者アンケートから「事業者からの丁寧な対応をいただいた」との声も挙がり、福祉業界への関心が低下する中、事業者側も人材確保に力を入れていることがうかがえる。 				

事業名	社会福祉士養成のための実習生の受入		
事業形態	独自事業		
財源内訳	手数料		
担当係	総務係・地域支援係・ボランティア係・権利擁護係・在宅サービス係		
地域福祉活動計画 における視点	ともにそだつ		
目的	将来の福祉人材の育成のため、社会福祉士を目指す学生を実習生として受け入れ、専門職としての指導を行う。		
事業内容	1. 実習プログラムの充実		
実績報告	大学や専門学校で社会福祉士取得を目指している学生に、社会福祉協議会における、社会福祉士にとって必要な知識や技術の指導を行った。実習総括のため学生による活動発表・報告会を実施した。		
	1) 概要および内容		
	教育機関 (学校名)	期間 (日数・時間)	受入数
	明星大学 人文学部福祉実践学科3年	8/19-10/11 (24日間・180時間)	1人
	日本女子大学 人間社会学部社会福祉学科3年		1人
大妻女子大学 人間関係学部社会福祉学科3年	1/28-3/6	1人	
2) 実習報告会 10/11、3/6			

<p>事業効果・評価 方向性等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉人材の育成を目的に、社会福祉協議会の業務や「社会福祉士」としての役割について学生へ実習指導を行った。 ・実習生の実習目標の達成度・成果を確認するため、実習報告会を実施した。 ・1月から実施した実習指導では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、地域住民が集まる活動の自粛が求められたことから実習プログラムの大幅な変更を余儀なくされた。(実習期間に変更なし)
-------------------------	---

法人運営事業

事業名	組織運営事業		
事業形態	独自事業、補助事業		
財源内訳	補助金、償還金、広告料、手数料、受入研修費、積立金		
担当係	総務係（12.部会活動は地域支援係、ボランティア係）		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	各種法令や諸規程を遵守し、住民参加による透明性の高い法人組織として健全な運営を図る。 法人内の係間の調整や事務局管理を行い、効果的かつ功利的な経営が行われるよう努める。		
事業内容	1. 理事会・評議員会・経営会議の開催		
実績報告	定款に基づき、理事会・評議員会を開催した。		
	1) 理事会		
		実施日	内容
	第1回	6/10	報告第1号 会長及び常務理事の職務執行状況について 審議第1号 平成30年度 事業報告について 審議第2号 平成30年度 決算報告ならびに監査報告について 審議第3号 社会福祉充実残額の承認について 審議第4号 事務局規程の一部改正の報告承認について 審議第5号 給与規程の一部改正について 審議第6号 評議員候補者の推薦について 審議第7号 評議員選任・解任委員会の開催について 審議第8号 新役員（理事・監事）候補者の提案について 審議第9号 定時評議員会の開催について
	第2回	6/25	審議第10号 会長の選任について 審議第11号 副会長の選任について 審議第12号 常務理事の選任について 審議第13号 担当委員の選任について
第3回	11/15	審議第16号 令和元年度 上半期事業報告について 審議第17号 令和元年度 上半期決算報告ならびに監査報告について 審議第18号 令和元年度 第一次補正予算の報告承認について 審議第19号 再雇用職員取扱要綱の制定の報告承認について 審議第20号 服務規程の一部改正の報告承認について 審議第21号 契約職員就業規程の一部改正の報告承認について 審議第22号 パートタイム就業規程の一部改正の報告承認について 審議第23号 評議員会の開催について	
第4回	3/16	審議第24号 表彰規程の一部改正の報告承認について 審議第25号 契約職員就業規程の一部改正について 審議第26号 パートタイム職員就業規程の一部改正について 審議第27号 評議員候補者の推薦及び解任について 審議第28号 評議員選任解任委員会の開催について 審議第29号 令和2（2020）年度 事業計画について 審議第30号 令和2（2020）年度 予算について 審議第31号 評議員会の開催について	

	2) 評議員会												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>6/25</td> <td>評議員選任・解任委員会の開催ならびに評議員の退任及び選任の報告について 議案第1号 平成30年度 事業報告について 議案第2号 平成30年度 決算報告ならびに監査報告について 議案第3号 社会福祉充実残額の承認について 議案第4号 事務局規程の一部改正の報告承認について 議案第5号 給与規程の一部改正について 議案第6号 役員(理事・監事)候補者の承認について</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>11/25</td> <td>議案第7号 令和元年度 上半期事業報告について 議案第8号 令和元年度 上半期決算報告ならびに監査報告について 議案第9号 令和元年度 第一次補正予算の報告承認について 議案第10号 再雇用職員取扱要綱の制定の報告承認について 議案第11号 服務規程の一部改正の報告承認について 議案第12号 契約職員就業規程の一部改正の報告承認について 議案第13号 パートタイム就業規程の一部改正の報告承認について</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>中止</td> <td>新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、3/16開催の理事会において、3月開催の評議員会については中止、書面決議とすることが決定された。</td> </tr> </tbody> </table>		実施日	内容	第1回	6/25	評議員選任・解任委員会の開催ならびに評議員の退任及び選任の報告について 議案第1号 平成30年度 事業報告について 議案第2号 平成30年度 決算報告ならびに監査報告について 議案第3号 社会福祉充実残額の承認について 議案第4号 事務局規程の一部改正の報告承認について 議案第5号 給与規程の一部改正について 議案第6号 役員(理事・監事)候補者の承認について	第2回	11/25	議案第7号 令和元年度 上半期事業報告について 議案第8号 令和元年度 上半期決算報告ならびに監査報告について 議案第9号 令和元年度 第一次補正予算の報告承認について 議案第10号 再雇用職員取扱要綱の制定の報告承認について 議案第11号 服務規程の一部改正の報告承認について 議案第12号 契約職員就業規程の一部改正の報告承認について 議案第13号 パートタイム就業規程の一部改正の報告承認について	第3回	中止	新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、3/16開催の理事会において、3月開催の評議員会については中止、書面決議とすることが決定された。
	実施日	内容											
第1回	6/25	評議員選任・解任委員会の開催ならびに評議員の退任及び選任の報告について 議案第1号 平成30年度 事業報告について 議案第2号 平成30年度 決算報告ならびに監査報告について 議案第3号 社会福祉充実残額の承認について 議案第4号 事務局規程の一部改正の報告承認について 議案第5号 給与規程の一部改正について 議案第6号 役員(理事・監事)候補者の承認について											
第2回	11/25	議案第7号 令和元年度 上半期事業報告について 議案第8号 令和元年度 上半期決算報告ならびに監査報告について 議案第9号 令和元年度 第一次補正予算の報告承認について 議案第10号 再雇用職員取扱要綱の制定の報告承認について 議案第11号 服務規程の一部改正の報告承認について 議案第12号 契約職員就業規程の一部改正の報告承認について 議案第13号 パートタイム就業規程の一部改正の報告承認について											
第3回	中止	新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、3/16開催の理事会において、3月開催の評議員会については中止、書面決議とすることが決定された。											
	3) 経営会議 12回開催												
	4) 内部監査(監査) ①平成30年度決算監査 5/20(月) ②令和元年度中間決算監査 10/26(木)												
事業内容	2. 評議員選任・解任委員会の開催												
実績報告	3回(6/10, 11/1, 3/16)												
事業内容	3. 理事・監事の選任(改選)												
実績報告	理事・監事の任期終期が平成31年(令和元年)6月の定時評議員会までだったことから、今年度の定時評議員会において改選を行った。												
事業内容	4. 福祉サービスに関する苦情申出窓口の設置												
実績報告	1) 苦情解決第三者委員 林 幹高 氏(NPO法人福祉カフェテリア理事長) 安西 清 氏(保護司) 斎藤一郎 氏(前日野市民生児童委員) 2) 苦情申立件数 なし												
事業内容	5. 第5次日野市地域福祉活動計画の策定のための検討												
実績報告	令和2年度の策定に向けて策定スケジュールや委員の選出、市民ニーズ調査における設問項目との検討を図った。												
事業内容	6. 日野市内社会福祉法人ネットワーク												
実績報告	社会福祉法の改正(平成28年3月制定)により社会福祉法人の求められる「地域公益活動」等について法人同士の連携を図っていくことを目的に、日野市内社会福祉法人ネットワークを設置した。事務局は日野市社会福祉協議会総務係とする。												

1) 幹事 (順不同敬称略)

代表 平井 寛 (社会福祉法人東京緑新会 多摩療護園)
 浅野 大輔 (社会福祉法人夢ふうせん 工房夢ふうせん)
 吉雷 正敏 (社会福祉法人吹上会 吹上保育園)
 長谷川育代 (社会福祉法人至誠学舎立川 万願寺保育園)
 神田 耕治 (社会福祉法人友遊の家 友遊ケアセンター)
 ※五十嵐淳一 (社会福祉法人寿優和会 あすなろ)
 令和元年12月末まで (法人都合による退任)
 ※古谷 晋 (社会福祉法人マザアス マザアス日野)
 令和2年1月から
 奥住日出男 (社会福祉法人日野市社会福祉協議会)

2) 幹事会の開催 4回 (5/9, 8/20, 11/13, 1/23)

3) 参加法人 (34法人)

	法人名
保育	吹上会・至誠学舎立川・栄光会・ねぐるみ会・つくしんぼ保育園・わかば福祉会・菊美会・のぎく会 ・健生会★・貴静会★・清心福祉会★
高齢	マザアス・友遊の家・大家族・博泉会・隆山會・三多摩福祉会・緑樹会・にんじんの会・創隣会・寿優和会 ・あかつき★
障害	東京緑新会・夢ふうせん・東京光の家・おおぞら・幹福祉会 すずかけの会・日野青い鳥福祉会・東京都社会福祉事業団 日野市民たんぱぽの会
その他	二葉保育園・雲柱社
地域	日野市社会福祉協議会 (事務局)

※ ★は新規法人

3) 実施した取り組み・活動

①日野市民でつくる防災・減災シンポジウム (共催)

日時 8/10 (土)

ネットワーク参加法人数 6法人11人 (実行委員 6法人9人)

②みんなといっしょの運動会 (参加・運営協力)

日時 10/6 (日)

ネットワーク参加法人数 7法人14人

・友遊の家・おおぞら・創隣会・あおとり日野・東京緑新会
 ・雲柱社・至誠学舎立川

③地区別意見交換会 (主催)

平成30年度より4つの圏域ごとに、社会福祉法人施設の人事交流や若手職員
 の育成を目的に意見交換会を実施、今年度ひの地区を開催し全地区での開
 催を終了した。

A. ひの地区意見交換会

日時 10/1 (金) 15:30~17:15

場所 高齢者総合施設マザアス日野IF コミュニティスペース

参加 6法人9施設

	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホームマザアス日野・地域包括支援センター多摩川苑 ・高齢者在宅サービスマザアス多摩川苑・万願寺保育園 ・至誠ひの宿保育園・日野第二保育園・日野駅前かわせみ保育園 ・子どもの森あさかわ保育園・日野市社会福祉協議会 <p>④第34回福祉のつどい（共催） ※新型コロナウイルス感染拡大のため、第二部シンポジウムは中止</p> <p>第二部 地域共生社会を考えるシンポジウム ～日野市障害者差別解消推進条例を控えて～ 「いつまでもこの日野（まち）で暮らしていきたいから」 日時 2/22（土）10：00～12：15 場所 日野市民会館小ホール</p> <p>⑤障害児者の移動支援従事者育成のための取り組み 明星大学人文学部福祉実践学科1,2年「地域ニーズ」での講義 日時 10/16（水） 場所 明星大学28号館4階405室 内容 障害児（者）の余暇活動（移動支援）の人材不足の現状と福祉教育の一環とする大学生による移動支援従事者としての活動の提案について</p> <p>⑥フードパントリーへの協力（令和元年11月1日から）</p> <p>⑦社会福祉法人活用ガイドブックの更新（令和2年3月発行）</p>
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度はこれまでネットワーク活動（協力・共催事業含む）として行ってきた取り組みに加え、同じ課題意識を持つ法人等で新たな活動の取り組みを行い、施設交流・広報・防災・人材育成・貧困対策と課題の幅が広がり始めている。 ・明星大学と連携し行った障害児者の余暇活動支援のための移動支援従事者育成は、受講した大学生から好評であった。特に当事者の事例発表や同年代の現場職員の話では、障害児者や福祉従事者への親近感等を強く感じてもらった。明星大学より今後のゲストスピーチの依頼を受け、更なる連携構築に努めていく。 ・明星大学での講義では、好評を得る一方、実際に関心を示した学生への案内紹介方法が定まっておらず、学生の地域活動にうまくつなげられなかったことが反省点としてあげられる。 ・地区別意見交換会が全地区終了した。30年度に参加した法人職員より、定期的な開催を望む声もいただき、今後の組み立てをどうするか検討する必要がある。 ・11月より開始したNPO法人フードバンクTAMAが実施するフードパントリー事業（日野市セーフティネットコールセンター補助事業）では、希望者の身近な施設での受け渡しができるよう社協を含む3つの社会福祉法人・施設による協力を行い、貧困対策へ取り組み始めた。新型コロナウイルス感染拡大により経済活動が大きく減退し、3月後半から需要が急増している。

事業内容	7. 日野市を始めとする関係委員会等への委員協力
実績報告	<p>日野市等が行う関係する委員会等に選出（推薦）し、日野市の地域福祉活動等の連携を深めるとともに情報共有を図る。</p> <p>（会長）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 東京都社会福祉協議会 区市町村社会福祉協議会部会 評議員会 2. 南多摩保健所協議会 3. （社福）東京都共同募金会評議員会 4. （社福）東京緑新会理事会 5. （社福）おおぞら評議員会 6. 日野台高等学校 防災教育推進委員会 7. 日野台高等学校 学校運営連絡協議会 8. ふだん着でCO2をへらそう実行委員会 9. 日野市社会教育センター運営委員会 <p>（職員）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日野市地域福祉計画策定委員会（事務局長） 2. 日野市地域福祉計画推進委員会（事務次長） 3. 日野市子ども家庭支援ネットワーク連絡協議会（事務局長） 4. 日野市介護保険運営協議会等（地域支援係） 5. 日野市生活困窮者自立支援相談事業支援調整会議（地域支援係） 6. 日野市住宅ストック活用推進協議会（ボランティア係） 7. 東京オリンピック・パラリンピック関係委員会（ボランティア係） 8. 日野市居住支援協議会（総務係） 9. 日野市献血推進協議会（事務局長） 10. 日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進協議会（事務局長） 11. 日野高等学校運営連絡協議会（事務次長） 12. 日野消防署住宅防火防災対策推進協議会（事務局長） 13. 地域力強化推進事業 支援ネットワーク委員会（地域支援係） 14. 日野・多摩・稲城地区保護司会 保護司候補者検討協議会（事務次長） 15. 日野わーく・わーく会議（在宅サービス係） 16. 日野市障害者就業支援連絡会（在宅サービス係） 17. 地域自立支援協議会（ボランティア係）

事業内容	8. 社会福祉協議会会員会費の拡充・啓発															
実績報告	<p>財源確保のため、関係団体（日野市商工会・日野市民生児童委員・日野市老人クラブ連合会・自治会・日野市職員）をはじめ地域へ協力依頼を行った。</p> <p>1) 実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>合計 (件数)</th> <th>内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RI 年度</td> <td>3,692,550円 (931件)</td> <td>個人 832,940円 (408件) 特別 475,000円 (137件) 団体 2,384,610円 (386件)</td> </tr> <tr> <td>30 年度</td> <td>3,845,372円 (977件)</td> <td>個人 577,500円 (460件) 特別 495,000円 (145件) 団体 2,772,872円 (372件)</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 寄附金実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>合計額 (件数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RI 年度</td> <td>経常区分 7,166,941円 (109件)</td> </tr> <tr> <td>30 年度</td> <td>経常区分 2,647,695円 (101件)</td> </tr> </tbody> </table>		合計 (件数)	内訳	RI 年度	3,692,550円 (931件)	個人 832,940円 (408件) 特別 475,000円 (137件) 団体 2,384,610円 (386件)	30 年度	3,845,372円 (977件)	個人 577,500円 (460件) 特別 495,000円 (145件) 団体 2,772,872円 (372件)		合計額 (件数)	RI 年度	経常区分 7,166,941円 (109件)	30 年度	経常区分 2,647,695円 (101件)
	合計 (件数)	内訳														
RI 年度	3,692,550円 (931件)	個人 832,940円 (408件) 特別 475,000円 (137件) 団体 2,384,610円 (386件)														
30 年度	3,845,372円 (977件)	個人 577,500円 (460件) 特別 495,000円 (145件) 団体 2,772,872円 (372件)														
	合計額 (件数)															
RI 年度	経常区分 7,166,941円 (109件)															
30 年度	経常区分 2,647,695円 (101件)															
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・民生児童委員協議会や自治会、福祉関係団体等に会員会費の協力の呼び掛けを行ったが、減少・減収となった。 ・寄附金件数は大口の寄附（1件）があったことにより大幅に増額した。 ・頻発する大規模災害等により地域活動への寄附以上に災害義援金に関心が高い傾向にあり、地域福祉活動等への関心を高められるよう努めていきたい。 															
事業内容	9. 地域福祉活動推進のための自己財源や共同募金の確保															
実績報告	ひの社協だより等の広報紙を使い、会費や共同募金の周知に努めた。															
事業内容	10. 第35回福祉のつどい															
実績報告	<p>「第35回福祉のつどい」は、第1部にて社会福祉向上に貢献された方を表彰式を開催。</p> <p>1) 日時及び場所 令和2年2月23日（土）10:00～11:00 ひの煉瓦ホール小ホール</p> <p>2) 内容</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>第1部</td> <td> 1. 表彰式 表彰状・感謝状贈呈式 受賞者 27人（表彰状13人/感謝状14人） 受賞者挨拶 平出實さん（日野市老人クラブ連合会） ※以降、中止 2. 合唱 あおいとり日野 日野市民生・児童委員合唱団「かしの木」 </td> </tr> <tr> <td>第2部</td> <td> 地域共生社会を考えるシンポジウム ・ ・ 日野市障害者差別解消推進条例施行を控えて ・ ・ 「この日野（まち）で暮らしていきたいから」 パネリスト① 藤田博文 さん 【車いす利用者】 （自立生活センター日野・社会福祉法人 サポート日野） ※日野市障害者差別解消推進条例策定検討委員会 委員長 </td> </tr> </tbody> </table>	第1部	1. 表彰式 表彰状・感謝状贈呈式 受賞者 27人（表彰状13人/感謝状14人） 受賞者挨拶 平出實さん（日野市老人クラブ連合会） ※以降、中止 2. 合唱 あおいとり日野 日野市民生・児童委員合唱団「かしの木」	第2部	地域共生社会を考えるシンポジウム ・ ・ 日野市障害者差別解消推進条例施行を控えて ・ ・ 「この日野（まち）で暮らしていきたいから」 パネリスト① 藤田博文 さん 【車いす利用者】 （自立生活センター日野・社会福祉法人 サポート日野） ※日野市障害者差別解消推進条例策定検討委員会 委員長											
第1部	1. 表彰式 表彰状・感謝状贈呈式 受賞者 27人（表彰状13人/感謝状14人） 受賞者挨拶 平出實さん（日野市老人クラブ連合会） ※以降、中止 2. 合唱 あおいとり日野 日野市民生・児童委員合唱団「かしの木」															
第2部	地域共生社会を考えるシンポジウム ・ ・ 日野市障害者差別解消推進条例施行を控えて ・ ・ 「この日野（まち）で暮らしていきたいから」 パネリスト① 藤田博文 さん 【車いす利用者】 （自立生活センター日野・社会福祉法人 サポート日野） ※日野市障害者差別解消推進条例策定検討委員会 委員長															

	<p>パネリスト② 堀場照美 さん 【聴覚障害者】 (日野市聴覚障害者協会)</p> <p>パネリスト③ 菊地美由紀 さん 【視覚障害者】 (社会福祉法人東京光の家 職員)</p> <p>ーパネリストによるトークセッションー ファシリテーター 妹尾和美 氏 (明星大学人文学部福祉実践学科教授)</p>						
	<p>3) 表彰審議委員会</p> <table border="1" data-bbox="440 495 1394 622"> <thead> <tr> <th>日程</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1/21</td> <td>推薦候補者等の結果報告・受賞者の決定 出席 理事3人・事務局</td> </tr> </tbody> </table> <p>4) 表彰者の推薦団体 (7団体)</p> <p>日野市老人クラブ連合会/日野市赤十字奉仕団/(NPO 法人ひの市民活動ネットワーク/社会福祉法人マザアス/社会福祉法人隆山會/社会福祉法人東京光の家/日野市社会福祉協議会 (日野市ボランティア・センター)</p>	日程	内容	1/21	推薦候補者等の結果報告・受賞者の決定 出席 理事3人・事務局		
日程	内容						
1/21	推薦候補者等の結果報告・受賞者の決定 出席 理事3人・事務局						
<p>事業効果・評価 方向性等</p>	<p>・新型コロナウイルス感染拡大により表彰式のみ開催、それ以降の合唱・シンポジウムは中止とした。</p>						
<p>事業内容</p>	<p>11. 広報活動の工夫</p>						
<p>実績報告</p>	<p>1) 広報紙「ひの社協だより」 No234 (6月9日発行) 45,000部 主な記事 体験ボランティア、福祉のしごと見学会 No235 (9月8日発行) 45,000部 主な記事 福祉のしごと相談面接会、赤い羽根共同募金運動 No236 (11月10日発行) 45,000部 主な記事 歳末たすけあいツバザ、歳末たすけあい運動 No237 (2月9日発行) 45,000部 主な記事 福祉のつどい、活動協力者説明会</p> <p>2) 広報紙「ひの社協タイムス」 Vol.10 (R1.6月号) 1,000部 主な記事 社会福祉法人ネットワーク活動、おしゃべりサロン</p> <p>3) 活動協力者説明会 日野市社会福祉協議会の事業案内を行うとともに、各係における協力者募集のため、ブースごとに分かれて説明会を行った。</p> <table border="1" data-bbox="440 1675 1394 1928"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2/19</td> <td>事業説明・懇談 ・ケアサービス事業 (在宅サービス係) ・ハンディキャブ事業 (地域支援係) ・地域福祉権利擁護事業 (権利擁護係) ・ボランティア活動 (ボランティア係)</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	内容	参加者	2/19	事業説明・懇談 ・ケアサービス事業 (在宅サービス係) ・ハンディキャブ事業 (地域支援係) ・地域福祉権利擁護事業 (権利擁護係) ・ボランティア活動 (ボランティア係)	2人
開催日	内容	参加者					
2/19	事業説明・懇談 ・ケアサービス事業 (在宅サービス係) ・ハンディキャブ事業 (地域支援係) ・地域福祉権利擁護事業 (権利擁護係) ・ボランティア活動 (ボランティア係)	2人					

事業内容	12. 事務局体制の整備・職員の資質向上
実績報告	<p>①職員会議 11回</p> <p>②東京都や東京都社会福祉協議会等主催の各事業における研修参加を通じて、職員の資質向上に努める。</p> <p>■総務係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活福祉資金新任職員研修会 ・生活福祉資金実務者研修会 ・生活福祉資金担当職員研修会 ・関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会 ・地域福祉の推進に向けたシンポジウム ・手話通訳等派遣コーディネート担当者研修 ・フードパントリーに関する研修 ・都内社協職員連絡会研修 ・地域ネットワーク化に関する区市町村社協情報交換会 <p>■地域支援係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京マイタイムライン講習 ・都内区市町村社協職員基礎研修 ・支えあいをひろげる住民主体の生活支援フォーラム ・生活支援コーディネーター研究協議会 <p>■ボランティア係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全運転管理者講習 ・東京マイタイムライン講習 ・首都直下地震時の災害ボランティア活動2020 連携ワークショップ <p>■権利擁護係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度推進機関フォローアップ研修 ・地域福祉権利擁護事業専門員研修 ・精神保健福祉研修 ・虐待防止研修応用編 ・就労支援研修 ・成年後見制度利用促進体制整備研修 基礎研修・応用研修 <p>■在宅サービス係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトリーチ支援研修 ・コーディネーター学習会 ・スーパービジョン研修 ・介護サービス事業者支援研修会 ・講習会「看取り介護の技術（第1回）」 <p>■しごとサポートひの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任職員研修 ・アクティブ職員研修

	③都内社協職員連絡会、南多摩ブロック職員会の会、局長会等の研修を活用して、職員の資質向上に努める。																																								
事業内容	13. 部会活動																																								
実績報告	<p>1) 障害者施設職員交流会部会 9回 障害者施設職員同士の情報交換および交流の場として、月1回部会を開催。他施設の見学や勉強会を通して障害者支援の技術や能力の向上、ひいては障害者福祉の発展を目指している。 3月の部会は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>会場</th> <th>内容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/19</td> <td>ふらっと・すずかけ</td> <td>施設見学、情報交換</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>5/24</td> <td>七生福祉園</td> <td>施設見学、情報交換</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>6/21</td> <td>中央福祉センター</td> <td>情報交換</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>7/12</td> <td>夢ふうせん</td> <td>「注目行動」の対応事例検討</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>9/13</td> <td>中央福祉センター</td> <td>情報交換</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>10/25</td> <td>こみっと&アルテ</td> <td>施設見学、情報交換</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>11/22</td> <td>中央福祉センター</td> <td>台風19号時の対応に関する情報共有</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>1/31</td> <td>中央福祉センター</td> <td>情報交換、研修内容の検討</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>2/21</td> <td>すずかけの家</td> <td>施設見学、情報交換</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table>	日時	会場	内容	参加人数	4/19	ふらっと・すずかけ	施設見学、情報交換	11人	5/24	七生福祉園	施設見学、情報交換	16人	6/21	中央福祉センター	情報交換	11人	7/12	夢ふうせん	「注目行動」の対応事例検討	12人	9/13	中央福祉センター	情報交換	5人	10/25	こみっと&アルテ	施設見学、情報交換	12人	11/22	中央福祉センター	台風19号時の対応に関する情報共有	9人	1/31	中央福祉センター	情報交換、研修内容の検討	6人	2/21	すずかけの家	施設見学、情報交換	10人
	日時	会場	内容	参加人数																																					
	4/19	ふらっと・すずかけ	施設見学、情報交換	11人																																					
	5/24	七生福祉園	施設見学、情報交換	16人																																					
	6/21	中央福祉センター	情報交換	11人																																					
	7/12	夢ふうせん	「注目行動」の対応事例検討	12人																																					
	9/13	中央福祉センター	情報交換	5人																																					
	10/25	こみっと&アルテ	施設見学、情報交換	12人																																					
	11/22	中央福祉センター	台風19号時の対応に関する情報共有	9人																																					
	1/31	中央福祉センター	情報交換、研修内容の検討	6人																																					
	2/21	すずかけの家	施設見学、情報交換	10人																																					
		<p>2) 児童部会 地域子ども会経験者等レクリエーションに長けた方が指導者となって、市内の児童福祉事業に協力する。</p> <p>①会議 1回 (9/10)</p> <p>②各種イベントへの参加</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>活動参加イベント</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8/10</td> <td>日野市民でつくる 防災・減災シンポジウム</td> <td>実践女子大</td> </tr> <tr> <td>10/5</td> <td>日野市総合防災訓練</td> <td>七生緑小</td> </tr> <tr> <td>10/6</td> <td>第21回みんなといっしょの運動会</td> <td>日野市市民の森 ふれあいホール</td> </tr> <tr> <td>10/14</td> <td>スポーツレクリエーションフェスティバル</td> <td>市民の森 スポーツ公園</td> </tr> <tr> <td>12/1</td> <td>歳末たすけあいバザー 模擬店担当</td> <td>中央福祉センター</td> </tr> <tr> <td>12/18</td> <td>災害ボランティアセンター立ち上げ訓練</td> <td>市民会館展示室</td> </tr> </tbody> </table>	開催日	活動参加イベント	場所	8/10	日野市民でつくる 防災・減災シンポジウム	実践女子大	10/5	日野市総合防災訓練	七生緑小	10/6	第21回みんなといっしょの運動会	日野市市民の森 ふれあいホール	10/14	スポーツレクリエーションフェスティバル	市民の森 スポーツ公園	12/1	歳末たすけあいバザー 模擬店担当	中央福祉センター	12/18	災害ボランティアセンター立ち上げ訓練	市民会館展示室																		
	開催日	活動参加イベント	場所																																						
8/10	日野市民でつくる 防災・減災シンポジウム	実践女子大																																							
10/5	日野市総合防災訓練	七生緑小																																							
10/6	第21回みんなといっしょの運動会	日野市市民の森 ふれあいホール																																							
10/14	スポーツレクリエーションフェスティバル	市民の森 スポーツ公園																																							
12/1	歳末たすけあいバザー 模擬店担当	中央福祉センター																																							
12/18	災害ボランティアセンター立ち上げ訓練	市民会館展示室																																							
事業効果・評価 方向性等	<p>障害者施設職員交流会部会 ・他施設を見学する機会が少ないためか、施設見学の回は多くの参加者が集まった。今後も感染症の予防と対処方法やストレスマネジメントについての研修など、参加者の希望を踏まえた企画を考えていきたい。</p> <p>児童部会 ・日野市子ども会連合会時代より継続で行っていた市内の小・中学校でのイベント協力は、四小、八小、二中の三校のみになり、子育て関係の会などが主体</p>																																								

的に開催することが出来るようになった。児童部会が主導で行うこともなくなり、学校単位の独自開催により地域の連携が深まるというメリットもあるので、今後は協力をしないということを決定した。

- ・ 今後は、普段から育成会等で小・中学校とは関係がある経験を活かし、学校で開催される福祉体験講座の協力員として活動してもらおう。また、実際避難所が開設された際に、児童部会員が運営に大きく関わってくれた実績もあるので、市内各所で開催される防災講座のサポーターとして活動を広げてもらおう。
- ・ 避難所が開設され長期に渡るような場合には、子どものストレス解消のため遊びを提供する、子どもたちとのキャンプの経験から子どもたちに役割を持たせて、避難所生活を過ごしてもらいリーダーとしての活動を期待したい。

公益事業拠点区分

福祉センター管理事業

事業名	日野市立中央福祉センターの管理運営					
事業形態	指定管理者制度（平成29年4月1日～令和3年3月31日）					
財源内訳	受託金（指定管理料）					
担当係	総務係					
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ					
目的	各種福祉団体の連絡・調整し、社会福祉の啓発や市民の健康増進、地域福祉の推進等を図るとともに、利用者の安全に利用できるよう施設運営に努める。					
事業内容	1. 快適な施設利用への配慮、安全かつ効率的な施設運営					
実績報告	1) 施設概要 開館日 火曜日～日曜日 ※こどもの日を除く祝日は休館 入浴事業 火・木曜日 10:00～15:00					
	2) 利用実績					
		利用者			入浴事業利用者	
		開館日数	利用団体数	利用者数	日数	計
	RI年度	274日	2,319団体	36,743人	88日	2,260人
30年度	301日	2,653団体	43,185人	100日	3,464人	
3) 施設管理に関わる保守委託業務 ①館内清掃 ②空調設備 ③自動扉 ④階段昇降機 ⑤ヘルストロン ⑥消防用設備 ⑦夜間警備						
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕工事（電気・排水・壁補修・防火設備等）を7件行い、施設の安全管理に努めた。 ・センター入浴事業が今年度をもって廃止となった。廃止にあたり事前に入浴利用者の現状把握のための日野市高齢福祉課とともにアンケート調査を実施し、利用者の入浴設備等の確認と廃止後の対応について相談・支援を行った。 ・3月5日より新型コロナウイルス感染症拡大により施設を閉館としたため、利用者数は大幅に減少した。 					

高齢者就業創出支援事業

事業名	しごとサポートひの																		
事業形態	補助事業																		
財源内訳	補助金、繰越金																		
担当係	しごとサポートひの																		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ																		
目的	高齢者の就労機会の創出、社会参加の機会を促進する。																		
事業内容	1. 利用者の拡大・広報周知																		
実績報告	市内運行ミニバス内に掲示、市広報、社協だより、チラシ作成・配布等を通して事業案内を幅広くPRして利用者の拡大を図った。																		
		新規	再来	閲覧・相談	紹介	就職													
	RI年度	453人	793人	75人	218件	45人													
	30年度	420人	757人	124人	178件	67人													
	<p><就職先職種> 事務1人、受付事務3人、販売2人、接客1人、調理補助4人、清掃12人、保育士1人、箱詰3人、運転3人、生活支援員1名、介護5人、駐車場管理1人、警備3人、その他の労務5人</p> <p><就職者年齢別内訳></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>50歳～64歳</th> <th>65歳～69歳</th> <th>70歳～74歳</th> <th>75歳以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RI年度</td> <td>18人</td> <td>15人</td> <td>11人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>20人</td> <td>26人</td> <td>16人</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table>						50歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上	RI年度	18人	15人	11人	1人	30年度	20人	26人	16人
	50歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳以上															
RI年度	18人	15人	11人	1人															
30年度	20人	26人	16人	5人															
事業内容	2. 求人事業所への積極的な開拓																		
実績報告	自所受求人件数1,410件、自所受求人延人数3,956人																		
事業効果・評価方向性等	就業先の確保、拡大にむけて有料広告からの情報を得て事業所に直接交渉を行い求人情報を得ることができた。面接会参加事業所への周知を図り、自所受求人件数の増加に繋がった。																		
事業内容	3. 高齢者就業支援セミナー・イベント																		
報告	<高齢者の就業支援・スキルアップ>																		
	今年度は新規求職者、就職者アップ、周知を目的に「セミナー」1回実施、「しごとシニアEXPO」「シニア就業支援キャラバン」に参加。																		
	開催日	内容	会場	参加者															
	10/3	セミナー 「無理をしない就職の仕方」 講師 菊地克幸氏(1級キャリア アコンサルティング技能士)	日野市 生活保健センター <共催>日野市 (公財)東京しごと財団	45人															
	10/23	しごとシニアEXPO	パレスホテル立川	総来場者 198人															
2/13	シニアお仕事フェア	国立市商業協同 組合さくらホール	総来場者 73人																
なお、下記については、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い開催中止となった。																			

	開催日	内容	会場	参加者
	3/5	地域就職面接会	立川 グランドホテル	—
	3/28	セミナー	多摩平の森産業 連携センターPLANT	—
事業効果・評価 方向性等	<p>【セミナー】 受講者からは「内容が豊富」「視野を広げる」「生き方を考える」等、参加者全員の方から参考になった。と良い評価をいただいた。</p> <p>【面接会】 東京都主催のイベントに相談員として参加。新規求職登録者を増やしアクティブの活動PRができた。東京都産業労働局、東京しごと財団、各アクティブが協力運営できたことに意義があった。高齢者就業機会の拡大が図れた。</p>			

収益事業拠点区分

事業名	自動販売機設置等管理事業																			
財源内訳	手数料、利用料																			
担当係	総務係																			
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ																			
目的	公共施設に自動販売機や中央福祉センター内に印刷機等を貸し出し、施設の利便性の向上を図るとともに、社会福祉事業における財源確保に努める。																			
事業内容	1. 自主財源の確保																			
実績報告	<p>1) 実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>台数</th> <th>ロケマージン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RI 年度</td> <td>23台</td> <td>6,620,457円</td> </tr> <tr> <td>30 年度</td> <td>29台</td> <td>6,911,953円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 設置場所 13ヶ所 (台数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日野市役所1階 (5) ・クリーンセンター (2) ・福祉支援センター (1) ・中央福祉センター (2) ・生活・保健センター (1) ・ひの煉瓦ホール (4) ・中央公民館 (1) ・教育センター (1) ・勤労・青年会館 (1) ・ふるさと歴史館 (2) ・百草コミュニティセンター (1) ・PlanT (多摩平の森産業連携センター) (1) ・日野市役所工事現場事務所 (1) <p>印刷機等の貸出</p> <p>1) 実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>利用料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RI 年度</td> <td>75件</td> <td>118,006円</td> </tr> <tr> <td>30 年度</td> <td>88件</td> <td>137,281円</td> </tr> </tbody> </table>			台数	ロケマージン	RI 年度	23台	6,620,457円	30 年度	29台	6,911,953円		件数	利用料	RI 年度	75件	118,006円	30 年度	88件	137,281円
	台数	ロケマージン																		
RI 年度	23台	6,620,457円																		
30 年度	29台	6,911,953円																		
	件数	利用料																		
RI 年度	75件	118,006円																		
30 年度	88件	137,281円																		
事業効果・評価方向性等	<p>・南平体育館の建て替えに工事に伴う自動販売機撤去 (令和元年12月) ならびに新型コロナウイルス感染症拡大により設置施設の閉館に伴い、ロケマージンが大幅に減少したことにより自主財源の減額に大きく影響し、施設閉館の期間によっては今後更なる減収につながる事が予想される。</p>																			

事業名	日野市役所内売店の運営										
事業形態	収益事業										
財源内訳	売上金、繰越金										
担当係	総務係・日野市役所内売店										
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ										
目的	日野市役所内売店を運営し、市役所の利便性の向上を図るとともに、社会福祉事業における財源確保に努める。										
事業内容	1. 障害者の社会参加の促進										
実績報告	品出し・販売業務補助委託：社会福祉法人青い鳥福祉会 訓練生（障害者）：1人										
事業内容	2. 運営概要										
実績報告	1) 運営概要 営業日時 月～金曜日（9:30～16:30） ※祝日・年末年始を除く 従業員 管理責任者1人、補助職員2人										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>売上</th> <th>商品残高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RI 年度</td> <td>22,027,353円</td> <td>2,076,527円</td> </tr> <tr> <td>30 年度</td> <td>22,151,246円</td> <td>1,749,033円</td> </tr> </tbody> </table>		売上	商品残高	RI 年度	22,027,353円	2,076,527円	30 年度	22,151,246円	1,749,033円
		売上	商品残高								
	RI 年度	22,027,353円	2,076,527円								
30 年度	22,151,246円	1,749,033円									
	2) 障害者の社会参加・実習指導 品出し・販売業務補助委託：社会福祉法人青い鳥福祉会 訓練生（障害者）：1人										
事業効果・評価方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 市役所耐震工事等による来庁者の減少、近隣のコンビニエンスストアの出店等により依然として経営は厳しい現状が続いている。今後の経営について、市役所等に継続的に働きかける必要がある。 障害者の社会参加の機会として実習活動を行っているが、施設による利用者（当事者）の派遣が難しくなっており、今年度より1人週3日と派遣人数・回数を縮小した。 										

共同募金運動

赤い羽根共同募金運動

事業名	東京都共同募金会 日野地区協力会（募金業務）		
事業形態	赤い羽根共同募金運動（共同募金運動）		
財源内訳	地区協力会事務費		
担当係	総務係		
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ		
目的	東京都共同募金会日野地区協力会事務局として、日野地区における赤い羽根共同募金運動の普及・啓発に努め、社会福祉施設が行う事業の助成金として活用し、東京都ならびに日野市の社会福祉事業の推進を図る。		
事業内容	1. 多様な方法による募金の普及・拡大 東京都共同募金会日野地区協力会として、日野地区における赤い羽根共同募金運動（10/1～12/27）を展開し、市民へ協力を呼びかけた。		
実績報告	1) 募金実績		
		募金額	内訳
	RI年度	2,871,020円	地区募金 1,314,156円 街頭募金 1,003,653円 自動販売機 553,211円
	30年度	2,451,684円	地区募金 1,027,556円 街頭募金 663,696円 自動販売機 760,432円
	2) 街頭募金活動		
	①活動回数 15回		
	②協力団体 13団体（順不同）		
	<ul style="list-style-type: none"> ・日野市赤十字奉仕団 ・ボーイスカウト日野第4団 ・日野市少年軟式野球連盟 ・東京日野リトルリーグ ・プリメイロスFC ・豊田小学校（みんな幸せ募金隊） ・日野第一中学校ボランティア部 ・大坂上中学校演劇部 ・すずかけの家 ・ふらっとすずかけ ・あおとり日野 ・夢ふうせん ・日野市社会福祉協議会,有志ボランティア 		
	3) 赤い羽根共同募金へ寄附する自動販売機設置		
	①協賛企業 4社		
	<ul style="list-style-type: none"> ・東京キリンビバレッジサービス(株)・(株)伊藤園 ・サントリービバレッジサービス(株)・FVイーストジャパン(株) 		
	②日野市社会福祉協議会による設置 10ヶ所		
	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩平の森産業連携センターPlanT ・日野市役所 ・福祉支援センター ・クリーンセンター ・南平体育館 ・中央福祉センター ・中央公民館 ・百草台コミュニティセンター ・クリーンセンター工事現場 ・日野市役所工事現場 		
	③他団体による設置協力 3ヶ所		
	<ul style="list-style-type: none"> ・日野市市民の森ふれあいホール ・パチンコRAMO ・日野市立病院 		

	4) 関係部署窓口において募金受付 日野市役所福祉政策課、七生支所 日野事務所、高幡事務所、日野市役所売店								
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 募金実績が40万円以上増額した。 街頭募金活動では、小中学生を初め街頭募金ボランティアが市内主要駅頭等で募金を呼びかけ、実績額が格段に増加した。 								
事業内容	2. 広報啓発活動								
実績報告	<p>1) 共同募金の事前説明会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日程</th> <th>団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9/12</td> <td>日野市立豊田小学校6年2組「みんな幸せ募金隊」</td> </tr> <tr> <td>9/18</td> <td>東京日野リトルリーグ</td> </tr> <tr> <td>9/20</td> <td>日野市少年軟式野球連盟</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ①日野市内自治会に対し、日野地区協力会作成の独自チラシを配布 ②ひの社協だよりへ掲載 	日程	団体	9/12	日野市立豊田小学校6年2組「みんな幸せ募金隊」	9/18	東京日野リトルリーグ	9/20	日野市少年軟式野球連盟
日程	団体								
9/12	日野市立豊田小学校6年2組「みんな幸せ募金隊」								
9/18	東京日野リトルリーグ								
9/20	日野市少年軟式野球連盟								
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 街頭募金ボランティアに協力予定の児童や団体に共同募金の使われ方等の説明を行い、募金の仕組みを知り積極的に関わってもらえるようにした。 児童に対し説明を行うことで、福祉教育の一環を担うことができた。 								

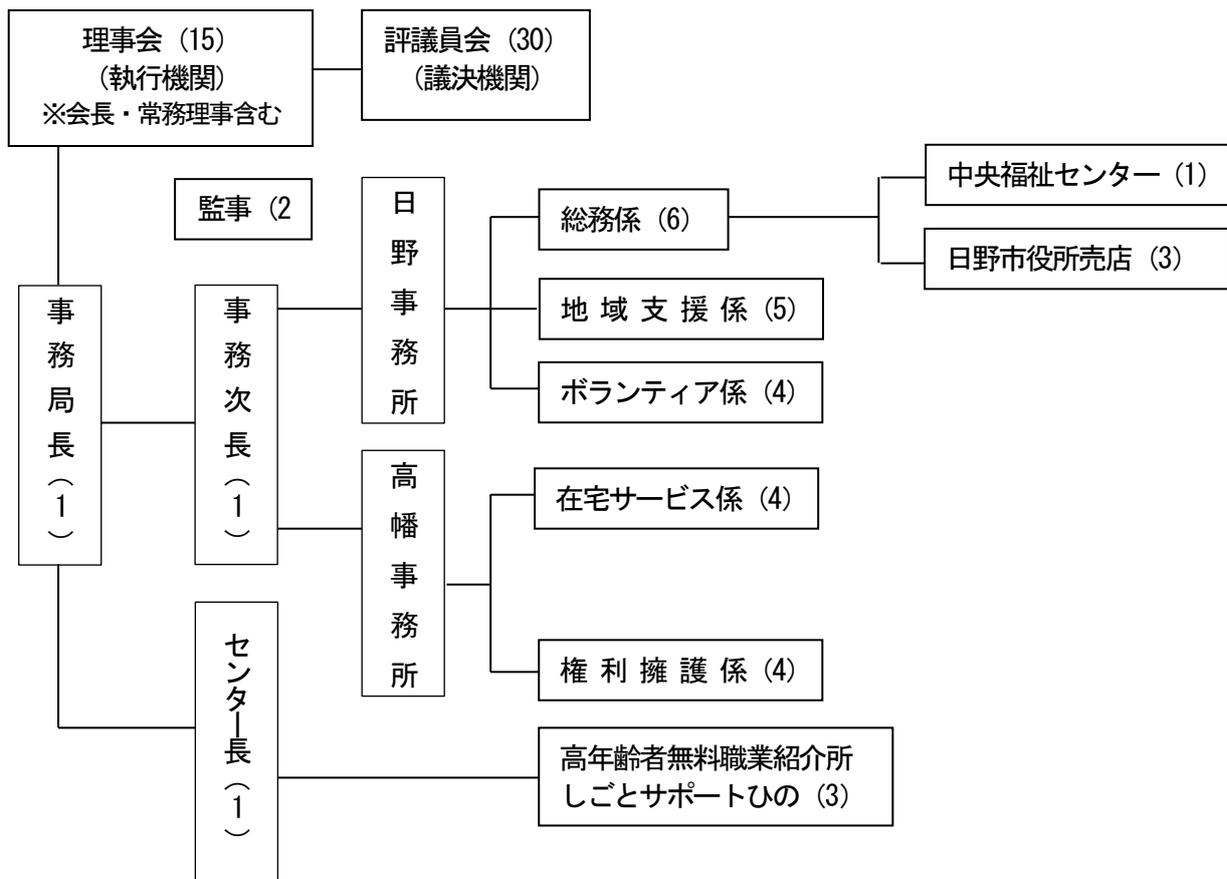
事業名	東京都共同募金会 日野地区配分推せん委員会（配分業務）
事業形態	赤い羽根共同募金運動（共同募金運動）
財源内訳	地区配分推せん委員会事務費
担当係	総務係
地域福祉活動計画 における視点	ともにそだつ
目的	東京都共同募金会日野地区配分推せん委員会事務局として、日野市内における社会福祉施設からの『助成金の受付ならび申請内容の審査・検討』を行い、東京都共同募金会へ推せん・意見書の交付を行う。
事業内容	1. 審査・推せん（推せん・意見書の交付）
実績報告	<p>1) 日野地区配分推せん委員会 委員構成</p> <ul style="list-style-type: none"> 日野市社会福祉協議会 理事 日野市赤十字奉仕団 日野社会福祉士会 市内自治会（市民） 日野市民生児童委員協議会 日野市老人クラブ連合会 日野市ボランティア・センター 日野市内社会福祉法人ネットワーク 日野市障害福祉課 明星大学きらきらボランティアセンター 地域包括支援センター

	<p>2) 委員会の開催 3回 (8/9, 12/24, 1/24)</p> <p>3) 意見書の交付 3団体</p>
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・選出団体において退任・異動があり、委員2人が交代した。 ・委員会では、予算額に対し申請額が多く委員から多くの意見をいただいた。今後も活発な委員会運営ができるよう取り組んでいく。
事業内容	2. 助成内容の調査・確認
実績報告	<p>1) 施設見学会の開催 1回 (9/3)</p> <p>見学施設 おーく高幡・まむ高幡/ハートリボン/ふらっと・すずかけ</p>
事業効果・評価 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学会を実施することで、配分金がどのように活用されているかその効果を確認し、また配分施設の活動や事業内容を知ることができた。また、毎回見学会の実施報告書を作成しているが、施設側から「他の施設の状況が分かりよかった」との声をいただいた。 ・また、施設見学会は半日かけて行うため、委員同士の関係が深まり、助成金の審議・審査時での意見交換等、今後の活発な委員会活動が期待できる。

歳末たすけあい運動

事業名	歳末たすけあい運動の実施													
事業形態	歳末たすけあい運動（共同募金運動）													
財源内訳	歳末たすけあい配分金、事務費													
担当係	総務係													
地域福祉活動計画における視点	ともにそだつ													
目的	日野地区における歳末たすけあい運動の実施主体（主催：東京都共同募金会・主唱：東京都社会福祉協議会）として、運動の普及・啓発に努め、日野市の地域福祉事業の推進を図る。													
事業内容	1. 歳末たすけあい運動の普及・拡大 共同募金運動の一つとして、東京都共同募金会の主催のもと、日野地区における『歳末たすけあい運動』を展開した。													
実績報告	1) 運動期間 12/1～12/28 2) 募金実績													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>募金額</th> <th>内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">R1年度</td> <td rowspan="3">3,341,134円</td> <td>戸別募金 2,065,963円</td> </tr> <tr> <td>街頭募金 7,380円</td> </tr> <tr> <td>バザー募金 1,275,171円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">30年度</td> <td rowspan="3">3,690,605円</td> <td>戸別募金 2,469,766円</td> </tr> <tr> <td>街頭募金 13,459円</td> </tr> <tr> <td>バザー募金 1,207,380円</td> </tr> </tbody> </table>			募金額	内訳	R1年度	3,341,134円	戸別募金 2,065,963円	街頭募金 7,380円	バザー募金 1,275,171円	30年度	3,690,605円	戸別募金 2,469,766円	街頭募金 13,459円
	募金額	内訳												
R1年度	3,341,134円	戸別募金 2,065,963円												
		街頭募金 7,380円												
		バザー募金 1,275,171円												
30年度	3,690,605円	戸別募金 2,469,766円												
		街頭募金 13,459円												
		バザー募金 1,207,380円												
実績報告	3) 歳末たすけあいバザー 日時 12/1（日）10時～14時 場所 日野市立中央福祉センター 共催 日野市民生児童委員協議会・日野市赤十字奉仕団 協力・協賛）NPO法人めぐみ・あおいとり日野・工房夢ふうせん・日野市手をつなぐ親の会・日野市障害者問題を考える会・東京光の家・ひのたま会・共働作業所あいあむ・やよい会・(株)伊藤園・アサヒ飲料販売(株)・サントリービバレッジサービス(株)・ハ福商事(株)・森永牛乳日野販売店・(株)ジャパンビバレッジホールディングス・西都ヤクルト販売(株)・東京キリンビバレッジサービス(株)・フランドール・(株)アペックス・虎屋商事・ベーカリーモリ													
	4) 街頭募金活動 ①活動回数 1回 ②協力団体 1団体（南平地区社会福祉協議会「ぷらっと南平」）													
事業効果・評価方向性等	・大規模災害が続き、自治会等をはじめとする寄附金が災害義援金等にするケースが増加傾向となっている。引き続き、地域への運動に対する理解を深めていくことが課題となる。													

日野市社会福祉協議会組織図



〇 内は職員数